

令和7年度 第2のふるさとづくりプロジェクト

参加者アンケート集計結果

2026年3月

調査結果からの示唆	2
-----------	---

(結果詳細)

① 先駆的:参加者アンケート	9
② 企業版:参加者アンケート	42
③ 企業版:意思決定者アンケート	74

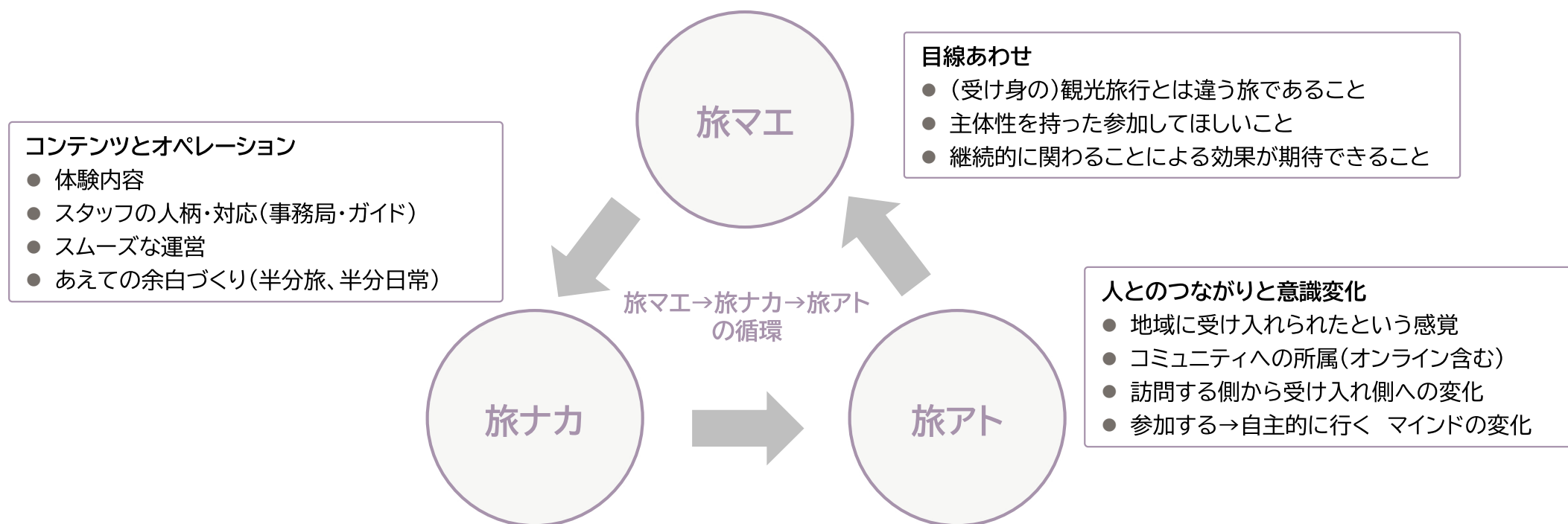
第2のふるさとづくりは、

ふるさと納税やクラウドファンディングのような金銭的アプローチで地域を応援するという手法もあるが、「現地を訪れる」という関わり方、**実際に足を運び続ける形での応援(関わり)**がより望まれている。



継続的な来訪そのものが関係人口化の取り組みの中心になる点が確認できた。

そして、継続的な来訪を生み出す方策について、
4年間のモデル実証で、プログラムづくりのノウハウ・ナレッジの蓄積が進んだ



目線あわせ

- 第2のふるさとづくりは、「お客様」ではなく「地域の仲間」になる旅であり、そこを事前にしっかり共有しておくことが重要。
- そこにギャップがあるとやられ感や疎外感といった不満にもつながる。
- 飲食や宿泊施設等、ハード面に対する不満を予防する面でも、「観光旅行」とは異なるという共通認識化の重要度が高い。
- また、長期目線での目線合わせも重要。継続的に関わることによる効果が期待できることの説明も大切。
- 今回2年目となる二本松市では、参加者からスタッフになり、迎える側へ立場を変えて複数来訪する好循環の実例も出現してきた。
- ガイドやボランティアスタッフ、トレイルの整備等を目的とした参加はまさに関係人口化の成功事例と言える。

教える側が体験できた(8回以上
/二本松市/37歳/男性)

何も自分を活かせることなく、また必要されることもなく終わったことに、不甲斐なさを感じました。(5回/珠洲市/40歳/男性)



(参加目的は)安達太良山を活用した大会のボランティアスタッフ、そしてそのトレイルの整備等(5回/二本松市/42歳/男性)

作業人員として関わることを求められているように感じた。(8回以上/珠洲市/37歳/男性)

コンテンツとオペレーション

- 全体的に体験内容への満足度が高く、「プログラムに参加するため」といった参加動機も多い。
- 特に、地域の生産者たちとの交流があるプログラムの満足度が高い。
- 事務局やガイドスタッフなど、運営側のスタッフの人柄や対応も満足度に寄与している。
- 一方で、事前案内の情報部不足や待ち時間などの段取りの悪さなど、スムーズでない運営は不満につながっている。
- 関係人口化につながるためには、「参加する→自主的に行く」というマインドの変化を作っていくことも重要。
- 第2のふるさとづくりで目指す関係は、「旅」と「日常」が混ざり合う関係でもあるため、それらのバランスや余白の作り方も重要なポイント。自分で見つけた感覚なども意識したプログラムも効果的だと思われる。

労力を少しかけるだけで、目で見てやり遂げた実感が持てるプログラムだったので良かった(4回/生坂村/41歳/男性)

盛りだくさんにイベントを企画していただき、良い意味で目が回るくらいでした。(4回/南砺市/67歳/女性)

地域の方々との交流が持てた。より地域への愛着がわきました。(3回/和歌山市/50歳/女性)

事務局、地域の方の楽しそうな姿をみると、とても一体感が出ていいイベントの雰囲気が出ていいと思う。(4回/二本松市/35歳/女性)



こちらのメールの返事が無いことがあった。早めに情報提供が入る事があった。(4回/南砺市/55歳/女性)

企画運営の手際の悪さ(8回以上/和歌山市/44歳/女性)

イレギュラーな事が起こった際にややばたつく事があった。(6回/和歌山市/50歳/女性)

全体的に各スポットの滞在時間が短く感じました。(4回/和歌山市/55歳/女性)

最初に連絡を下さった事務局の方と実行委員の方との温度差を感じました。(4回/南砺市/67歳/女性)

人とのつながりと意識変化

- また来たいと思う動機としては、プログラム内容の魅力や観光資源の魅力もあるが、地域に受け入れられた感覚も大きい。
- また、同じプログラムに参加するメンバー同士の仲間意識も継続来訪のカギとなっている。
- グループチャットの活用なども含め、参加者同士のコミュニティが良好な関係になることの効果が大きい。
- 「また行きたい」という気持ちを喚起できているので、「参加する→自主的に行く」といったマインドの変化が伴うと、今後も自主的な来訪などにつながると考えられる。

暖かく受け入れてくれる範囲とコミュニケーション、彼らのためになると感じられる瞬間がある(3回/二本松市/38歳/男性)

地域の方々の温かさに触れ、また会いたい気持ちがある。(8回以上/南砺市/60歳/女性)

農業体験や、生産者の方とのディスカッション。能登野菜に愛着がわき、生産者の方の想いを知ることによって共感が生まれ、今後も何かしらの形で継続して関係を持ちたい気持ちが生まれました。(3回/七尾市/40歳/女性)

様々な職種の方達と知り合うことが出来、毎度勉強になる事が多く、自分の自然の中での過ごし方をアップデートすることが出来るから(6回/二本松市/48歳/男性)

地域の現状を知ることや、そこに住む方々との交流・実際に訪れることでわかる地域の良さなどがわかり、お世話になった場所やお世話になった方々に再び会う為 訪れたいとなりました。(3回/和歌山市/50歳/女性)

他の体験コースの人たちと同じゲストハウスに宿泊して同じ釜の飯を食べると言うように合宿しに来たみたいで打ち解けられ3、4回目また宿泊するのが楽しみに来ていました。(4回/南砺市/43歳/女性)



■先駆的事例創出モデル(個人版)の特徴

- 個人版の参加者には、「何度も通える地域をつくりたい」という明確なニーズが存在しており、地域側と参加者のニーズが比較的適切に合致している。（そもそもそのようなニーズを持たない人は参加しないか、仮に参加したとしても継続には至らない傾向がある。）
- なお、個人版において何度も地域を訪れたい理由の多くは、「あの人に会いたい」という人的な関係性に基づく動機が中心である。

■企業版の特徴と課題

- 企業版への参加動機は、営業戦略の一環や研修によるスキルアップといった、目的志向・機能的な期待に基づく場合が多い。個人とは異なり、「何度も通える地域をつくりたい」という動機や「特定の誰かに会いたい」という理由で継続来訪する構図が成立しにくい。
- 自社の事業にメリットを見出した場合では、継続参加や地域との良好な関係を評価する事例も出てきており、可能性を示せた。
- また、「結果的に」ながら、再来訪意向や継続的な関係が生まれたプログラムもあった。
- 一方で、研修等での参加の場合は、「非日常」が評価されているものの、その地域である必然性が弱い点が懸念される。
- 大台町で実施されたラーケーションに参加した企業は、特定の地域に継続的に関わるといより、さまざまな地域で実施したいという意向を持っており、地域側の狙いと企業側の狙いが必ずしも一致していない状況も見受けられる。

自社サービスの拡充という目的に合致したことで
継続性に価値を見出した事例も生まれた

地域をフィールドにした実践的な事業構想の場であり、継続して参加することで構想が「点」ではなく「線」として育っていくと感じています。(千曲市/コンサルティング)

参加することに価値を感じる。特に企業-地域との関係性やコミュニケーションは、単年でなかなか強められるものではなく、中長期的に良好な関係性を築くことでよりよくなると考えている。(琴平町/旅行業)

今後も継続的に実施・参加したいとの感想は出ているが
評価されているポイントは「非日常」であり、
その地域と関わり続ける動機になっていないことが課題

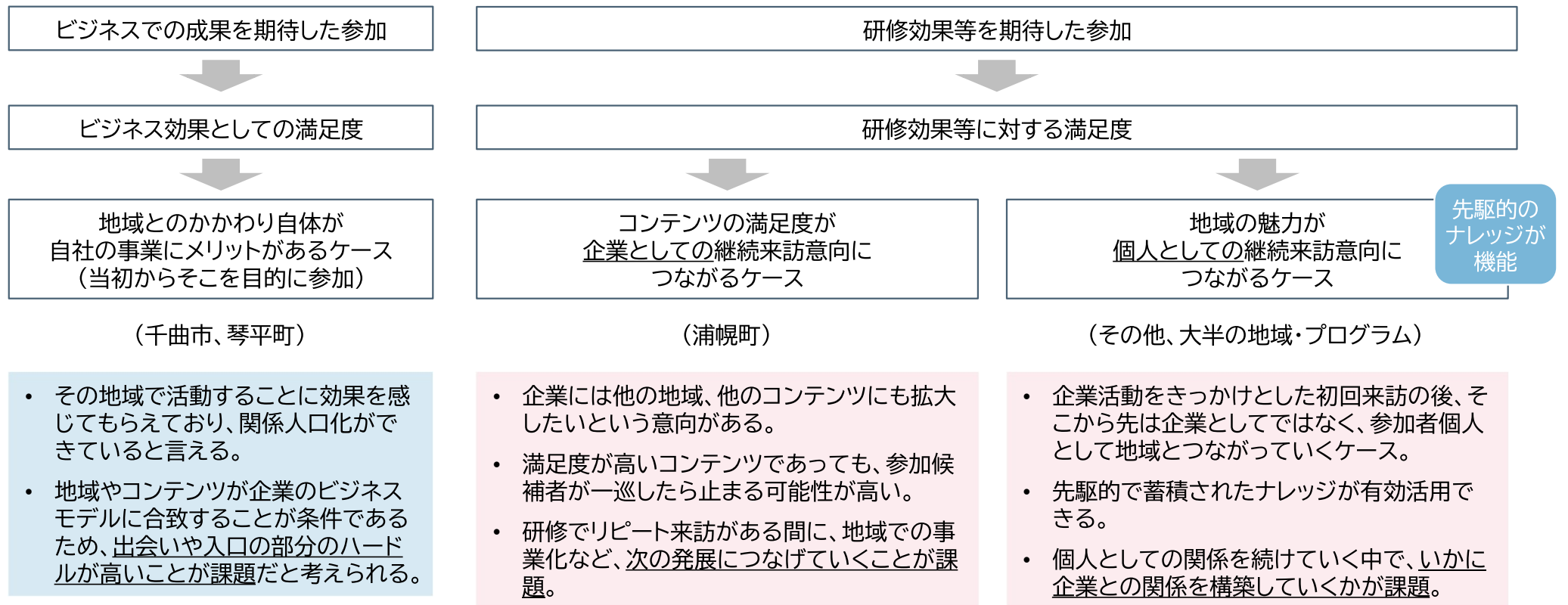
非日常に身を置く機会として継続的に活用させてただければと考えています。(浦幌町/デジタルサービス)

異なる価値観、ロジカルではなく感性、物理的に非日常的な空気感に触れることで、新たな視点/着想を得られるため。(浦幌町/人材)

ワーケーションは社員の主体的な働き方を促し、生産性や発想力の向上につながるだけでなく、企業として多様な働き方を認める姿勢を示すことにもなります。(七尾市/旅行業)

■企業版で継続来訪につながるケース

- 前述のような、その地域に関わることがビジネス上のメリットであると成果を実感できたケース(千曲市、琴平町)では、継続来訪が期待できる。
- また、研修プログラムの満足度が高く、他のメンバーにも体験させたいという動機で継続的に参加しているケース(浦幌町)もあった。
- さらに、参加者個人としての感想では、その地域に愛着を持ち、継続来訪意向を持ったというスコアは高かった。
(企業版参加者のプライベートでの再訪意向は9割)



先駆的のナレジジ機能

地域と企業の接点や関係の入口としては可能性が十分にある
そこで発生したつながりをいかに発展させられるかが課題

■企業版の今後の取り組みの方向性

- 企業版は参加者のニーズやその後の関係深化のプロセスが複雑になり、先駆的(個人版)とは異なる視点でのコンテンツ開発や関係構築が必要となる。
- ただ、「参加者個人に地域に愛着を持ってもらう」ためのノウハウは、先駆的(個人版)のナレッジが活用できる。
- 初年度の実施結果を踏まえ、今後の取り組みや発展の方向性をいかに整理した。

企業版:関係人口化に向けたステップ

①まずは、初回来訪の機会をつくる

- 地域側は、企業のニーズに合ったコンテンツを用意する必要がある。(企業としてのメリットを提供することが必要条件)
- 体験をコンテンツにすることで、観光資源がない地域でも、地域特性が資源になるポテンシャルがある。(先駆的のナレッジが有効活用できる)

②繰り返し来訪してもらう(同一人物か、同一企業内の別人かについては検討が必要)

- コンテンツの価値を高める → 浦幌町はプログラム内容が評価されて「たすきリレー式」に社員の参加が続いている。
- 個人版のナレッジ活用 → 生産者との触れ合いなど、地域の人との交流や参加者同士の交流など、共通点がある
- 企業としても、個人としても満足するコンテンツである必要があり、企業版は個人版よりもハードルが高くなる。

③関係人口化のような、より緊密な関係構築の段階へと進めていく

- 人が入れ替わりながらも、法人として関係を続けていくことが重要。
- いわゆる越境研修ではなく第2のふるさとづくりモデルとして、どういった関係を構築していくことが望ましいかは今後の検討課題。
- 打ち上げに町長が参加する地域など、町・地域全体で取り組み、歓迎の意思表示をしている地域では事業化等のステップに向かってうまく進んでいるケースが目立っている。(琴平町、浦幌町)
- 地域側のキーマンとの接点づくりは、地域側の本気感を示すので、企業側に期待感を与えられるのではないか。
- こうした取り組みなど、企業版ならではのナレッジを見つけることが今後の課題である。

1 先駆的事例創出モデル

調査概要

先駆的事例創出モデル

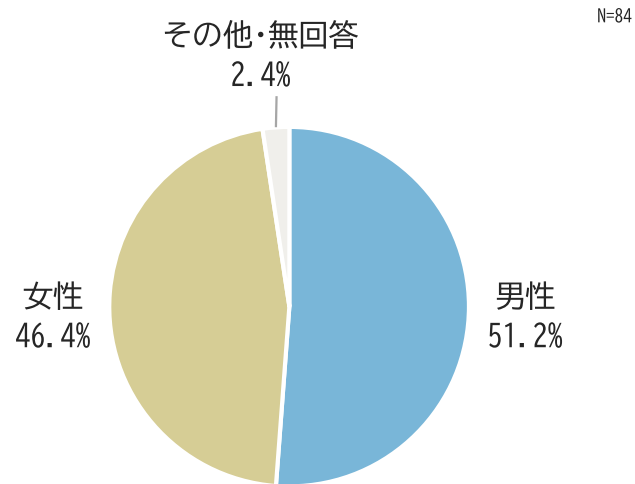
- 件名 : 先駆的事例創出モデル 参加者アンケート
 調査方法 : インターネット調査
 実施時期 : 2025年9月22日(月)～2026年1月31日(土)
 調査対象 : 8地域の各プログラムへの申込者
 有効回収数 計84名

NO.	事業名	対象地域	回収数
1	「火山とともに生きる湯のまちから、歩いてつなぐ長く歩く道づくり」	福島県二本松市	20
2	新たな地域産業創出につながる観光コンテンツ構築実証事業 ～ともに創る第2のふるさと～	千葉県南房総市・鋸南町	1
3	南砺の伝統工芸(井波彫刻・五箇山和紙・福光麻布)の学びから、 その背景にある精神性「土徳」に触れることで 何度も訪れる地となる実証事業	富山県南砺市	8
4	のと物語 共に紡ぐ復興のストーリー	石川県七尾市	15
5	復興関係人口による”心の絆”で繋がる第2のふるさとづくり	石川県珠洲市	11
6	地域コミュニティ型エコシステム<リジェネラティブDAO>	長野県生坂村	8
7	地域課題解決型観光開発和歌山モデル協議会	和歌山県和歌山市	16
8	MACHIDUCREW DAOを活用した“第2のふるさと” 祭り体験型ツーリズム構築事業	広島県三原市	5

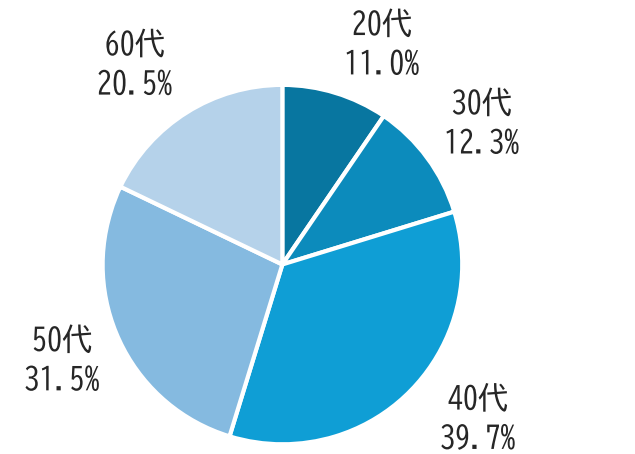
参加者プロフィール

- 男女は半々、年代では40代と50代で7割を占めている。

性別



年代



居住地

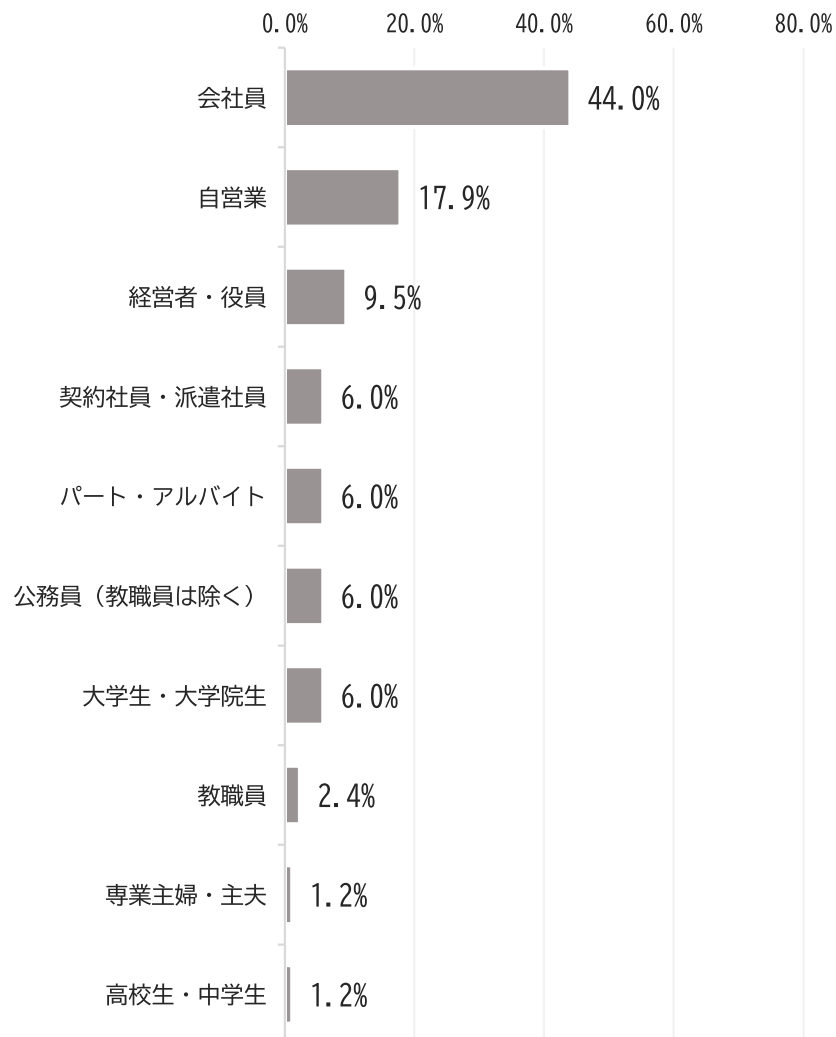
二本松市 (n=20)	南房総市ほか (n=1)	南砺市 (n=8)	七尾市 (n=15)	珠洲市 (n=11)	生坂村 (n=8)	和歌山市 (n=16)	三原市 (n=5)
福島県 6人 埼玉県 3人 宮城県 2人 山形県 2人 群馬県 2人 茨城県 1人 栃木県 1人 福岡県 1人 長崎県 1人 熊本県 1人	東京都 1人	東京都 4人 富山県 2人 石川県 1人 兵庫県 1人	東京都 6人 神奈川県 4人 富山県 1人 石川県 1人 埼玉県 1人 岐阜県 1人 愛知県 1人	東京都 3人 石川県 3人 愛知県 3人 北海道 1人 香川県 1人	神奈川県 4人 東京都 1人 埼玉県 1人 兵庫県 1人 群馬県 1人	大阪府 11人 兵庫県 3人 滋賀県 1人 奈良県 1人	大阪府 2人 兵庫県 1人 宮城県 1人 広島県 1人

参加者プロフィール

- 職業別では会社員が44.0%で最も多く、土・日・祝が休みの働き方がメイン。
- テレワーク活用によって働く場所が柔軟なスタイルの方が3割程度となっている。
- 昨年度は大学生・大学院生が2割だったが、今年度は6.0%と少なかった。

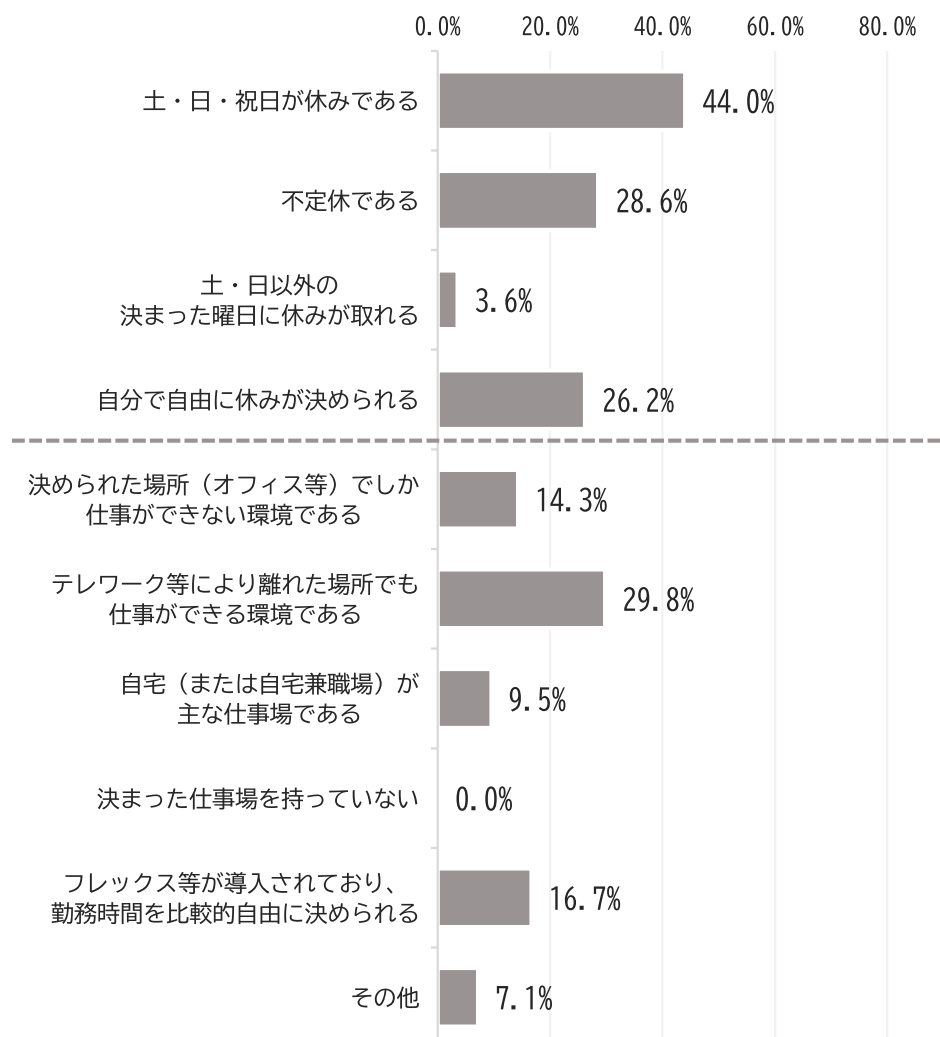
職業

N=84



休暇の形態等

N=84

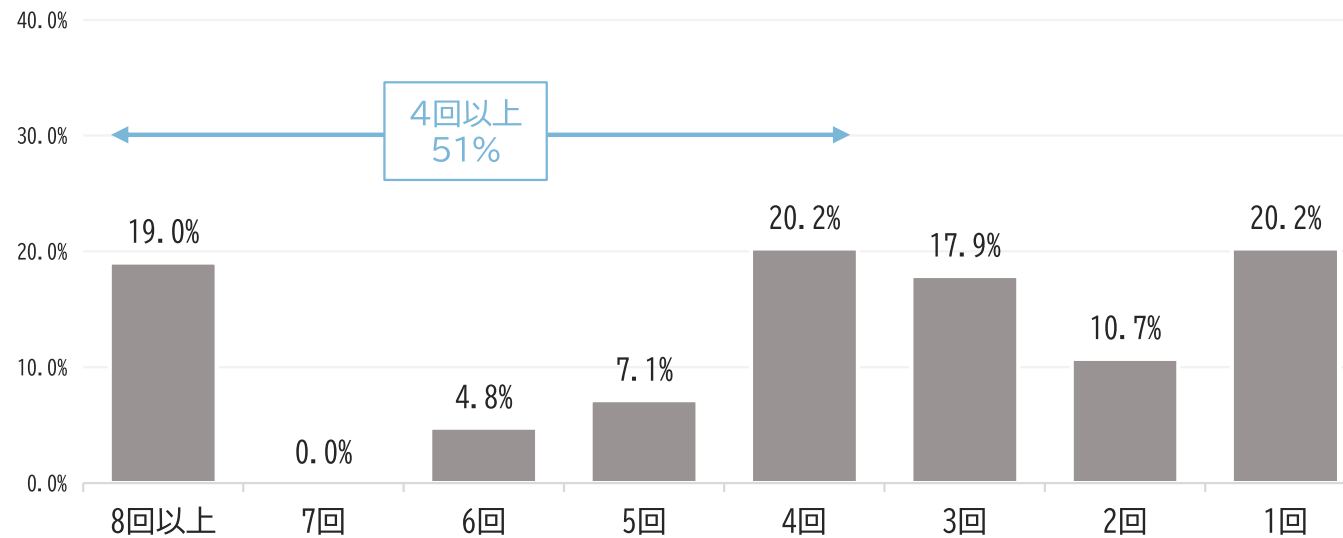


来訪回数

- 回答者の半数が4回以上の来訪をしており、多頻度来訪という旅のスタイルを実践している。

Q. 2025年の4月以降に、この地域を訪れた回数をお聞かせください。

N=84



	n	8回以上	7回	6回	5回	4回	3回	2回	1回	住んでいる	その他	4回以上
合計	84	16		4	6	17	15	9	17			43
二本松市	20	4		1	2	2	2	3	6			9
南房総市ほか	1								1			
南砺市	8	1			1	4	1	1				6
七尾市	15	2			1	2	5	1	4			5
珠洲市	11	6			1		1	1	2			7
生坂村	8				1	3	2	1	1			4
和歌山市	16	3		3		6	4					12
三原市	5							2	3			

複数回、訪れた目的や理由(1/2)

- 複数回の来訪理由としては、「プログラム参加」が最も多い。
- 複数回のプログラムへの参加を目的に来訪したとの回答が目立っている。

Q. (1年以内に2回以上来訪したことがある人にお聞きします)
この地域に1年以内に複数回、訪れた目的や理由をお聞かせください。(自由記述)

プログラム参加

- ・ 安達太良山歩きと登山道整備(5回/二本松市/45歳/女性)
- ・ 第二のふるさと事業に参加するため(2回/二本松市/44歳/女性)
- ・ 国立公園の大自然とそれを活かしたユニークな温泉や文化があったため。(2回/二本松市/50歳/男性)
- ・ 登山 レースなど(3回/二本松市/45歳/女性)
- ・ 登山、レース参加、ボランティアなどの参加(8回以上/二本松市/47歳/男性)
- ・ イベントへの参加、現地の方との交流(3回/二本松市/38歳/男性)
- ・ 岳温泉の温泉宿宿泊自転車でアクティビティをするため(4回/二本松市/35歳/女性)
- ・ 岳温泉をベースにして安達太良山などへの登山、自転車などのアクティビティを行うため(6回/二本松市/48歳/男性)
- ・ タッチザ土徳に参加のため(8回以上/南砺市/60歳/女性)
- ・ ジソウラボ主催の第2のふるさと企画で井波彫刻コースに参加(4回/南砺市/43歳/女性)
- ・ 南砺市のプロジェクトに参加したため。(4回/南砺市/67歳/女性)
- ・ 南砺市の手しごとで、五箇山和紙作業に参加した。(4回/南砺市/55歳/女性)
- ・ 南砺の手しごとで、五箇山和紙の作業を行う為。(4回/南砺市/55歳/女性)
- ・ イベントに興味があったため(3回/南砺市/51歳/女性)
- ・ 能登演劇堂での公演、トークショーのため(4回/七尾市/50歳/女性)
- ・ 御祓川様のサポートによる越境プロジェクト参加のため(3回/七尾市/50歳/男性)
- ・ 生きもの大学校に参加(3回/生坂村/64歳/女性)
- ・ 生坂村の生き物さがしのイベントに参加するため。(5回/生坂村/38歳/女性)
- ・ 旅する生き物大学校(2回/生坂村/61歳/)
- ・ 里山体験をするため。動物、植物を観察するため。普段接していない職種の人と関わり、刺激を受けるため。(4回/生坂村/41歳/男性)
- ・ 前年から参加しており、継続参加したかったから(4回/生坂村/46歳/男性)
- ・ 「旅するいきもの大学校」のイベントに参加するため(4回/生坂村/23歳/男性)
- ・ 体験プログラムに参加するため。学びを深めため。(3回/生坂村/53歳/女性)
- ・ 主に釣り(6回/和歌山市/50歳/女性)
- ・ 釣り(8回以上/和歌山市/50歳/女性)
- ・ ふるさと体験モニターに参加するため(4回/和歌山市/15歳/男性)
- ・ 釣り、観光(8回以上/和歌山市/44歳/女性)
- ・ 3回のモニターツアー参加(3回/和歌山市/55歳/女性)
- ・ ぶらり和歌山1泊2日モニターツアーに参加する機会をいただき、そのプランに沿って和歌山市を再訪しました。(4回/和歌山市/55歳/女性)
- ・ 第2のふるさと事業 モニターツアー(4回/和歌山市/49歳/女性)
- ・ おてつたいをしながら地域を旅する為(3回/和歌山市/50歳/女性)
- ・ おてつたび(4回/和歌山市/36歳/女性)
- ・ モニターツアーに参加のため(3回/和歌山市/63歳/女性)
- ・ 観光庁.第2のふるさとプロジェクトの全4回モニターツアーに参加したから(4回/和歌山市/63歳/女性)
- ・ モニターツアーに参加(3回/和歌山市/65歳/女性)
- ・ 授業、遊びに行きました(8回以上/和歌山市/21歳/男性)
- ・ 大学の観光特別演習を参加し、四季の郷公園の竹燈夜イベントのお手伝い、伊太祁曽駅近くの古民家再生について清掃作業などのためきました(6回/和歌山市/27歳/男性)
- ・ 第2のふるさとプロジェクトのモニターツアーに参加したから(4回/和歌山市/63歳/女性)
- ・ 第二のふるさと、おてつたび、旅をする、フィールドワークなどで訪れました。(6回/和歌山市/21歳/男性)
- ・ お祭り参加(2回/三原市/47歳/女性)

複数回、訪れた目的や理由(1/2)

- プログラム参加以外では、「仕事・研修」や「ボランティア」との回答もあった。
- プログラムの運営支援(二本松市)や、災害ボランティア、復興支援(七尾市、珠洲市)といった理由があがっている。

Q. (1年以内に2回以上来訪したことがある人にお聞きします)
この地域に1年以内に複数回、訪れた目的や理由をお聞かせください。(自由記述)

仕事・研修

- 仕事(4回/二本松市/51歳/男性)
- 職場(8回以上/二本松市/37歳/男性)
- 業務(8回以上/二本松市/48歳/男性)
- エビスサーキットとLNT 講習の仕事(2回/二本松市/45歳/男性)
- 行楽及び業務として来訪。(8回以上/二本松市/69歳/男性)
- 南砺市の手仕事と土徳に触れるため。(2回/南砺市/51歳/女性)
- 家族が七尾で仕事をしているので(3回/七尾市/51歳/女性)
- 撮影のため(8回以上/七尾市/50歳/男性)
- 越境研修(3回/七尾市/40歳/女性)
- 仕事(4回/七尾市/50歳/男性)
- 越境研修の一環として参加させていただいております。(3回/七尾市/40歳/女性)
- 仕事、ボランティア、講演や交流会など(8回以上/珠洲市/37歳/男性)
- 仕事関連による訪問(8回以上/珠洲市/34歳/男性)
- 仕事、遊び、お手伝い。(8回以上/珠洲市/48歳/男性)
- 能登地域の現状を把握し、新規ビジネスモデルの創出を検討するため(3回/珠洲市/27歳/男性)

ボランティア

- 安達太良山を活用した大会のボランティアスタッフ、そしてそのトレイルの整備等。(5回/二本松市/42歳/男性)
- 貢献心。関係人口になるための足掛かりづくり。副業の構築の一手段として。生き方の模索の一手段。単純に楽しい。訪れる度に都会とはまた違う新たな気づきや学びがあり、自己成長の場になると感じている。(5回/七尾市/40歳/男性)
- 妻が働いているので。復興支援(3回/七尾市/50歳/男性)
- ボランティア活動(8回以上/珠洲市/63歳/男性)
- 墓参り、災害ボランティア(8回以上/珠洲市/44歳/男性)
- 現地の様子や、支援先の方との打ち合わせ(2回/珠洲市/37歳/男性)
- 珠洲復興支援(8回以上/珠洲市/61歳/女性)

プライベート

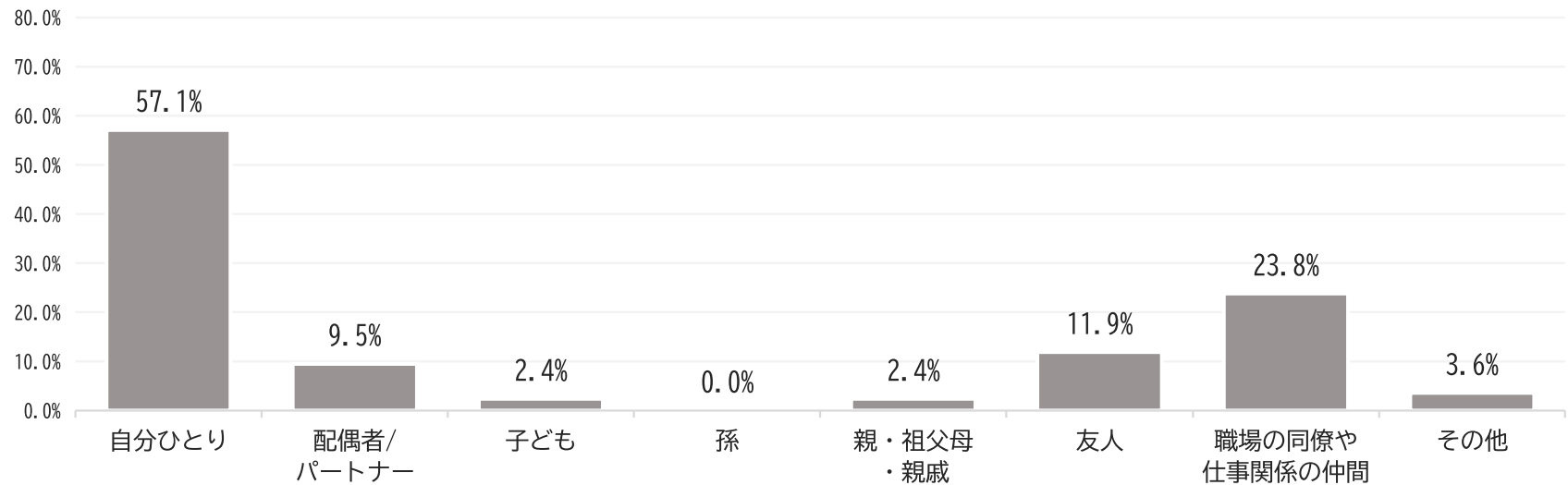
- 個人的な買い物と第二のふるさと事業で4回(5回/南砺市/45歳/女性)
- 地域の価値を体感するため(2回/七尾市/60歳/男性)
- 能登は好きだから。金沢大学在学時に能登でよく遊ばせていただいた。以降、通っている。(8回以上/七尾市/40歳/男性)
- 知人や関係者に会うため。ボランティア珠洲観光(5回/珠洲市/40歳/男性)

同行者

- 一人での参加が57.1%、職場や仕事関係が23.8%だった。その2パターンで全体の8割を占めている。

Q. あなたは、今回のプログラムに誰と一緒に参加しましたか？(いくつでも)

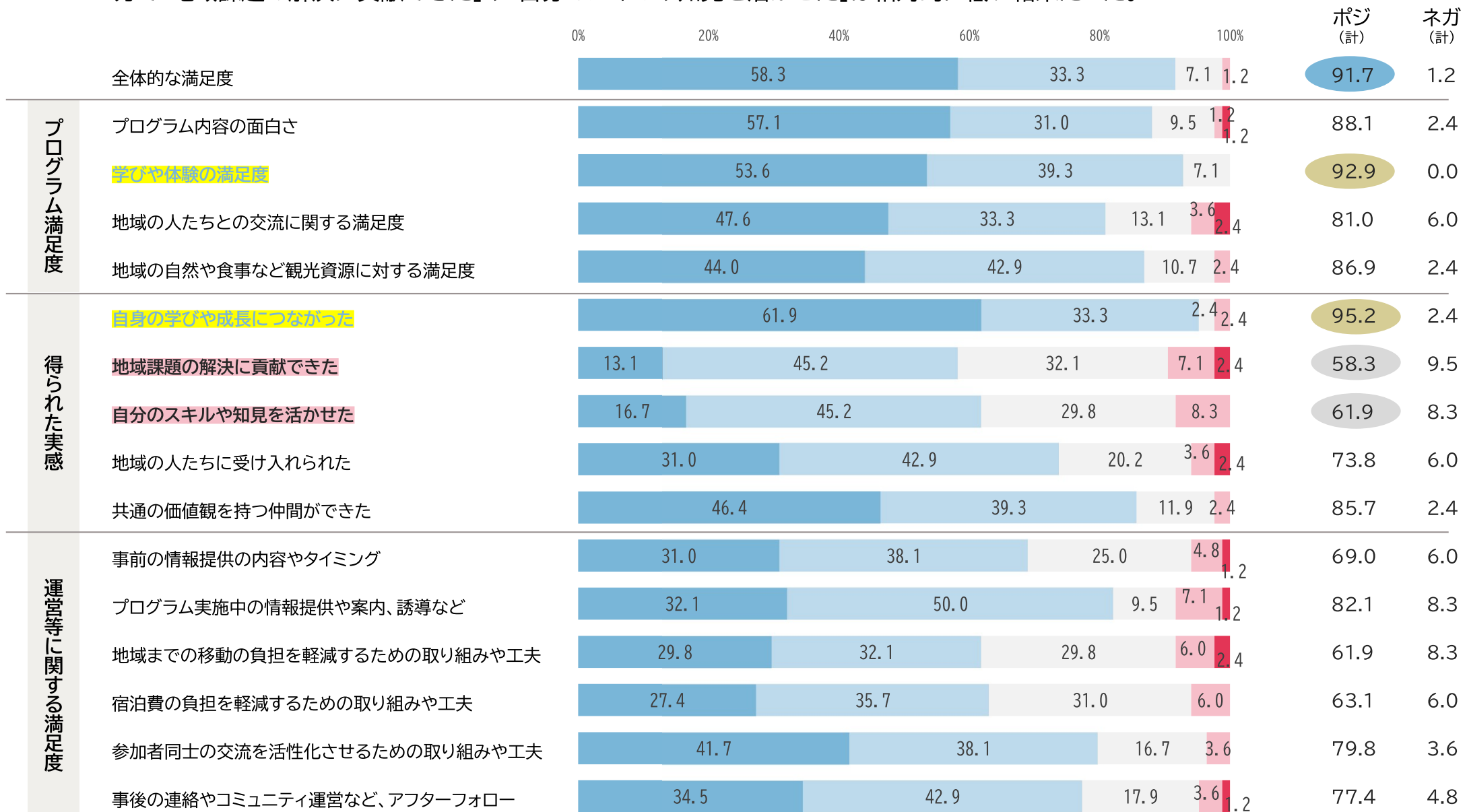
N=84



	n	自分ひとり	配偶者/ パートナー	子ども	孫	親・祖父母 ・親戚	友人	職場の同僚や仕事関係の仲間	その他
合計	84	48	8	2		2	10	20	3
二本松市	20	7	4				2	8	
南房総市ほか	1	1							
南砺市	8	8							
七尾市	15	6	1	1			1	7	1
珠洲市	11	10	1				1	1	
生坂村	8	5	1				2	1	
和歌山市	16	6	1	1		2	4	3	2
三原市	5	5							

満足度

- 全体的な満足度は「大変満足した」が58.3%で、「満足した」33.3%を加えると計91.7%だった。
- 個々の満足度や実感では「自身の学びや成長につながった」95.2%や「学びや体験の満足度」92.9%が高かった。
- 一方で「地域課題の解決に貢献できた」や「自分のスキルや知見を活かした」は相対的に低い結果だった。



良かった点や満足できたこと(1/3)

- 良かったことについては、大きく「体験・プログラム内容」についての評価と「地域との交流」の2つがあげられた。
- 体験・プログラムについては、貴重な体験、新鮮な経験といったキーワードと、ガイド・案内が良かったという感想が目立っている。

Q. プログラムについて、良かった点や満足できたこと、逆に改善すべきと思った点や物足りなかったと感じたことを、ご自由にお聞かせください。

良かった点や満足できたこと

<体験・プログラム内容>

- 温泉トレイルに感動しました。(1回/二本松市/55歳/男性)
- 初対面の人間同士が共同で作業を行うという機会は、社会に出るとなかなか体験できない。今回はほぼ初めましての人達と、共通の認識をもって共に行動出来たことが非常に有意義であると感じた。(1回/二本松市/44歳/女性)
- 教える側が体験できたこと(8回以上/二本松市/37歳/男性)
- スタッフとして参加しましたが恐らくこれが主催者の見せたかった景色を見れた事が忘れられない素晴らしい体験でした。登山道を活用する側としてはここ数年のトレイルの痛み具合は危機感を覚えていましたので整備補修するプログラムがあるのは場所が国立公園だけに参加が容易で今後も参加したい(5回/二本松市/42歳/男性)
- 屋外での研修ができたことが良かった(8回以上/二本松市/69歳/男性)
- 南砺市に理解を深まる為に盛りだくさんにイベントを企画してください(南砺獅子舞競演会、土徳祭など)、良い意味で目が回るくらいでした。(4回/南砺市/67歳/女性)
- 全部よかった。(3回/七尾市/51歳/女性)
- 酒井さんのご案内で皆さんの色んなお話しが聞けて全部良かったですが、クロモジほうじ茶が美味しいことと田尻さんのお話が聞けてとっても良かったです。いつもは一人で出かけることが多いのでやっぱりガイドさんがいると見えてくる表情や景色がまた全然違うなと思いました。(4回/七尾市/50歳/女性)
- 今回が初参加で、こうした支援活動自体も初めてでした。「自分にも何かできることはないだろうか」と思い、思い切って参加しました。収穫体験を通して、普段は知ることのない農業の現場や、生産者の方々の想い、そして抱えている課題を直接聞くことができ、とても新鮮な学びがありました。また、皆さんと会話をしながらいただいた牡蠣の食事は、自然と心がほぐれる時間でした。(1回/七尾市/50歳/女性)
- 畑に足を踏み入れてネギを抜いたこと。ネギを焼いたら汁が出てきたこと。(1回/七尾市/50歳/男性)
- 牡蠣小屋。今までに食べたことのない量の牡蠣を食べた。(1回/七尾市/40歳/男性)
- 良かった点は、ぶどう畑にワラを引いて、寒さ対策をさせてもらった時に、参加者が労力を少しかけるだけで、目で見てやり遂げた実感が持てるプログラムだったので良かったと感じました。また、参加者同士の仲間意識も強くなりました。(4回/生坂村/41歳/男性)
- 学びと実践の両立が良かった(4回/生坂村/46歳/男性)
- 地域に対する愛着心に繋がるプログラム醸成(3回/生坂村/53歳/女性)
- 知識、技術が身に付いた。実体験ができた。(8回以上/和歌山市/44歳/女性)
- ガイドさんがとても詳しく教えてくださったので、興味深く見学することができた。(3回/和歌山市/55歳/女性)
- 各スポットでガイドの方から丁寧な説明があり、地域の背景や魅力を理解しながら体験できた点が良かったです。内容も盛りだくさんで、和歌山市の魅力を幅広く知ることができました。(4回/和歌山市/55歳/女性)
- 案内の方がいると、知らないことを知ることができて、学びに繋がった(4回/和歌山市/49歳/女性)
- 交通費負担だけで貴重で濃い体験ができて有り難かったです。今まであまり興味のわかかなかった和歌山に非常に興味をもちました。(3回/和歌山市/63歳/女性)
- 今回和歌山を第2のふるさとにすべく取り組んでいる組織団体があることを知りました。その一端を担うことに参加させていただき、心を新たに思いました。どのプログラムにも語り部さんや案内人の方が同行して、とても分かりやすく説明していただきました。手作りの資料もあとでゆっくりと読んで理解を助けてました。和歌山の主要な観光名所をめぐり、知らない時よりずっと和歌山に愛着が持てたと思います。(4回/和歌山市/63歳/女性)

良かった点や満足できたこと(2/3)

- 地元の人たちと交流できたことを良かったと評価する声も多い。

Q. プログラムについて、良かった点や満足できたこと、逆に改善すべきと思った点や物足りなかったと感じたことを、ご自由にお聞かせください。

良かった点や満足できたこと

<地域との交流>

- 地元の方の案内なくしては、絶対に知り得ない、生の暮らしの情報を得られたこと。地域の目に見えない歴史の積み重ねや苦労を理解できたこと。(2回/二本松市/50歳/男性)
- 日中の**地元の方とのふれあい**(おじいちゃん、おばあちゃん)(1回/二本松市/47歳/女性)
- **地域の方との関わり**、コミュニティを感じることができた点がより地域の良さが伝わって良かったと思う。(4回/二本松市/35歳/女性)
- 自然の中でのアクティビティを通じて、**現地の方々とのコミュニケーション**が取れたことと、改めて自分自身のレベルを実感する事ができた(6回/二本松市/48歳/男性)
- 地域で頑張っている方と会えることが価値です。(2回/七尾市/60歳/男性)
- 生産者との収穫体験、対話(3回/七尾市/40歳/女性)
- 野菜の収穫やその後の懇談の中でも**農家の皆さんの頑張りがとても伝わってきた**。(3回/七尾市/50歳/男性)
- 能登の**農家の現状を知れてよかった**。他の会社の方とも交流ができた。(4回/七尾市/50歳/男性)
- ①生産者の方との収穫体験により、能登の農業の特色や、収益化や、事業継続の難しさなどを知ることができたこと。②生産者の方々が抱える課題について、多様な知見や経験を持つ人が他地域の参加者とディスカッションをすることで、新たな発想や、取り組みにつながる兆しを体感できたこと。(3回/七尾市/40歳/女性)
- **作り手の話を聞きながら**の畑での収穫体験(1回/七尾市/60歳/男性)
- 珠洲にて新たな交流が増えた(8回以上/珠洲市/34歳/男性)
- 現地の方の案内は非常に良くて満足しています(1回/珠洲市/44歳/女性)
- 地域の方との交流(3回/生坂村/64歳/女性)
- 地域の人たちにも協力していただき、一緒になって問題解決に向けて動くことができた。(4回/生坂村/23歳/男性)
- **地域の方々との交流が持てたこと**。より地域への愛着がわきました。何度も通うことで、地域に対するふるさと感が増していきました。(3回/和歌山市/50歳/女性)
- 地域の枠を超えて同じ思いを持った仲間と繋がることができよかったです(2回/二本松市/44歳/女性)
- 交流会が楽しかった。(4回/南砺市/55歳/女性)
- プロジェクトに関わらなければ**普段出会えない方と交流できたのは良かった**。(3回/珠洲市/27歳/男性)
- 自由な時間があるので事前に自分で調べて観光が出来ました。また最寄り駅にお迎えに来て頂いたり希望に沿った情報を提供して頂きました(4回/南砺市/43歳/女性)

<その他>

- 毎回のアンケートで記入したことを速やかに対応していただき、ありがたかったです。村内の方の参加が少しずつ増えてきたので、今後も増えていくことを期待しています。(5回/生坂村/38歳/女性)
- アフターレポートがあるのは良かったです。(1回/生坂村/28歳/男性)
- 情報をSNSで広げるのが良いと思った。地域に移住していただける人に提供できるメリットを作るのが大切だと思います。(6回/和歌山市/21歳/男性)

改善点や物足りなく感じたこと(1/3)

- 「改善点や物足りなく感じたこと」については、論点が分散しているが、プログラム内容に関する意見と、運営・オペレーションに対する不満が主な論点となっている。

Q. プログラムについて、良かった点や満足できたこと、逆に改善すべきと思った点や物足りなかったと感じたことを、ご自由にお聞かせください。

改善点や物足りなく感じたこと

<プログラム内容>

- ・ **同地域の他活動他企画との差別化**をどうするか、もしくは相乗効果を高めるかが少し見えない点。参加者と地域側のマッチングの精度(持続性と具体性)をどう高めるか。(5回/七尾市/40歳/男性)
- ・ 空き家の案内は 私には響かなかったですが 興味のある人には面白かったと思います。(3回/和歌山市/63歳/女性)
- ・ 子供と一緒に楽しめるプログラムがあったらいい(1回/和歌山市/48歳/男性)

<地域との交流不足>

- ・ 地域の方々との**交流時間**(3回/生坂村/53歳/女性)
- ・ 地元住民と**もっと交流したい**。これから和歌山イベントの参加方法を知りたい(6回/和歌山市/27歳/男性)
- ・ 地域の人々の**普段の生活(暮らし)を感じられるエッセンスがあると**もっと**親しみを**持てるかと思えます(2回/二本松市/44歳/女性)
- ・ エリアの魅力や人などをより知る機会がほんの少しでも変化が取り入れられるとより好きになると思いました。(3回/二本松市/38歳/男性)

<参加者同士の交流の不足>

- ・ あえて言えば、**同じプログラムに参加している見ず知らずのメンバーとの交流**もあると、より一層、魅力的かもしれません。(2回/二本松市/50歳/男性)
- ・ **参加者同士の情報交換**のツール、slackとかがあったほうがよい。前回のアーカイブにもアクセスしやすく(2回/生坂村/61歳/)

<実施時期>

- ・ **12月上旬という研修時期**が不適切だった。完全に冬季に入ってからの方がよかったかもしれない(8回以上/二本松市/69歳/男性)
- ・ 事前に何を取り組むかの指針があるとよかった。**土日など、フレキシブルなMTG設定**。(1回/珠洲市/47歳/男性)
- ・ 他の方と**日程が合わなかった**こと、ソフトが試食できなかったこと残念(8回以上/珠洲市/61歳/女性)

<交通・宿泊・飲食>

- ・ 夜の**飲食店、公共交通**が少ない(5回/二本松市/45歳/女性)
- ・ 珍しい品もあるといいと思いました(1回/二本松市/49歳/男性)
- ・ **個室がある宿泊施設**があればありがたかった。イベントごとだけでなく街を歩いたりする時間があっても良かった(5回/南砺市/45歳/女性)
- ・ 遠方からでも補助金を通じて**高速代など負担がない**ようにしていただけたら何回かは通えると思う。(1回/珠洲市/44歳/女性)
- ・ **飲食チェーン店**が少なく感じました。(8回以上/和歌山市/21歳/男性)

改善点や物足りなく感じたこと(2/3)

Q. プログラムについて、良かった点や満足できたこと、逆に改善すべきと思った点や物足りなかったと感じたことを、ご自由にお聞かせください。

改善点や物足りなく感じたこと

<事前案内・情報提供の不足>

- ・ **事前の案内や情報が少なかったこと**(1回/二本松市/47歳/女性)
- ・ LNTについて事前に案内のあった資料に目を通しておくと受講中も、意図が伝わりやすいと感じたが、同じチームの仲間が事前に資料を確認出来なかった際、意見のすり合わせをするのが大変であると感じた。**講習自体のボリュームが大きいので、スケジュールリングや事前案内の手段で改善できる点があると、より濃密な講習となるかも。**(1回/二本松市/44歳/女性)
- ・ 泊まる場所にある備品の情報が違っていた。(4回/南砺市/55歳/女性)
- ・ このプロジェクトとして、参加者にどうかかわってほしいのか見えにくかった気がしました。他の参加者さんも同感という印象で、自由度が高い一方で、**プロジェクトとしての目標設定やゴールが見えにくく我々もどう関わればよいか少し戸惑った**感じです。(見学・体験をしてほしいのか、既に実施予定のプロジェクトに外部人材として関わって専門知識を入れてほしいのか、何か事業をするとなった場合の費用はどうなるのか等)(3回/珠洲市/27歳/男性)
- ・ **事前にもう少し詳細な情報提示(各日の学びや体験の内容の詳細)が頂けると、目的意識が持ちやすく、学びや思考が深まるのではないかなと**感じました。(私の現地参加数が少ないため受け取れている情報が少ないことに起因するかもしれません)(1回/生坂村/28歳/男性)
- ・ 待ち時間などの**事前案内**、募集の時期の前倒し(2回/和歌山市/47歳/女性)
- ・ **事前連絡**などをもう少し早くして欲しい(4回/和歌山市/15歳/男性)

<運営・手際の悪さ>

- ・ 最初に連絡を下さった**事務局の方と実行委員の方との温度差を感じました。**実行委員の方が集客に加われればもっと集客できたのではないかと感じました。(4回/南砺市/67歳/女性)
- ・ こちらの**メールの返事が無いことがあった。**早めに情報提供が入る事があった。(4回/南砺市/55歳/女性)
- ・ 正直なところ、「いしかわのWa」の方には、参加になっておりましたが、参加者としては、カウントされていなかったのも、最初はとっても不安になりました。NHKをご覧になり「いしかわのWa」を知り、お子さまと参加された方がお見えだったら…話し合いの場面は、戸惑われたと思います。(1回/七尾市/50歳/女性)
- ・ 導入にあたってフィードバックの追求ができればよかった(8回以上/珠洲市/34歳/男性)
- ・ **イレギュラーな事が起こった際にややばたつく事があった。**備品が足りない時があった。すぐに手配してもらえたので問題なしでしたが。(6回/和歌山市/50歳/女性)
- ・ 企画運営の**手際の悪さ**(8回以上/和歌山市/44歳/女性)

改善点や物足りなく感じたこと(3/3)

Q. プログラムについて、良かった点や満足できたこと、逆に改善すべきと思った点や物足りなかったと感じたことを、ご自由にお聞かせください。

改善点や物足りなく感じたこと

<時間配分・待ち時間>

- スムーズなペース配分、わかりやすい解説と安全管理への配慮。歩いたコースマップなどが欲しかった。もう少しボルケーノと暮らしの物語が聞きたかった。(1回/二本松市/62歳/男性)
- 総湯も入って、もうちょっとゆっくり帰っても良かったかも。(4回/七尾市/50歳/女性)
- 演劇堂でのチームミーティングは、もう少し長くても良い。農業体験と演劇堂での自己紹介が長すぎた。(1回/七尾市/40歳/男性)
- 生産者と参加者でグループ毎に分かれてのディスカッションの時間が短かった(1回/七尾市/60歳/男性)
- 時間の関係上、仕方がないとは理解できますが、もう少しじっくりと見学したかった箇所があった。(3回/和歌山市/55歳/女性)
- 全体的に各スポットの滞在時間が短く感じました。訪問先をある程度絞り、その分一か所あたりの滞在時間を長く取れる構成だと、より満足度が高まると思います。(4回/和歌山市/55歳/女性)
- 待機時間が長かった。スムーズなスケジュール取り(1回/和歌山市/60歳/男性)
- 甲冑を着てからの時間が長い、晩御飯の鍋が物足りなかった(1回/和歌山市/50歳/女性)

<プログラムへの関わり方・疎外感>

- 突発的な内容が多く、作業人員として関わることを求められているように感じた。関わり代やスケジュール、裁量が明確だと良かった(8回以上/珠洲市/37歳/男性)
- 何も自分を活かせることなく、また必要とされることもなく終わったことに、不甲斐なさを感じました。もっとお互い価値を見出せるプログラムだと思っただけにすごく残念です。なにが自分が悪かったのかフィードバックできる場が欲しいです。(5回/珠洲市/40歳/男性)
- やるべき事のハードルが高く対応しきれなかった。チームとしての取組みができなかった(個人任せだった)(8回以上/珠洲市/63歳/男性)
- 一部の人たちだけで進めている感じでまとまりがなかった。第2のふるさと作りというよりは、それぞれがやりたいと思っていたことを震災復興の名目でやっている感じで、別に珠洲である必要性が感じられなかった。(8回以上/珠洲市/44歳/男性)
- 具体的なアクションにするまでに少し時間がかかってしまった。その際、自身がどう関わることがわからなかった(2回/珠洲市/37歳/男性)

<その他>

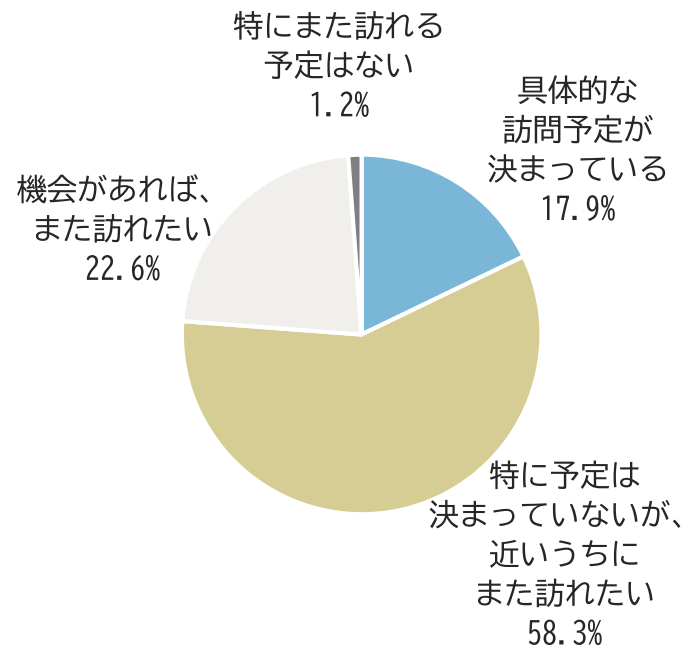
- 収穫したのを持って帰ることができなかったのが残念(事前に袋の用意とかしおけばよかった)(4回/七尾市/50歳/男性)
- 地域の観光が出来なかった(3回/生坂村/64歳/女性)

今後の来訪意向や多拠点生活への関心の変化

- 具体的な再訪予定が決まっている人が17.9%で、具体的な予定はないが再訪意向がある人を加えると、ほぼすべての人が再訪意向を示した。
- 2拠点生活への関心も「以前よりも関心・意欲が高まった」が46.4%、「少し関心・意欲を持つようになった」が38.1%で、計84.5%が関心が高まったと回答。

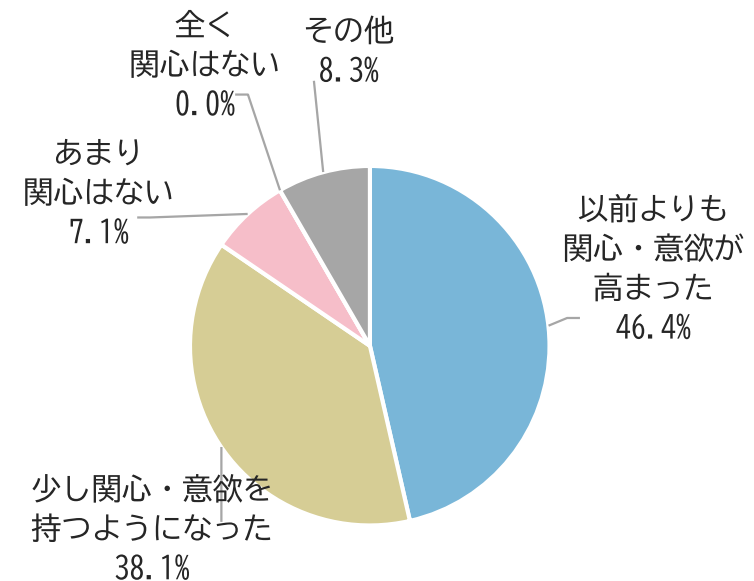
Q. 今後もこの地域を訪れる予定はありますか？

N=84



Q. あなたは、今回のプログラムに参加して、『2拠点・多拠点生活』への関心や意欲は変化しましたか？

N=84



(その他の内容)

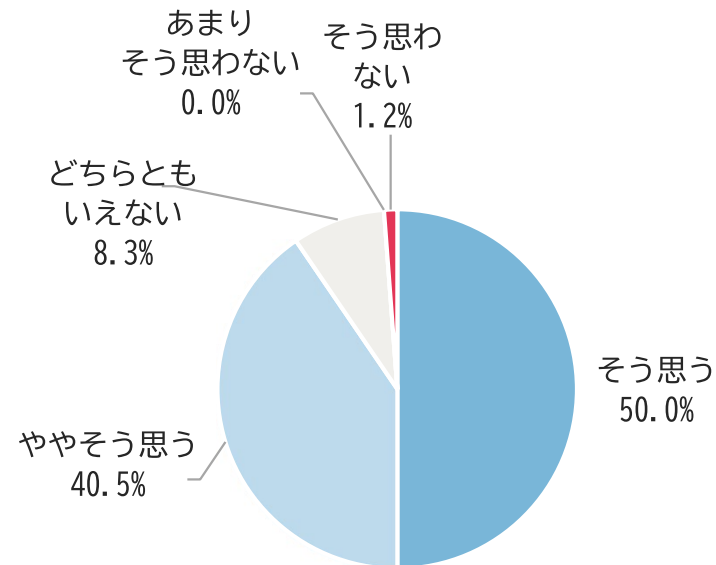
- **公務員**なので拠点は山形県に置かなくてはいけないものの、2拠点(多拠点)生活の魅力を感じることができました(2回/二本松市/44歳/女性)
- 興味はあるが、**出社回帰で難しくなってきた**と感じる(1回/珠洲市/47歳/男性)
- ほぼ地元ですので安達太良山は当たり前の存在でしたがプログラムを通して改めて関心が高まりました(5回/二本松市/42歳/男性)
- むしろ嫌いになった(5回/珠洲市/40歳/男性)
- 関心・意欲が元々MAXなのでこれ以上高まらない(8回以上/珠洲市/48歳/男性)
- 時々訪れたい(3回/生坂村/53歳/女性)

継続来訪意向

- 当該地域への継続来訪意向も「そう思う」(計)が90.5%だった。
- 来訪頻度としては「数か月に1回程度」が最頻となっている。

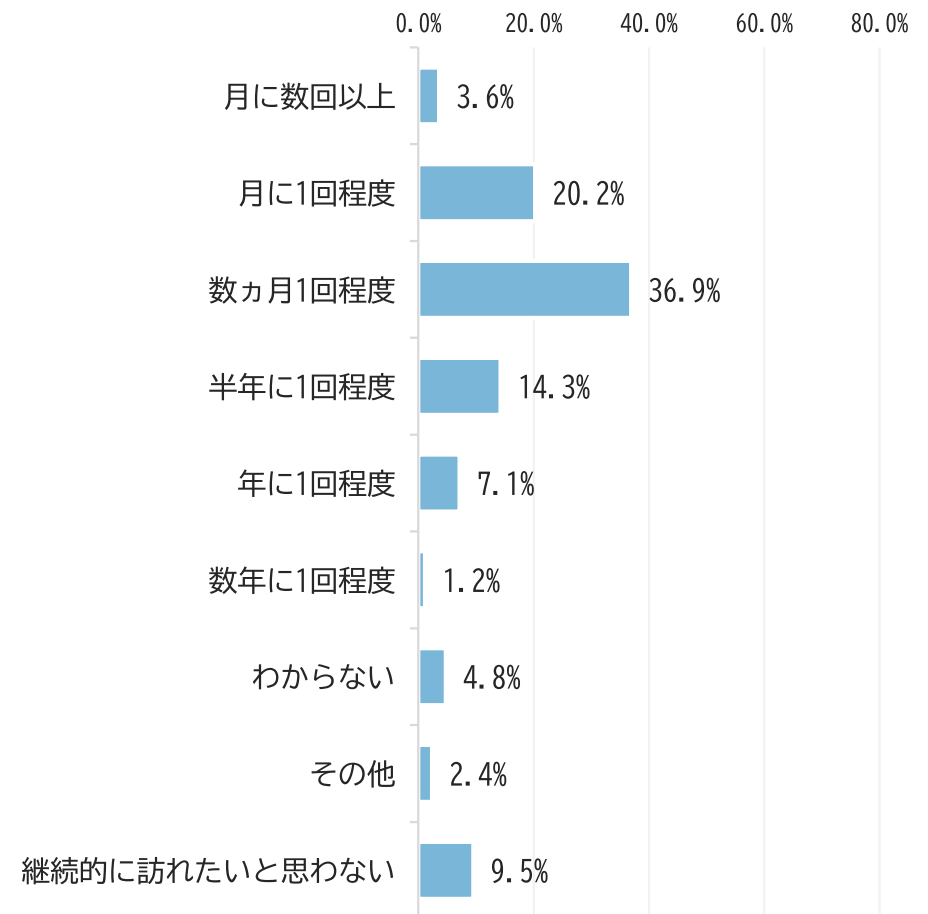
Q. 今回のプログラムに参加して、この地域に継続的に訪れたいと思うようになりましたか？

N=84



Q. (継続的に訪れたいと回答した人にお聞きします) 今後、この地域にどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか？

N=84



継続来訪意向につながった理由(1/4)

- 地域での温かな交流や、多様で丁寧な体験プログラムを通じ、人・自然・文化への理解が深まり、参加者は学びや刺激を得て再び訪れたい気持ちを強くしている。
- また、地域住民やスタッフとの関わり、共同作業や食事の共有などが信頼関係を生み、「また会いたい」「成長を見守りたい」と思える魅力的な場となり、継続的な訪問意欲につながっている。

Q. 今回のプログラムや事務局の対応、参加者のコミュニティなど、どのようなきっかけや体験が今後もこの地域を継続的に訪れたいという気持ちにつながったと思いますか？(自由記述)

【体験・コンテンツ】 プログラム内容の魅力

- ボルケーノトレイルを何回か歩いて踏破していきたいという思いを持った。それをボルケーノトレイルをサポートしている人たちとも話したいと思った。(1回/二本松市/62歳/男性)
- 改めて取り組みについて知ることが出来たこと。(8回以上/二本松市/48歳/男性)
- 自分が知らない体験ができること(8回以上/二本松市/47歳/男性)
- 当たり前前の存在だった安達太良山ですが今回のVOLCANO48のスタッフとして参加しあらためて火山の持つ魅力を知り、程よい活用しと保全を火山が繋げてくれた人達と今後も継続していきたいと感じたからだと思います。(5回/二本松市/42歳/男性)
- 近い割に過去に数回しか訪れたことがなかった南砺市ですが、今回麻布ギャラリーでの体験をさせていただきましたが、よくある織り機で何か作るだけというだけではなく、糸のできるどころからと、手仕事の本来の姿を体験できた事(紙漉きも同様だったようです)そして、南砺市の伝統、文化、今のその様子を体験できたことだと思います。高齢で身体は疲れましたが、気力をもらいました。(4回/南砺市/67歳/女性)
- NRNの活動(8回以上/七尾市/50歳/男性)
- 継続的にスキルを活かす場面、ニーズ。現地に赴くタイミングがない時もありモートでの対応ができるとうい(1回/珠洲市/47歳/男性)
- 元々、この地域を継続的に訪れる気持ちはあり、その理由作りとして、今回のプログラムに参加しました。(8回以上/珠洲市/48歳/男性)
- ぶどう畑の寒さ避けのためにワラをかけて寒さ避けをして、次の日に霜が降りた状況を確認したら、畑の成長の助けになってると実感して、今後の成長を見守りたくなりました。(4回/生坂村/41歳/男性)
- 毎回魅力的なプログラムで、和歌山の見どころを自分では選びきれない形で体験できたことが、また訪れたい気持ちにつながりました。また、日本の歴史や文化を感じられる場所が多く、語り部の方が背景を丁寧に説明して下さったことで理解が深まり、印象に残る体験になりもっと知りたいという気持ちが生まれました。(4回/和歌山市/55歳/女性)
- 地域での体験(4回/和歌山市/36歳/女性)
- 古民家の再生の企画に参加していただき、今後の発展が見守っていきたくです(6回/和歌山市/27歳/男性)
- 普段体験できない竹の伐採や竹灯籠、てとこと市などに参加できたことが凄く良かったです。(6回/和歌山市/21歳/男性)
- DAOなどでミッションなどがあり、大阪にいても定期的のぞいてるし、来訪がきっかけでインスタをフォローしているので大阪との季節、天気の違いやイベントのことがみれるので、それをみてまた行きたいなどおもう(2回/三原市/47歳/女性)
- 祭り、イベントへの参加機会の提供を継続すること(1回/三原市/60歳/男性)
- ポイント貯めて、いろいろ特典がもらえるのが面白い(1回/三原市/50歳/女性)

継続来訪意向につながった理由(2/4)

Q. 今回のプログラムや事務局の対応、参加者のコミュニティなど、どのようなきっかけや体験が今後もこの地域を継続的に訪れたいという気持ちにつながったと思いますか？(自由記述)

【交流】 地域の人との交流

- 温泉に泊まり、宿主たちとコミュニケーションがとれたりしたこと(5回/二本松市/45歳/女性)
- 人とのつながり(4回/二本松市/51歳/男性)
- 地域の人との交流ですかね？(1回/二本松市/55歳/男性)
- また会いたい人につながる。お気に入りの景色やプログラム、宿と出会う(2回/二本松市/45歳/男性)
- 地元の方との心癒される温かな時間の共有や、趣味や興味への刺激をもらうことにより、チャレンジしてみたいという気持ちが高まり、また近いうちに是非訪れたいと思っております。事務局の方、そして温泉の女将さん、地元の酒場の店主さん、そして、盆栽を守るご家族の皆様が、温かく向かえてくださり、また来たいな！また来ても良いのかな！と感ずることが出来、また、大好きな自然のフィールドとして、また日本の中で先端を行くトレイルの場所として関心があり、次回は、ロングトレイルにチャレンジしたいので、是非、再来訪をしたいと感じております。(1回/二本松市/47歳/女性)
- 暖かく受け入れてくれる範囲とコミュニケーション、彼らのためになると感じられる瞬間があること、また来なくなる季節要因の変化(3回/二本松市/38歳/男性)
- 地域の方々の温かさに触れ、また会いたい気持がある。朝のお参りで感じた信仰心の厚さ。(8回以上/南砺市/60歳/女性)
- おもてなしの心。自然もしかりですが、人が魅力です。(2回/南砺市/51歳/女性)
- 地域の人とのふれあい、食事、景色(3回/七尾市/50歳/男性)
- 生産者や地元の人との交流(3回/七尾市/51歳/女性)
- 人との関わり、農業体験を通して、発信したいと思いました。(1回/七尾市/50歳/女性)
- 地域の方々の復興と再起への熱意とオープンな姿勢と人柄の良さ。事務局のみなさまの地道な努力。参加者の多彩さ。これらの化学変化に自分もいつも触発されています。(5回/七尾市/40歳/男性)
- 新しい故郷ができたと思えるような人との出会いやつながりが体験できると良いと思います。(3回/七尾市/50歳/男性)
- 農業体験や、生産者の方とのディスカッション。能登野菜に愛着がわき、生産者の方の想いを知ること共感が生まれ、今後も何かしらの形で継続して関係を持ちたい気持ちが生まれました。(3回/七尾市/40歳/女性)
- 地域資源と、地元の人(能登新選組)との交流。(1回/七尾市/40歳/男性)
- 地元の方々とのリアルでの対面の機会(1回/七尾市/60歳/男性)
- 地域の方々との触れ合い機会があるのは現地メンバーがいるからこそなので、そこが非常に良かった。(8回以上/珠洲市/37歳/男性)
- シンプルなお手伝いで喜んでいただけましたこと(8回以上/珠洲市/61歳/女性)
- 地域の方との交流や、困り事の解決のお手伝い(3回/生坂村/64歳/女性)
- 村内の方と気軽に話せる関係が持てたことで、特別な場所になりました。(5回/生坂村/38歳/女性)
- ①現地で活動している人との接点と、その人が継続的にチャレンジしている内容を知れたこと。②参加者コミュニティが意欲的かつ協働できる雰囲気であったこと。何か生まれそうな期待値、多世代/異分野交流、新たな発見や出会いなどが得られる可能性を感じられること。③研究者の方が参画し、社会的&定量的な意義/価値に紐づけ、外部展開可能な知見が得られる可能性があること。(定性的に良いね。で終わらせない。)(1回/生坂村/28歳/男性)
- 外部の人間だからといって、ただ意見を出し合ったり、傍観したりするだけではなく、実際に地域の人の輪に加わって一緒に手を加えていけること。(4回/生坂村/23歳/男性)
- 今まで参加したプログラムのお手伝い。新たな地域の方々との交流や、地域で開催される伝統行事やお祭り参加。(3回/生坂村/53歳/女性)
- 地域の現状を知ることや、そこに住む方々との交流・実際に訪れることでわかる地域の良さなどがわかり、お世話になった場所やお世話になった方々に再び会う為 訪れたいとなりました。(3回/和歌山市/50歳/女性)
- 地域の人とたくさん触れ合えて、縁が増えていくからです。(8回以上/和歌山市/21歳/男性)

継続来訪意向につながった理由(3/4)

Q. 今回のプログラムや事務局の対応、参加者のコミュニティなど、どのようなきっかけや体験が今後もこの地域を継続的に訪れたいという気持ちにつながったと思いますか？(自由記述)

【交流】 交流会など、参加者同士の横の繋がり

- ボルケーノトレイル、オムスビグラベルなどを通じて、様々な職種の方達と知り合うことが出来、毎度勉強になる事が多く、自分の自然の中での過ごし方をアップデートすることが出来ているから(6回/二本松市/48歳/男性)
- 全4回の体験コースで作品を仕上げたい気持ちが大きいです。2回目から他の体験コースの人たちと同じゲストハウスに宿泊して同じ釜の飯を食べるというように合宿しに来たみたいで打ち解けられ3、4回目また宿泊するのが楽しみに来ていました。井波の町並みや南砺市の田園の中を歩く機会に恵まれ、車では見落としがちな時間の流れ、風景を堪能しました。9月に来た同じ場所にまた春に来たいと思います。他の農業ツーリズムのプログラムなのに私が農業に興味があるので藁によう作り体験に参加させて頂いたり、参加者の希望に沿った体験、情報提供をして頂いてありがとうございました。(4回/南砺市/43歳/女性)
- 交流会や、イベントなどでのコミュニケーション。手しごと作業、体験が丁寧、親切的な関わりがあった。(4回/南砺市/55歳/女性)
- 交流会や、最寄り駅までの送迎や、一緒にランチ出来たり楽しかった。(4回/南砺市/55歳/女性)
- 事務局の対応は特に問題ありませんでした。お世話してくれる方も皆親切で、十分に心配りをしていただきました。参加者とのコミュニケーションもうまくいったと思います。昼食や夕食を共にし、和やかなひと時を持ちました。(4回/和歌山市/63歳/女性)

【交流】 ガイド・ナビゲーターの人柄や対応

- 岳のフィールドの中で一緒に考えたり山に入ったりご飯を食べたり、と時間を共有できたことがきっかけになっていると思います(2回/二本松市/44歳/女性)
- 見物にハードルの高い能登のお祭りも酒井さんの案内で見に行きたいなと思いました。(4回/七尾市/50歳/女性)
- お世話してくださる方々が 本当に丁寧に和歌山や和歌山の史跡などを説明してくださったり 案内してくださったりが 感動しました。それと ホテルも良いし、食事も良いし、モニター参加仲間も良い人ばかりで このツアーには良い思いが多かったからです。歴史に興味があるので 私に合ってると思いました。(3回/和歌山市/63歳/女性)
- 案内をしてくださった方々の優しさや熱心さが伝わってきたから。観光して回った所が私の年代にはちょうど良いと思えた、静かでゆったりしているところなど(3回/和歌山市/65歳/女性)

継続来訪意向につながった理由(4/4)

Q. 今回のプログラムや事務局の対応、参加者のコミュニティなど、どのようなきっかけや体験が今後もこの地域を継続的に訪れたいという気持ちにつながったと思いますか？(自由記述)

【交流】事務局の人柄や対応

- ・ **事務局の対応**には、知識の豊富さやその土地への愛着を強く感じた。最終的に人を動かすのは、人ではないかと。(1回/二本松市/44歳/女性)
- ・ ビジネス・業務としてではなく、**人と人との関係性で、フラットに接していただけた**ことが、再来訪の意欲につながりました。また、一度ではとても体験できない魅力の引き出しを、良い意味でみせていただけたことも大きかったです。(2回/二本松市/50歳/男性)
- ・ 人の距離の近さや**お客様扱いでない**ところ(1回/二本松市/49歳/男性)
- ・ **事務局、地域の方の楽しそうな姿**をみると、とても一体感が出ていいイベントの雰囲気が出ていいと思う。(4回/二本松市/35歳/女性)
- ・ 東京で**生産者さん、事務局さんとお酒を酌み交わした**こと。それで現地のイベントにも参加してみようと思った。現地に行ってワイワイ話したらまた行きたいと思った。(1回/七尾市/50歳/男性)
- ・ 事務局の方々の対応も良く、純粋にまた訪れたいと思いました。地域の案内もとてもよく、現地の方との対話も重ねていくうちに、機会をみて行きたいと思いました。(1回/珠洲市/44歳/女性)
- ・ どれかひとつということではなく**サイトの魅力、スタッフの熱意、地域活性化プログラム地域の文化**(2回/生坂村/61歳/)

【地域資源】地域の魅力を発見して

- ・ **自然景観**の素晴らしさ(8回以上/二本松市/69歳/男性)
- ・ 岳温泉を含め安達太良山や一切経山など素晴らしい地域だと思います。継続的に訪れ地域や自然を満喫したいと思います。機会があれば保全作業や地域おこしにつながるような事にも参加できればと思います。(1回/二本松市/52歳/男性)
- ・ **食べ物が美味しい**、魅力的な街だけどその魅力が何に由来してるか分からないのでより深く知りたいから(5回/南砺市/45歳/女性)
- ・ この会に参加して、七尾のことを知れば知るほど、また七尾に遊びに行きたくなる(8回以上/七尾市/40歳/男性)
- ・ 何度も訪れる事で**泊まる場所などに愛着**が湧きました。あと、ごはんがとても美味しかったです。案内の方がとてもフレンドリーで、そこも愛着が湧く点になったと思えます。(6回/和歌山市/50歳/女性)
- ・ **豊かな自然**を生かし様々な体験プランがあれば、より楽しめると思います。(8回以上/和歌山市/50歳/女性)
- ・ **釣りの楽しみ等**がまた訪れたいという気持ちに繋がったと思います。(4回/和歌山市/15歳/男性)
- ・ 釣りをとても手軽に楽しめるとわかった。和歌山は船釣りだけでなく、波止場釣りが本当にすぐそこできて、しかも釣れるのを知れた。(8回以上/和歌山市/44歳/女性)
- ・ 熊野古道は、山奥だけだと思っていたけど、他の所にもあるということを知ったり、歴史の事を聞いたりして、興味が湧いた(4回/和歌山市/49歳/女性)
- ・ **色々な祭りをやっていることを知れた**ので、家族で訪れたいと思った。(1回/三原市/48歳/男性)

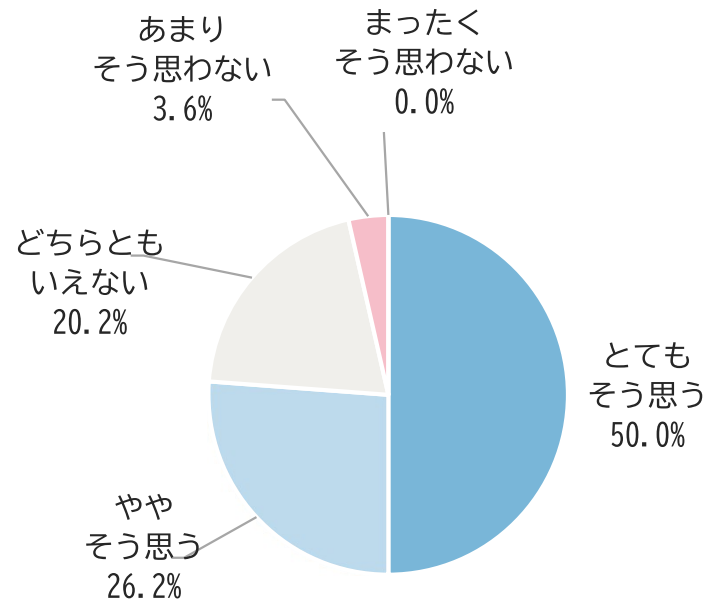
地域を紹介することについての意向

- 「SNSで地域を紹介したい」よりも、「親しい人に紹介したい」の方が「とてもそう思う」の割合が高い。
- 旅の性質上、幅広く訴求するよりも、興味を持ちそうな相手に紹介する方が向いていると判断された可能性も考えられる。

Q. SNSでの発信や、友人など親しい人に、この地域を紹介したいと思いますか？

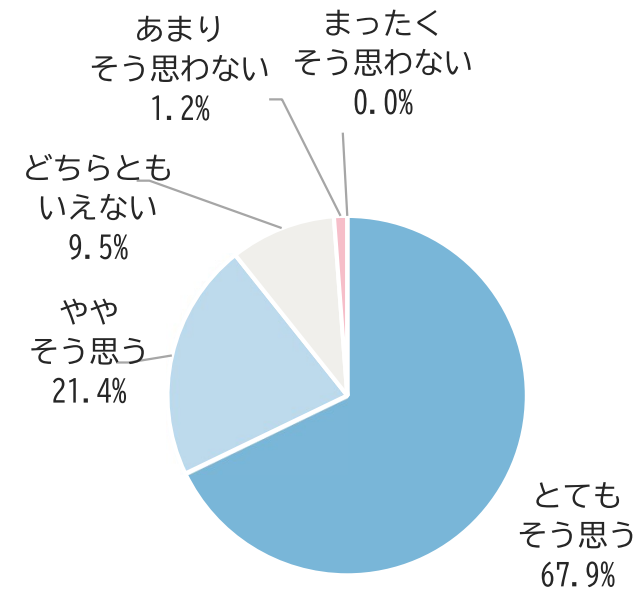
SNSで地域を紹介したい

N=84



親しい人に紹介したい

N=84



地域について紹介したいこと(1/4)

- 二本松市は「自然」、「トレイル」、「温泉」、「食・酒」といった、観光資源を中心に、歴史や文化を紹介したいといったコメントが多い。

Q. この地域を紹介するときに、どのようなことを紹介したいと思いますか？（自由記述）

二本松市

- ・ 自然の素晴らしさ(5回/二本松市/45歳/女性)
- ・ ボルケーノトレイルの先進地。火山が生んだ様々な物語を歩くことで触れていくことができる。もちろん、そこに暮らす人にも出会うことができる。次世代がきちんと育ってきている土地(1回/二本松市/62歳/男性)
- ・ 自然の素晴らしさなど(1回/二本松市/52歳/男性)
- ・ 岳温泉という拠点性(1回/二本松市/55歳/男性)
- ・ 風情ある温泉街から少し行くだけで入っていける自然のとの距離感や自然そのものの素晴らしさ、そして地域の皆さんの生活を守るのに欠かせない湯守の方の活動やお話を伝えていきたいです(2回/二本松市/44歳/女性)
- ・ 国立公園の美しくも厳しい自然環境を最大限活かした、ここだけの歴史・文化・暮らしが体験できる場です。(2回/二本松市/50歳/男性)
- ・ 良い温泉と食べ物と自然(3回/二本松市/45歳/女性)
- ・ ローカル感があって観光とは違う雰囲気(1回/二本松市/49歳/男性)
- ・ 岳温泉の魅力、ボルケーノトレイル(2回/二本松市/45歳/男性)
- ・ どの季節で訪問しても発見がある(8回以上/二本松市/47歳/男性)
- ・ ロングトレイルや、温泉トレイル、そして盆栽トレイルについて、ご紹介したい。興味ある海外の方に、すぐにでも紹介できる状態に既にあること。(1回/二本松市/47歳/女性)
- ・ 絶景だけで無く傷んでいる現状なども紹介したい(5回/二本松市/42歳/男性)
- ・ 米や酒がうまい、それを育む大地や水、それらのストーリー、守ってきた人たちの価値観やストーリー、四季の楽しみ(3回/二本松市/38歳/男性)
- ・ この場所に訪れると、やりたいを後押ししてくれて、新しい経験や体験をくれる。(4回/二本松市/35歳/女性)
- ・ 自然と温泉、お酒を通じてのコミュニティ(6回/二本松市/48歳/男性)
- ・ 地域ポイントだけでなく、複数の・・・例えば登山の魅力やドライブルート、食のポイントなど連携したものとして紹介したい。(8回以上/二本松市/69歳/男性)

南房総市ほか

- ・ 回答なし

地域について紹介したいこと(2/4)

- 南砺市では「伝統」や「民芸の精神」のような、地域文化やその地域の空気感を紹介したいとの声が多い。
- 七尾市では「食の魅力」がやや多く、景観、地域の人たちの熱意などが魅力として挙げられている。

Q. この地域を紹介するときに、どのようなことを紹介したいと思いますか？（自由記述）

南砺市

- ・ 五箇山和紙土徳の**精神**、棟方志功井波彫刻(8回以上/南砺市/60歳/女性)
- ・ 手仕事、**民芸の息づくまち**。(2回/南砺市/51歳/女性)
- ・ 南砺市の**伝統行事**。作物と農家さんの紹介。(4回/南砺市/43歳/女性)
- ・ 富山、南砺市で、**伝統芸能**を残す取り組みがあった。(4回/南砺市/55歳/女性)
- ・ **民藝の心**、美しき自然と穏やかな人々が共に生きる町。豊かさとは何かを感じられる場所。(3回/南砺市/51歳/女性)
- ・ 富山の南砺市で、手しごと、彫刻、麻布、和紙作業がある。自分は五箇山和紙で体験した。興味があれば。(4回/南砺市/55歳/女性)
- ・ 友人達にはまずは井波や城端にある**カフェや食**に関わる事からが入りやすいかな？と思います。(4回/南砺市/67歳/女性)
- ・ **景色がきれいで食べ物が美味しい**、混雑していない(5回/南砺市/45歳/女性)

七尾市

- ・ また来なくなる**食べ物や人のつながり**がある(3回/七尾市/50歳/男性)
- ・ **美味しいもの**がある、地域の人との交流(3回/七尾市/51歳/女性)
- ・ 地域おこし協力隊のサポートで地元の人々の目線で観光できること。七尾市についてはできるだけ能登演劇堂についてアピールするようにしてます。(4回/七尾市/50歳/女性)
- ・ **美味しい野菜、牡蠣**が食べられる→食べることで支援になる(1回/七尾市/50歳/女性)
- ・ **美味しい食べ物、良い景色**があり、人が穏やかで温かいこと(3回/七尾市/50歳/男性)
- ・ **能登牡蠣**(4回/七尾市/50歳/男性)
- ・ **能登の伝統野菜の収穫**や、生産者と直接対話することで農業経営の実情や課題を知り、対話を通じて自身も地域の当事者となれるプログラム(3回/七尾市/40歳/女性)
- ・ **牡蠣小屋**を紹介したい。(1回/七尾市/40歳/男性)
- ・ **観光資源**(8回以上/七尾市/50歳/男性)
- ・ 地域資源のすばらしさ**能登新選組の皆さんの奮闘**、魅力(3回/七尾市/40歳/女性)
- ・ 地域の課題と**活躍しているプレーヤー**(1回/七尾市/60歳/男性)
- ・ **生産者さん**と生産現場を見て生産物を一緒に食べる。もちろん酒アリ。と社内で話したら羨ましがられましたよ。(1回/七尾市/50歳/男性)
- ・ 七尾市に限ったことではないですが、**地方資源(自然、食、人)**に触れることが、多くの現代人が抱える身体的、精神的な病への回復の一途になる可能性を秘めていること。自分の具体例を伝えながら。(5回/七尾市/40歳/男性)
- ・ 能登の玄関口としての価値を伝えたいです。(2回/七尾市/60歳/男性)
- ・ たのしいから多くの人に参加してほしい(8回以上/七尾市/40歳/男性)

地域について紹介したいこと(3/4)

- 珠洲のアピールポイントは、人のやさしさや食に関する言及もあるが、やや抽象的。
- 生坂村の取組についても、「さまざま」や「複合的」といった形で、具体的なアピールは少ない。

Q. この地域を紹介するときに、どのようなことを紹介したいと思いますか？（自由記述）

珠洲市

- ・ **人が優しく**、伸び代のある可能性に秘めた町(8回以上/珠洲市/37歳/男性)
- ・ **人、食、文化**、その他昔からある伝統を知ってもらえるような働きや活動を紹介したいと思います。(5回/珠洲市/40歳/男性)
- ・ **お祭り等**への集客(参加型イベント)(8回以上/珠洲市/63歳/男性)
- ・ **綺麗な自然と美味しいごはん**(8回以上/珠洲市/34歳/男性)
- ・ **観光資源**など(1回/珠洲市/44歳/女性)
- ・ **海産物**など、地場のもの(1回/珠洲市/47歳/男性)
- ・ 滞在に必要な情報。(8回以上/珠洲市/48歳/男性)
- ・ **人の良さ**など(8回以上/珠洲市/44歳/男性)
- ・ 何かにすごく困っているわけではなく、みなさん豊かに生きている。実際に困っているのは、ちょっとしたことが多い。(3回/珠洲市/27歳/男性)
- ・ やる意思があれば、やることはいっぱいある(2回/珠洲市/37歳/男性)
- ・ 可能性しかない世界だよ(8回以上/珠洲市/61歳/女性)

生坂村

- ・ 自然とうまく付き合うための**さまざまな取り組み**が行われていること(5回/生坂村/38歳/女性)
- ・ **複合的な魅力**なので難しいので、行ってみて感じて(2回/生坂村/61歳/)
- ・ 現地がどのようなビジョンを持って、どんな取り組みや探求が生まれている**地域**なのか。(1回/生坂村/28歳/男性)
- ・ チャレンジ精神豊かな**人々**(4回/生坂村/46歳/男性)
- ・ どうしても信州の他の名だたる観光地に目が行きがちだが、日本の**里山の原風景**が残っていることや、ブドウの名産地であること。(4回/生坂村/23歳/男性)
- ・ **飾られていない田舎**。長閑な暮らし。まだまだ地域のポテンシャルが眠っていると感じる。(3回/生坂村/53歳/女性)

地域について紹介したいこと(4/4)

- 和歌山の魅力では、自然豊かな地域で、歴史・文化に触れられること、といった地域の特色に関するものが目立つ。
- 三原市の場合は、アクセス・立地の良さ、食、歴史に加え、特典情報などもアピールポイントとして挙がっていた。

Q. この地域を紹介するときに、どのようなことを紹介したいと思いますか？（自由記述）

和歌山市

- 歴史、自然、美味しい食文化など(3回/和歌山市/55歳/女性)
- 観光地としての見どころだけでなく、日本の歴史や文化を実感・体感できる場所であること、そして語り部の方の説明を通してその背景まで知ることができる点を紹介したいです。自分一人ではなかなか気づけない魅力を体験できるのが、和歌山の良さだと思います。(4回/和歌山市/55歳/女性)
- 熊野古道や、神社など(4回/和歌山市/49歳/女性)
- 他の県にはない魅力(3回/和歌山市/50歳/女性)
- 自然豊かで懐かしい気持ちになれる、貴重な経験ができる(4回/和歌山市/36歳/女性)
- 都会では味わえない自然豊かなところや、興味あふれる歴史情報がたくさんあるところ、なんとと言っても魚や果物が美味しいと言う事(3回/和歌山市/65歳/女性)
- 自然や、文化がたくさんある地域と言います。(8回以上/和歌山市/21歳/男性)
- 温暖な気候で、海も近く魚がおいしい身近で第2のふるさに帰った気分が味わえる(4回/和歌山市/63歳/女性)
- 意外に大阪からアクセスが良い(近い)その割に「旅行気分」が味わえた毎回、柿を大量購入してしまいました笑 日帰りでも行ける距離に泊まるのはある意味「ゆとり」を実感できる体験だったと思います(6回/和歌山市/50歳/女性)
- 釣り旅館や釣り船を紹介できます。(8回以上/和歌山市/50歳/女性)
- 釣りが面白かったので釣りなどの自然について紹介したいです(4回/和歌山市/15歳/男性)
- 釣りが楽しめる。食べ物が美味しい。温泉がある。家賃がめっちゃ安い。(8回以上/和歌山市/44歳/女性)
- 地元のイベントを手伝いてとても面白いです(6回/和歌山市/27歳/男性)
- その人が興味のある分野を案内したい。とりあえずは 和歌山城は必須ですね。和歌の浦も必須。夕食で選んだ店も紹介したい。(魚、野菜、果物が本当に美味しかったです)(3回/和歌山市/63歳/女性)
- 和歌山の魅力全て(6回/和歌山市/21歳/男性)

三原市

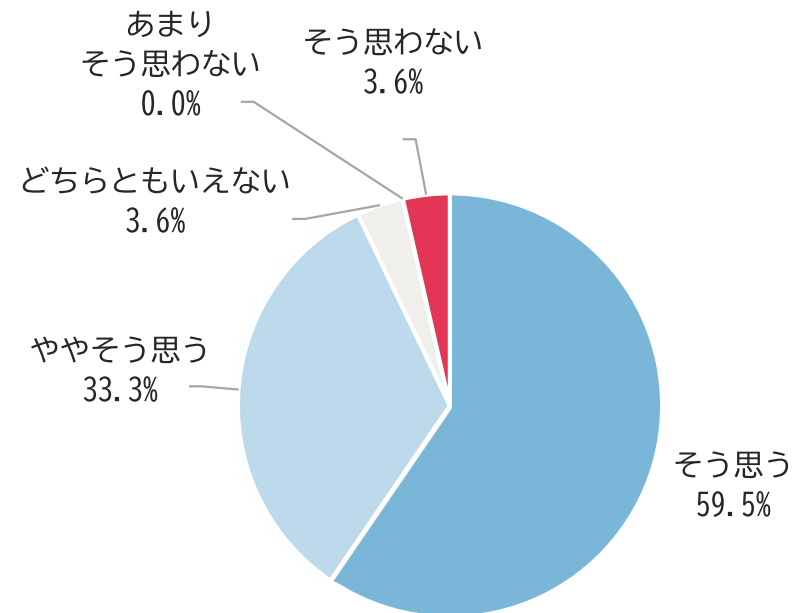
- 楽しい祭りが沢山あるので薦めたい。車がなくても電車で行けることや船を使って色々な島に行けること。(1回/三原市/48歳/男性)
- ほどよい田舎 ほどよい便利さ 地域の人々の懐の大きさ(2回/三原市/47歳/女性)
- 豊かな食材や歴史(1回/三原市/60歳/男性)
- しまなみ街道ポイント貯めて特典ゲット。キャンピングカーのレンタカーの特典(1回/三原市/50歳/女性)

地域を応援したい気持ちの変化

- プログラムに参加することによって、地域を応援したい気持ちは高まっている。
- 「そう思う」と「ややそう思う」を足すと9割以上が地域を応援したい気持ちが高まったと回答している。

Q. 今回のプログラムに参加する前に比べて、この地域を応援したい気持ちは高まりましたか？

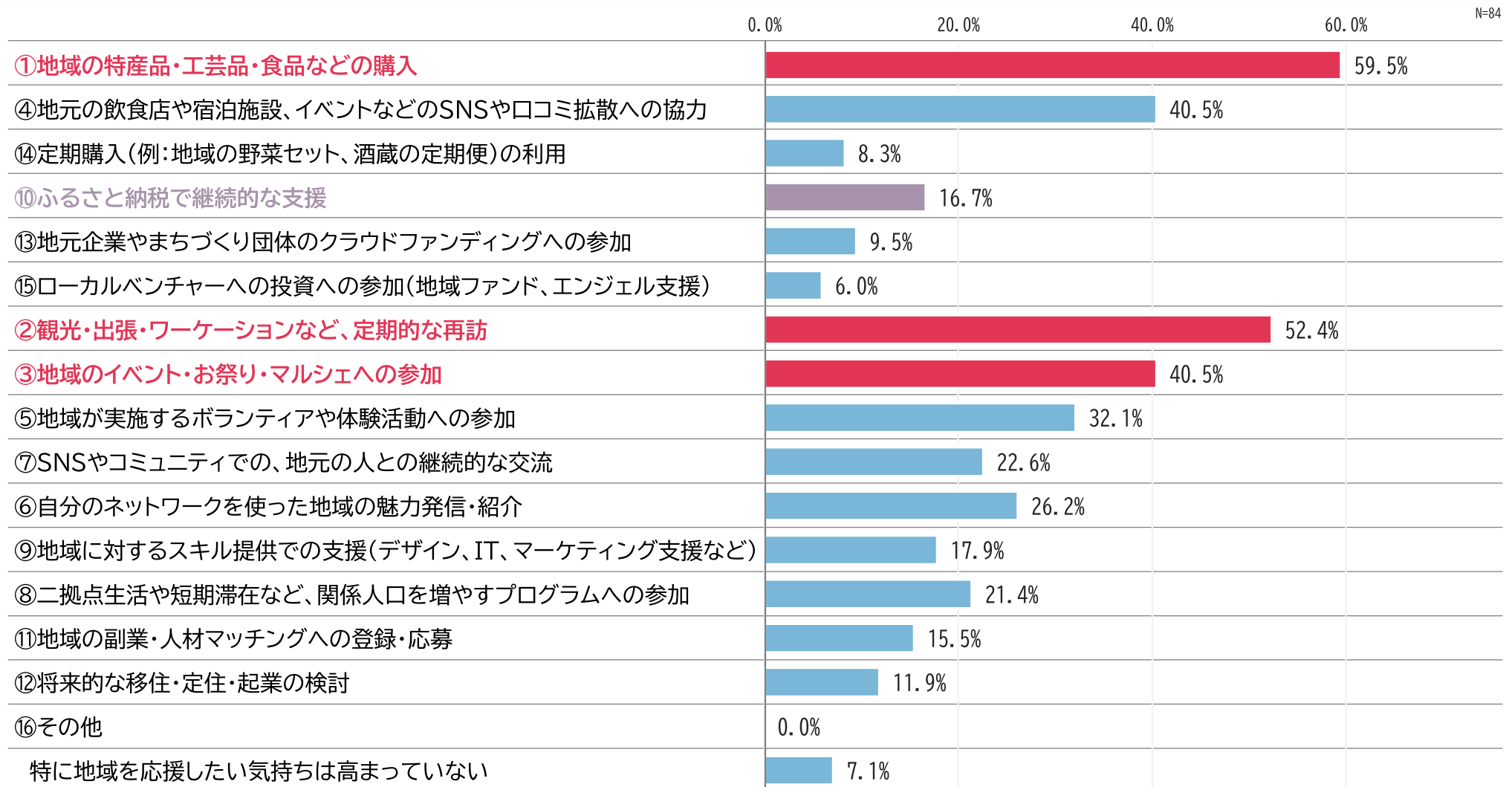
N=84



地域を応援する方法等

- 地域を応援する方法では「地域の特産品・工芸品・食品などの購入」が59.5%で最も祖コアが高かった。
- 次いで「観光・出張・ワーケーションなど、定期的な再訪」、「地域のイベント・お祭り・マルシェへの参加」と続いている。
- 一方、「ふるさと納税は16項目中10番の16.7%だった。金銭的な支援よりも再訪問による支援意向の方が高い。

Q. 地域を応援したい気持ちが高まったと回答された方にお聞きます。
どのような形での応援をしたいとお考えですか？(いくつでも)



地域への愛着や地域を応援したいという気持ちにつながった要因(1/4)

- 地域の人々との温かな交流や、語り部・生産者・文化を守る担い手から直接思いを聞く体験が、参加者に深い共感を生んでいる。
- また、登山道整備や収穫作業、祭り運営など、地域の暮らしに根ざした活動を住民と一緒に行うことで、「役に立てた」「仲間になれた」という実感が生まれ、関係性が強まっている。
- さらに、食や文化、自然や伝統行事に触れ、その背景にあるストーリーを知ること、その土地がより身近に感じられ、再訪したい・応援したいという気持ちへつながっている。

Q. どのような体験や経験が、地域への愛着や地域を応援したいという気持ちにつながったと思いますか？
具体的な出来事やきっかけがあればお聞かせください。(自由記述)

貢献できた、応援したい

- ・ 登山道整備(5回/二本松市/45歳/女性)
- ・ 大自然の素晴らしさはもちろん、**地域の人々が昔から守り続けている湯守の方の話を知ることができた**ことが、応援したいという気持ちにつながりました(2回/二本松市/44歳/女性)
- ・ **地域の方々、地域の資源を遺し守りたいという、真剣な思い**や、丁寧な暮らし。(2回/二本松市/50歳/男性)
- ・ VOLCANO72.48の大会を通して大会以外の登山道修繕等の様々なプログラムが存在する事で個人では出来ない国立公園への支援が可能である事。またそこに集まる同じような考えを持つ人に会える事。(5回/二本松市/42歳/男性)
- ・ 特定の観光資源を好きだったことに加え、**地域の悩みや思いを聞き共感できた**、彼らと友人のような関係になれた、同じ場所を守っていくのもよいと思った(3回/二本松市/38歳/男性)
- ・ 五箇山和紙の体験を通して、南砺市の地域の行事に参加して、応援できた。知人に写真を見せたり、話しをする事で、色々知ってもらえる。(4回/南砺市/55歳/女性)
- ・ **具体的な地域の課題を伺った**こと(3回/七尾市/50歳/男性)
- ・ 収穫体験を通して、**生産者の方から農業の現状や震災後の暮らしについて直接話を聞いた**ことです。作業後に皆さんと食事を囲み、同じ時間を共有する中で、支援する・されるという立場を越えて人とのつながりを感じ、応援したいという気持ちが生れました。(1回/七尾市/50歳/女性)
- ・ きっかけは震災ではありますが、御祓川様のサポートにより、**人との縁がつながっている**ことが応援したい気持ちになっています。(3回/七尾市/50歳/男性)
- ・ 七尾の人にとっての課題を一緒に解決したとき(ボランティア活動)(4回/七尾市/50歳/男性)
- ・ 今回は須須神社のHP作成を行ったが、その過程で**地域の方がどれだけ大切にされてたか痛感した**。文化的にも素晴らしい場所なので、どう維持・継続して運営できるのかが課題だと思うので今後とも関わって行きたい(2回/珠洲市/37歳/男性)
- ・ 笑顔でお礼を言っていただけたこと(8回以上/珠洲市/61歳/女性)
- ・ とともに学び、ともに実践(里地里山再生)すること(4回/生坂村/46歳/男性)
- ・ イベントのお手伝いを参加するうちに、地元の方の「和歌山の魅力をもっと発信したい」という思いが実感しました、自分も和歌山のために発信したいです(6回/和歌山市/27歳/男性)

地域への愛着や地域を応援したいという気持ちにつながった要因(2/4)

Q. どのような体験や経験が、地域への愛着や地域を応援したいという気持ちにつながったと思いますか？
具体的な出来事やきっかけがあればお聞かせください。(自由記述)

体験が学びや成長につながった

- ボルケーノトレイルという新しい取り組みに興味を抱いた。それに関わる人たちの思いに共感した。(1回/二本松市/62歳/男性)
- 山歩き(1回/二本松市/52歳/男性)
- 自分の活動に新たに取り入れることのできる体験や経験が出来たことで生まれてくると考えます。(8回以上/二本松市/48歳/男性)
- 地域や山をゆっくり長く歩く体験(2回/二本松市/45歳/男性)
- 3日間の山岳レースのボランティア体験、非日常感がたまらなく面白い(8回以上/二本松市/47歳/男性)
- 五箇山和紙作りを通して自然と共に生きる大切さを再発見できました。ありがとうございました。(8回以上/南砺市/60歳/女性)
- 越中麻布ギャラリーの始まりや取り組みを知り、体験をした事、南砺市 Touch the Dotokuの実行委員の方々の取り組みを間近で見、お話を聞いた事。(4回/南砺市/67歳/女性)
- 五箇山和紙で部屋に飾る和紙を作ったり、和紙の葉書きを作成したことや、和紙ができる工程を学んだため。(4回/南砺市/55歳/女性)
- わたしは能登演劇堂での体験、特にエキストラ出演が大きいです。なのでファンクラブにすぐ入りました。(4回/七尾市/50歳/女性)
- 収穫体験をつうじて、四季を通じた野菜づくりの大変さや、生産者の方の能登や、農作物づくりへの想いを伺うことができたとき。(3回/七尾市/40歳/女性)
- 熊野古道の散策など、自然を感じながら学べた事で、歴史的な遺産は守り続けて欲しいと思った。(3回/和歌山市/55歳/女性)
- 神社や地域を巡る際に、語り部の方の説明を通してその土地の歴史や人の想いを知ることができたことが、地域への愛着につながりました。単なる観光ではなく、背景を理解しながら体験できたことで、和歌山という地域をより身近に感じ、応援したいと思うようになりました。(4回/和歌山市/55歳/女性)
- その地でしかできない体験。竹ばっさい、竹炭作りや古民家の片付けなど(4回/和歌山市/36歳/女性)
- 伊太祁曽神社の裸参りです。(8回以上/和歌山市/21歳/男性)
- 地場産業の一日体験や工場見学や移住しても職があることへのアピール(2回/三原市/47歳/女性)
- やっさ祭りや神明市をはじめとする大小の地域イベントにスタッフとして参加できる機会の継続的な提供(1回/三原市/60歳/男性)
- ほどよい田舎具合お祭りの参加者、スタッフの経験ポイント特典が面白い(1回/三原市/50歳/女性)

地域への愛着や地域を応援したいという気持ちにつながった要因(3/4)

Q. どのような体験や経験が、地域への愛着や地域を応援したいという気持ちにつながったと思いますか？
具体的な出来事やきっかけがあればお聞かせください。(自由記述)

地域との交流やふれあい

- ローカル感のある会話、ローカルな一員になってる感じのもの(1回/二本松市/49歳/男性)
- 魂を抜かれるような絶景の中の盆栽トレイルも素晴らしかったですが、愛着や応援の気持ちにつながった体験は、盆栽の阿部さんファミリーとの交流でした。ご自宅で行った盆栽づくりでは、ご家族皆さまに温かく迎えて頂き、阿部倉吉さんが育てた実際の盆栽を目にすることが出来、また、ご苦労話や、盗まれてしまった盆栽のお話、またそれ以上に盆栽が隣にある日常のお話など、自分の知らない世界を何とも慈しみ愛を感じるまなざしでお話されるその時間が、何とも言えない、忘れられない時間になりました。お母様の手作りのお漬物や栗の甘露煮も素敵な贈り物。嬉しくおいしく頂きました。持ち帰った盆栽を見ては、あのひと時を思い出しております。また訪れたい、そんな気持ちになる時間でした。(1回/二本松市/47歳/女性)
- 地域の方たちが楽しそうにしていたところ(4回/二本松市/35歳/女性)
- 遊びに行くたびに、全力でおもてなししてくれる皆様がいるから(6回/二本松市/48歳/男性)
- 木遣り歌や南砺獅子舞を見学しました。地元の子供が参加していて、住民の人たちが楽しみにしている地域がよい(4回/南砺市/43歳/女性)
- 棟方志功の没後50年の命日に初めて訪問。(生誕120年で購入した棟方志功の作品でしたが、この地域のことは知らなかったの)小矢部川と棟方さんに何だか呼ばれたような気もします。町のことを熱く語ってくださる地元の方のお話を聞いて、親近感を持てたことも好感のひとつです。(3回/南砺市/51歳/女性)
- 地元の方々との交流会(8回以上/七尾市/50歳/男性)
- 能登新選組の皆さんとの対話(3回/七尾市/40歳/女性)
- 人との出会い。(1回/七尾市/50歳/男性)
- 地元の方々とのふれあい。これはバスや車に乗ってただ観光しているだけでは、なかなか生まれない(8回以上/七尾市/40歳/男性)
- 地域の食材を口にしたり、その裏側にあるストーリーに触れた時。地域の人との交流の機会。(1回/七尾市/60歳/男性)
- 現地の方々に住まわれている地域への思いを聞けたとき(8回以上/珠洲市/37歳/男性)
- 現地の人々との交流(8回以上/珠洲市/63歳/男性)
- 人の暖かさ(8回以上/珠洲市/34歳/男性)
- 地元の方々との交流(1回/珠洲市/44歳/女性)
- 現地に足を運ぶだけでなく、相互に行き来して人のつながりが強くなると思う(1回/珠洲市/47歳/男性)
- 住民の方との立ち話の中で、外部と何か新しいことをするという点に関して、比較的オープンな雰囲気を感じられたこと。面白がってくれる。(3回/珠洲市/27歳/男性)
- 人との交流。生坂でしか体験出来ないこと。(3回/生坂村/64歳/女性)
- 地元の方との交流。特に食事や共同作業の時間で、話すことが関係性が深まると思う。(5回/生坂村/38歳/女性)
- ニワニワさんとの交流が、応援したい気持ちを持つきっかけだと思います。(2回/生坂村/61歳/)
- 地域に根差した活動をしている方の人柄、想い、ビジョンを知り、何らかの活動を共有できたこと。(1回/生坂村/28歳/男性)
- 皆さんに喜んで迎え入れていただけたというホスピタリティや、村の人たちが、これから良い方向に変えていこう、とする熱意(4回/生坂村/23歳/男性)
- 継続的に参加者の方と会い、共に作業をし、語らう時間の重要性。協同作業を行なった現場観察もしたい。(3回/生坂村/53歳/女性)
- 人との繋がり(4回/和歌山市/49歳/女性)

地域への愛着や地域を応援したいという気持ちにつながった要因(4/4)

Q. どのような体験や経験が、地域への愛着や地域を応援したいという気持ちにつながったと思いますか？
具体的な出来事やきっかけがあればお聞かせください。(自由記述)

地域との交流やふれあい

- ・ 訪れるごとに異なる場所でお世話になれたこと地域の方とお話する時間が多くあったこと(地域の現状を知ることができた)おてつただけでなく、旅を楽しむ時間を取ってくださっていたことその土地の魅力ある場所を教えてください(3回/和歌山市/50歳/女性)
- ・ 実は北海道にハマっています。それは①景色の良さ②食べ物の美味しさ③ホテルの居心地の良さ④空の広さ⑤交通の便の良さ⑥お店や施設の対応する人の気持ちよさ⑦見てみたいものが1回で終わらないほどある所、だと思います。それが揃うと愛着が湧き何度も訪ねたくくなります。(3回/和歌山市/63歳/女性)
- ・ 今回案内してくださった方々の人柄に触れたこと・食が豊かなことを実感した(3回/和歌山市/65歳/女性)
- ・ 毎回昼食はどんなものかと楽しみでした。和歌山ラーメンや灰干しさんま等、地元の料理をおいしくいただきました。和歌山で食べたという経験が、また食べたい、また行きたいという気持ちになります。みかん狩りはここでしかできない楽しい体験でした。お土産にもらったみかんもとてもおいしく、来るたびに買っていました。食事のときいただいた南高梅の梅干しは肉厚でとてもおいしく、それ以来ずっとリピートして買っています。季節ごとに、見える風景も課題となる問題も違います。夏に見たあの風景やあの人は、冬にはどう見えて、今頃何をしているのだろうかと思いを馳せます。台風や地震があれば、知っているあの場所はどうなったのだろうか、あの人は大丈夫だろうかと心配します。今回和歌山で関わった人に、今後ずっと思いを馳せることと思います。(4回/和歌山市/63歳/女性)
- ・ 竹灯籠やてとこと市、自分たち竹を採取して、加工した竹がお祭りで使われてみんなが楽しそうにしていたから嬉しかったです。また、地域の人達と交流して凄く良かったです。(6回/和歌山市/21歳/男性)
- ・ その地域で多くのスタッフと交流を持てたことで、その地域の良さに愛着を持つようになった。(1回/三原市/48歳/男性)

1. 満足度は高く(91.7%)、「学び・成長」の実感も強い

- 全体満足度は91.7% と非常に高い。
- 特に評価が高いのは「学びや成長が得られた」95.2%、「体験内容の満足度」92.9%だった。
- 一方、「地域課題への貢献実感」58.3%や「スキル活用実感」61.9%は相対的に低かった。
→受け身的な参加になっている可能性も考えられる。

2. リピート率が極めて高い(4回以上来訪が51%)

- 「1年以内に4回以上訪問」した人が 約半数(51%)。
→多頻度来訪者が多く、継続来訪の関係人口の形成が生まれている。

3. 複数回来訪の理由は「プログラム参加」が圧倒的

- 2回以上来た理由の多くが、特定のプログラム参加の継続だった。
(例:登山道整備、井波彫刻、五箇山和紙、農業体験、釣りイベント 等)
→魅力的な体験コンテンツが継続来訪を強く後押ししている構造が明確。

4. 地域住民との交流が、愛着と再訪意向の最大要因

- 多くの参加者が、「地域の人々の温かさ」、「生産者・ガイド・事務局との対話」、「共同作業(収穫、整備、祭り運営など)」を通じ、「また会いたい」「成長を見守りたい」といった感情を持っている。
→「その地域の人たちとの関係」が、関係人口化の核心的な価値であることが確認できた。

5. 課題としては、「運営面」「物足りなさ」「関わりかたの不明確さ」など、事務局のオペレーション面

- 改善点として意見が出た内容では、
 - 「事前案内や情報不足」、「運営の手際・準備不足」、「待ち時間が長い」といった運営面に関する指摘
 - 「交流の機会が少ない／深まらない」、「滞在時間が短い」といった、物足りなさに起因する不満
 - 「プロジェクトとの関わり方が不明確で疎外感を覚えた」といった参加者の立ち位置に関すること など
→参加者は「もっと関わりたい」と回答していたが、運営面のオペレーションや事前の情報不足等によって不完全燃焼だった様子が、改善ポイントとして挙げられる。

6. 2拠点・多拠点生活への関心が大きく向上。再訪意向も高く、訪問頻度は「数か月に1回」が最頻

- 「関心が高まった」「少し高まった」が計84.5%だった。
- 今後もこの地域に継続的に訪れたいと感じている人が90.5%で、数か月に1回といった頻度で訪れたい人が多い。
→継続来訪や2拠点生活・多拠点生活への興味関心を高める意味でも、第2のふるさとづくりプロジェクトが機能している。

7. 地域を応援したい気持ちも向上するも、応援手法としては特産品購入と再訪がメイン

- 応援したい方法では、「地域の特産品購入」59.5%、「定期的な再訪」52.4%、「イベント・お祭り等への参加」40.5%と続いており、ふるさと納税やクラウドファンディング、投資などの金銭的支援の優先順位は低めだった。
→地域への経済効果としては、「継続的な来訪を伴う関係人口化」が必要。
プログラム終了後にも定期的に来訪してもらうための関係構築が重要となる。

2 企業版第2のふるさとづくりモデル

① 企業参加者アンケート

調査概要

企業版第2のふるさとづくりモデル

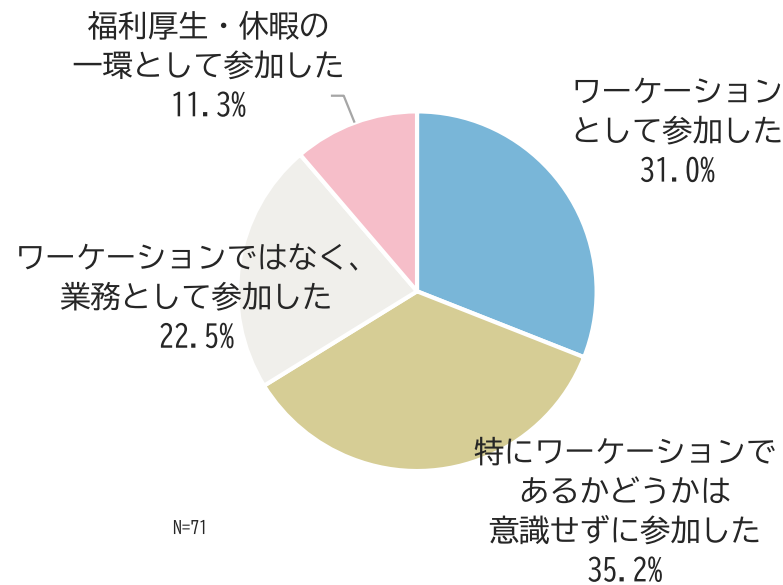
- 件名 : 企業版第2のふるさとづくりモデル 企業参加者／企業意思決定者アンケート
- 調査方法 : インターネット調査
- 実施時期 : 2025年9月22日(月)～2026年1月31日(土)
- 調査対象 : ①現地に来訪し、プログラムに参加した社員等の参加者個人
有効回収数 計71名
- ②企業側の意思決定者(経営者、関係部署の責任者、人事・労務担当など、今回のプログラムへの参加の意思決定や決裁をした人)を対象
有効回収数 計22名

NO.	事業名	対象地域	参加者	意思決定者
1	支笏洞爺国立公園「トーヤの森」を核とした地域と企業の創発促進プログラム造成・実証事業	北海道洞爺湖町	4	4
2	うらほろアカデミア2.0	北海道浦幌町	11	4
3	地域との関係性を育み活かす、自律型・地域イノベーション人材を創出「雪国発越境学習プログラム 帰る旅 ビジネス人材クリエイターズCAMP」	新潟県南魚沼市ほか	12	
4	能登半島地震復興ワーケーション(関係人口から行動人口へ)	石川県七尾市・輪島市	9	2
5	ワーケーションまちづくりラボ	長野県千曲市ほか	2	5
6	「ラーケーションの日」とワーケーション連携による第2のふるさとづくり	三重県大台町	16	1
7	離島医療の魅力化による関係人口拡大PJ	島根県海士町	3	3
8	「観光まちづくり」で企業のミライをコトひらく町・琴平～地域課題に向き合い、共に創る第2のふるさと実証事業～	香川県琴平町	14	3

参加形態の位置づけ

- 企業版第2のふるさとプロジェクトの8地域への参加者のうち3割がワーケーションとして参加したと回答。
- 業務や福利厚生として参加した人もいる。

Q. 今回のプログラム参加は「ワーケーションの一環」という位置づけでしたか？
企業として、今回のプログラム参加をどのように扱っていたのかをお聞かせください。

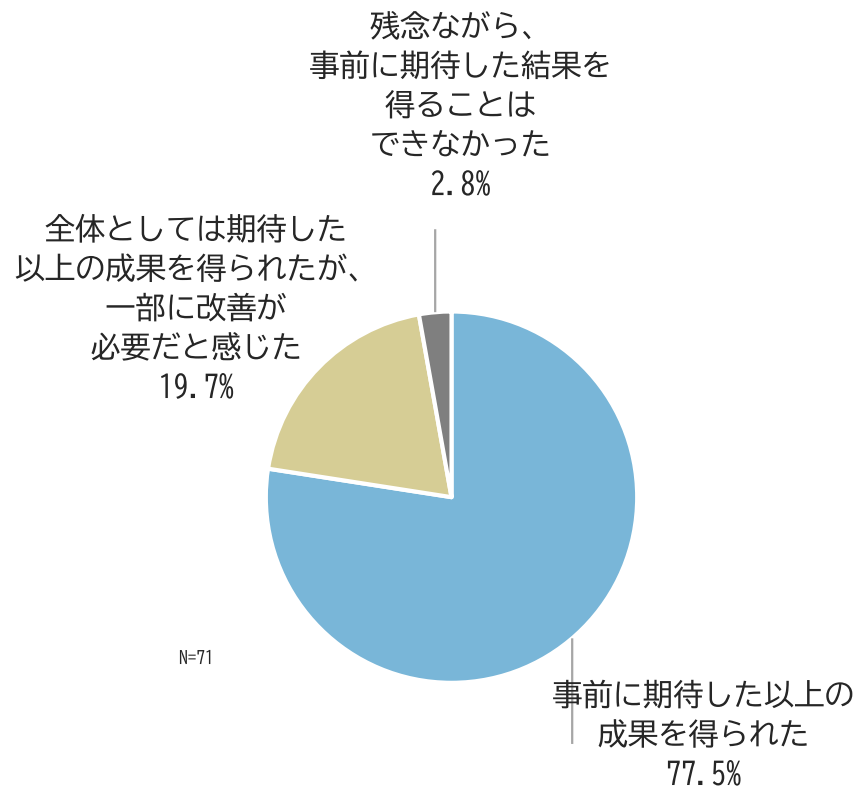


	n	ワーケーションとして参加した	特にワーケーションであるかどうかは意識せずに参加した	ワーケーションではなく、業務として参加した	福利厚生・休暇の一環として参加した
合計	71	22	25	16	8
北海道洞爺湖町	4		3	1	
北海道浦幌町	11		5	5	1
新潟県南魚沼市ほか	12	1	8	2	1
石川県七尾市・輪島市	9	7		2	
長野県千曲市ほか	2	2			
三重県大台町	16	4	7		5
島根県海士町	3			3	
香川県琴平町	14	8	2	3	1

プログラムの感想

- 全体としては約8割の参加者が「事前に期待した以上の成果を得られた」と回答。
- ただ、約2割の参加者は「一部に改善が必要」と回答している。

Q. プログラムに参加した結果、事前の目的達成度をどのように評価しますか？
全体的な感想として、最も近いものをお選びください。



	n	事前に期待した以上の成果を得られた	全体としては期待した以上の成果を得られたが、一部に改善が必要だと感じた	残念ながら、事前に期待した結果を得ることはできなかった
合計	71	55	14	2
北海道洞爺湖町	4	1	3	
北海道浦幌町	11	11		
新潟県南魚沼市ほか	12	6	4	2
石川県七尾市・輪島市	9	7	2	
長野県千曲市ほか	2	2		
三重県大台町	16	15	1	
島根県海士町	3	2	1	
香川県琴平町	14	11	3	

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 北海道洞爺湖町

- 洞爺湖町のプログラム参加者は、「研修」目的が3名で最多。
- 参加者どうしの交流は良かったと評価されているが、プログラム内容の充実やトイレ等の整備が改善ポイントとして挙げられた。

北海道洞爺湖町 - 参加目的

① 社会貢献・地域連携・防災・復興関連	
② 研修・スキルアップ・リーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社の研修として(コンサルティング) ・ 研修、素材や土地空間利用の模索(個人サービス) ・ 研修(サービス業)
③ ワークেশョン・福利厚生・リフレッシュ	
④ 新規事業開拓・事業検証／企業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規事業開拓(旅行業)
⑤ 紹介・誘い・個人動機	
⑥ その他	

北海道洞爺湖町 - 評価

『良かったこと・期待以上だったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者同士の交流(コンサルティング) ・ 多様な企業が参加されており、プログラムを通じて参加者同士でコミュニケーションが取ることができてよかった。(サービス業) ・ 街に暮らしているとわからないことばかりだったことを、専門的な方々から学べることで知見が増えた。(個人サービス) ・ プログラム最初の導入レクチャーが大変分かりやすかった。中学生や小学生にも実施できる内容だと感じた。(旅行業)
『改善が必要だと感じたこと』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一層の充実した内容が必要(コンサルティング) ・ 洞爺湖のプログラムを体験しましたが、もう少し「洞爺湖ならではの・洞爺湖でなければできない体験」を感じたかったです。(旅行業) ・ トイレ、手洗い場がない事で苦勞した。仮設トイレはあったが、手洗いが無くて不衛生と感じた。(個人サービス) ・ 季節柄、外での終日プログラムはとても寒かった。避難場所があるとより参加者に優しいと感じます。(サービス業)

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 北海道浦幌町(1/2)

- 洞爺湖町のプログラム参加者は、「研修」目的が8名で最多。リーダーシップ研修目的が目立っている。
- 加えて、「地方創生」や「新規事業開拓」といった参加理由も見られた。

北海道浦幌町 - 参加目的

① 社会貢献・地域連携・防災・復興関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域創生(食品) ● 他社のHR責任者とのネットワーキング、及び地方創生に関する情報収集(商社)
② 研修・スキルアップ・リーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ● リーダーシップ開発(商社) ● リーダーシップ開発(マスコミ) ● リーダー意識向上(通信) ● リーダーシップ研修(無回答) ● 研修(人材) ● 企業としてではなく個人としての参加ですが、普段触れることのない別の地域・業界の方から学ぶ機会であり、自身の見識を広げたいと考えました(研究開発) ● 越境・体験型の幹部育成研修として参加。非日常の体験、他企業の皆さまとの交流により、視座を高めるため。(通信) ● 思考を広げ、視座を高めるきっかけになることを期待しました。(IT・デジタル)
③ ワークেশョン・福利厚生・リフレッシュ	
④ 新規事業開拓・事業検証／企業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社側で運営する越境コンテンツとは違った角度からの検証、浦幌市のような小規模自治体の解像度を高める。非日常的空間の中で自信を内省する機会を創る。上司から推薦(人材)
⑤ 紹介・誘い・個人動機	
⑥ その他	

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 北海道浦幌町(2/2)

- 研修内容について、非日常的な体験によって新たな思考ができたといった評価がされている。
- いっぽうで、課題としては研修後のビジネスへの発展などもあがっていた。

北海道洞浦幌町 - 評価

『良かったこと・期待以上だったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の第一次産業の置かれている状況がよく理解できた(商社) ● 突発性からの創発(食品) ● 一次産業の現状はもちろんのこと、命、地域、継承など、座学ではなく、実際に体験することで自問自答する経験は期待以上だった。また、会社での肩書ではない素の自分についてもよく考えることができるプログラムだった。(無回答) ● 現地・現場に足を運んでその場に身を置くことで実感を持って学べることがあると感じており、書籍や映像では得られなかった影響のあったプログラムだと感じました(研究開発) ● 非日常的な体験だった(マスコミ) ● 1次産業や地方の実態を、現場で概括的ではなく細部に深く感じることでできるカリキュラム(通信) ● 体験させていただきだけでなく、社会構造や1次産業の皆さまのお考え、社会構造など、深い学び、新たな思考を得ることが出来た。(通信) ● 地方・限界集落の現地で実施し、地域の方と対話をすることで、オフィスや都内では実現し難い効果を得られた(商社) ● 一次産業従事者および参加者とのネットワークングの中で、無意識的な自分自身の思考の癖や思い描くキャリア観について再考する機会となった。また、一つ一つの事象の中での問を自ら立てる経験を通じて、一面的な思考から脱却できたように感じる(人材) ● 余白の多いプログラム構成で、参加者が脳に汗をかきつつも、論理的思考に依存せず五感をフルに使うことを要求される状態が一貫して継続する構成になっていました。(IT・デジタル) ● 現地の生産者など一次産業との繋がり創出や現地のリアルに触れることができた。市長やうらほろ学舎との関係者との挑戦を知ることができた。他企業の参加者との交流ができた(人材)
『改善が必要だと感じたこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスとの接続を重視することがすべてではないと感じる一方で、この経験をどうビジネスに生かしたのか、個に触れることが多かった中で日常に戻ると短サイクルに変えるこのギャップの埋め方などは最終日に経験者の事例など知りたいと感じた(人材) ● かなり密なプログラムでしたので、もう少し個人での休憩の時間があったのではという印象です(研究開発) ● 特に感じないが、プログラム後の交流についてはさらに関連していきたいと感じた。(通信) ● 若干、学びの誘導を感じる瞬間もあるので、いかに気づきの触媒に徹することができるか、伸びしろはまだあると思います。(IT・デジタル) ● 複数の地域との比較などができるようになるとより良いかもしれない。(無回答)

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 新潟県南魚沼市ほか(1/2)

- 南魚沼市のプログラム参加目的は幅広く分散しており、参加者も金融機関、地方公共団体、個人事業主など幅広い。

新潟県南魚沼市ほか - 参加目的

① 社会貢献・地域連携・防災・復興関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会貢献活動、チームビルディング、多職種交流(地方公共団体) ・ 定年後にローカル地域に関わりたい(IT・デジタル)
② 研修・スキルアップ・リーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修(金融) ・ 研修(金融) ・ プロジェクトスキル向上ビジネス戦闘力の向上(金融) ・ 自らのパーパスの構築と事業を照らし合わせ、ブラッシュアップさせるため。(コンサルティング) ・ チームビルディングやファシリテーションのスキルを身に付けること、帰る旅事業の理解(地方公共団体)
③ ワークেশョン・福利厚生・リフレッシュ	
④ 新規事業開拓・事業検証／企業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ブランディング(個人事業主) ・ 他業種間の交流(金融) ・ 地域に入って事業展開していく予定があり、地域のファン作りというキーワードで参加を決めました。(個人事業主)
⑤ 紹介・誘い・個人動機	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事部から紹介されたものなので会社が参加した理由は人事部に問い合わせ願います。(金融)
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局兼参加モニターとして(人材)

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 新潟県南魚沼市ほか(2/2)

- 研修でいろいろな学びがあったとの評価がある一方で、実際に起業を検討していない参加者との温度差や時間不足などが課題・改善ポイントとして挙げられていた。

新潟県南魚沼市ほか - 評価

『良かったこと・期待以上だったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前自習、ハイポイントインタビュー、ソーシャルスタイル、ファシリテーション、地域ブランディングその他に参加者との交流会で参加者同士の関係性が高まったこと。(地方公共団体) ● 井口社長ほか、地域の有識者のリアルな声が聞けたことが良かった(IT・デジタル) ● 一方的な講義ではなく、講師、メンター、受講者が対話し共創することで考えやアイデアが広がり深まった点。(地方公共団体) ● 異業種との交流(金融) ● 座学や、グループディスカッション、フィールドなどがバランスよく、多くの知見を得ることができたこと。(コンサルティング) ● ソーシャルスタイル分析、ファシリテーションスキル、積極的傾聴等、有益なカリキュラムが多かった。(金融) ● 積極的傾聴など日常業務にも活かせることを実践形式で学ぶことができた(金融) ● 自己分析の解像度が、今まで参加したどの研修よりも高かったです。(個人事業主) ● 起業に向けた研修として非常に身のあるものであったと感じました。実地研修が含まれていた点についても座学では認識出来ないものを実際に見て学ぶことができたので良かったと思います。(金融) ● 自己分析ができた(個人事業主) ● 普段の仕事で関わることのない方々と交流することができた。また職種や役職の垣根を越えた討議をできたことは有意義だった。(金融)
『改善が必要だと感じたこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトの完成度を上げるには、前半と後半の間にあったメンターとのオンラインによるアドバイスが2度あつほうがいいのかもしれない。(地方公共団体) ● 金融機関の方々が多かったが、色々な分野がばらけると良かった(IT・デジタル) ● 強いて言えば、最後の企画発表の際、講師の松岡さんやメンターからのフィードバックを文面でいただけるとありがたいです(その場ではメモしきれず)他は、配慮や工夫が感じられて、全般的に不満はありません。(地方公共団体) ● 研修中の移動時間(金融) ● 座学の面で、パーパスから企画への構築は難易度が高かったため、もう少し時間をとって欲しかった。(コンサルティング) ● フィールドワークは大事ですが、このカリキュラムを5日で行うには時間が足りないと感じました。(個人事業主) ● 銀行員の立場として参加したが、本当に起業を目指す人との熱量の差を感じた。(金融) ● もし起業家の方以外も対象にするのであれば自分の現在の仕事で活かせる内容を考えるものにするか、もしくは起業家(実際には起業しないとしても)の気持ちで臨むような研修企画とすると良いと思いました。(金融) ● 講座のステップが荒く話が飛んだ所があった(個人事業主) ● 施設の見学に行くのはいいがそこから何かを学んだという印象はない。(金融) ● マネタイズ(人材)

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 石川県七尾市・輪島市(1/2)

- 七尾市・輪島市のプログラム参加目的は「社会貢献活動」との位置付けが目立つ。
- 被災地での学びを防災意識向上やBCPへ反映させることを目的とした参加者が多かった。

石川県七尾市・輪島市 - 参加目的

① 社会貢献・地域連携・防災・復興関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社員との部署を超えた交流・被災現場の生の声を聴くことによる気づき、自社への取り組みの反映(BCP等)、社会貢献(IT・デジタル) ・ 社会貢献活動(IT・デジタル) ・ 防災意識向上、災害時の対応収集、福利厚生の一環としての取り組み(IT・デジタル) ・ 防災意識の向上、災害にあった場合の対応についての意見収集、福利厚生の一環として部署を超えた交流を図るため。(IT・デジタル) ・ IT企業として復興の役に立つためにどうすべきかを掴むため。(IT・デジタル) ・ BCP対策の一環として、実際に被災された方々や復旧に尽力されている方々のお話を伺い、対策に活用できる情報を収集することを目的として参加いたしました。(IT・デジタル)
② 研修・スキルアップ・リーダー育成	
③ ワークーション・福利厚生・リフレッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福利厚生、社会貢献活動、BCPの課題発見、新規事業開拓(IT・デジタル) ・ 企業版ふるさと納税の紹介/福利厚生/ワークーション(IT・デジタル)
④ 新規事業開拓・事業検証／企業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークーションの進化を具体的に確認したかった(旅行業)
⑤ 紹介・誘い・個人動機	
⑥ その他	

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 石川県七尾市・輪島市(2/2)

- 震災の被災状況と復興の現状をリアルに知ることができた点が評価されている。
- 一方で、学びたい内容とプログラム内容とのギャップ、時間不足などが課題として挙げられている。

石川県七尾市・輪島市 - 評価

『良かったこと・期待以上だったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域(七尾市)に密着したプログラム内容で、地元の風土・文化・復興への取り組み・課題等、幅広い内容で現地を視察することができた。報道では見ることができない、現在の震災復興を予想以上に見て感じる事ができた。(IT・デジタル) ● 被害が大きく大々的に報道された珠洲市や輪島市に支援や人が集まってしまう被害が大きいのにあまり報道されなかったという言葉がとても印象的だった。支援者や七尾市に住んでいる方の貴重なお話しを実際に聞けてとても貴重な体験ができました。(IT・デジタル) ● 実際に街中を散策したことで、災害状況と復興状況を肌で感じる事ができた。現地の方から生の意見を伺うことができ、報道とのギャップ等を感じる事ができた。(IT・デジタル) ● ボランティア団体の方のお話を聞けたことや、実際に被害があった場所を視察できたことで、災害について、当事者意識が芽生えたこと。(IT・デジタル) ● 実際にボランティア活動をしている方のお話を聞けたのは貴重な経験だった。ボランティアの方と市役所の方で視点が違うのも考えさせられた。(IT・デジタル) ● 現地での情報収集がメイン目的でしたが、様々な方からお話を伺うことができよかったです。災害発生に伴いボランティアで移住するいわゆる「現地外の人」として、自治体や地元住民との関係構築まで苦勞されている様子を伺いました。現状の課題として、支援を求める方々と支援をしたい方々のマッチングが出来る仕組みの整備が必要とのことでした。七尾市役所の職員の皆様との意見交換会では、インフラの復旧状況や住民への情報伝達状況などをお伺いしました。意見交換会に限らず他の方のコメントでも道路や通信は比較的早く復旧できたが、特に水道の復旧が遅かったという声が多かったため、弊社でも緊急時の水源確保の対策は必要だと感じました。また、高齢化の影響でアナログでの連絡手段が多かったとのことですが、関東でも万が一南海トラフ地震等が起こった際にはデジタルでの連絡が出来ないことも想定されるので参考になりました。また、宿泊先の「のと楽」さんでは、スタッフさんのあたたかいおもてなしや美味しい能登の食材を堪能し、ワーケーションとして和倉温泉の魅力を感じる事ができました。(IT・デジタル) ● 実際にボランティアとして携わっている方からお話を聞けた。食事の際は仲居さんも飾ることなく復興の過程などを教えて下さった。(IT・デジタル) ● 異業種との交流ディスカッション多めのプログラムメンター陣のフォロー体制(人材)
『改善が必要だと感じたこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業として知って学びたいこと(企業BCPや、社員の学び)と意見交換する対象に多少のギャップがあった(ボランティアセンター、市の職員の皆さんは避難所や民間の復興に関する部分がメインテーマであったことから、企業としての取り組みについては、あまり意見交換できなかった)(IT・デジタル) ● 色々な方の意見が聞けてよかったです。DMCの担当者が変わるタイミングが分からなかったため、各人にもう少しお話が聞ければ良かったと感じました。(IT・デジタル) ● ボランティア団体の方との質疑応答の時間がもう少し欲しかったです。(IT・デジタル) ● 住んでいる方とも交流出来たらよかったです。(IT・デジタル) ● 和倉温泉付近での現地視察の自由時間はもう少し長く確保できてよかったかもしれないと思いました。(IT・デジタル) ● 旅行業の方からの旅程の案内に不足を感じた(案内不在での集合後の動きなど)(IT・デジタル) ● 宿泊について、お手洗いは安全上も必要だと思います(旅行業)

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 長野県千曲市ほか

- 千曲市のプログラムへの参加目的は研修や紹介となっている。

長野県千曲市ほか - 参加目的

① 社会貢献・地域連携・防災・復興関連	
② 研修・スキルアップ・リーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の事業としての見直しや新たに視野を広げるために自分ができることを模索するためです。(個人事業主)
③ ワークーション・福利厚生・リフレッシュ	
④ 新規事業開拓・事業検証／企業戦略	
⑤ 紹介・誘い・個人動機	<ul style="list-style-type: none"> ・ CEOからの紹介による研修(IT・デジタル)
⑥ その他	

長野県千曲市ほか - 評価

『良かったこと・期待以上だったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の予想の超える方々からフィードバックをいただき、さらに視野や考え方を広げることができたからです。これまで「事業者として写真があることでどう思っているのか」という点を相手から聞いたことがなく、それを田村さんからいただけたことが何よりも嬉しかったですし、良かったです。(個人事業主) ・ ワークーション活動を通して自分が本当に好きな事に関する自己開示できたこと。(IT・デジタル)
『改善が必要だと感じたこと』	

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 三重県大台町(1/2)

- 大台町のプログラム参加目的は、「誘いがあったから」といった声が目立っている。
- それ以外では、社会貢献活動とラーケーション活動への参加といった目的となっている。

三重県大台町 - 参加目的

① 社会貢献・地域連携・防災・復興関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会貢献活動(製造業) ● 社会貢献活動(製造業) ● 社会貢献とラーケーション(製造業) ● 同僚からの勧め 社会貢献活動 普段絶対にできない体験(製造業)
② 研修・スキルアップ・リーダー育成	
③ ワークーション・福利厚生・リフレッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ● 福利厚生(製造業) ● 休暇のリフレッシュ(製造業)
④ 新規事業開拓・事業検証／企業戦略	
⑤ 紹介・誘い・個人動機	<ul style="list-style-type: none"> ● 同僚からの誘いがあったため(製造業) ● 同僚からの誘いを受けて(製造業) ● 同僚が興味を持ってくれたため。(製造業) ● グループメンバーの誘い(製造業) ● 社内宣伝(製造業) ● 面白そうだと感じた(製造業) ● 家族や仕事仲間との交流、学び(製造業)
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ● ラーケーションという文化を、世の中にひろめて、学びが家族や休みにもできることを広めていくため(製造業) ● ラーケーション活動/地域交流(製造業) ● ラーケーションへの参加のため(製造業)

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 三重県大台町(2/2)

- 遊びの中に学びがあったとの評価が上がっている。
- 課題・改善ポイントとしては、事前の案内(説明内容やタイミング)などが指摘されている。

三重県大台町 - 評価

『良かったこと・期待以上だったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊びの中に学びが多く、それを現地で学べることで自身の理解が深まっていることを実感できたことが期待以上だった(製造業) ● 現地ボランティアで実情を知りつつ、職場のメンバーとのチームワークを高めることができました!(製造業) ● 全てが期待以上でした! 体験からボランティア活動まで、純粋に楽しめました。(製造業) ● アクティビティと結果への演出が素晴らしかった(製造業) ● カヌー体験により、ダム of 課題と自然の変化を知ることができ、勉強になった。(製造業) ● 土地に詳しい方から説明を頂き、実際に自分の体を動かして経験することができた点(製造業) ● 水源を維持するために、道も維持する必要があることがわかり、維持する範囲が広いことと、その大変さを学びました。(製造業) ● アロマ精油体験、鹿の解体実演、解体したジビエの調理、五右衛門風呂焚き(製造業) ● 地域の取り巻く環境について学べたこと。(製造業) ● 五感を使いながら、美味しいこと考えること、匂いとか寒かさなど味わえた(製造業) ● 参加者の出身地域により文化の違いを感じられた。石臼で豆をひくきなこと、商品として打っているきなこの美味しさの差が段違いで、昔の技術を無くしてはいけなと感じた。(製造業) ● 冬でもカヌーを楽しめたこと。楽しみながらラーニングできたこと。(製造業) ● 美味しいお魚とそれに関連した学習内容(製造業) ● 地域柄を感じつつ、地域の方とも体験をさせていただくことで、地域への愛着が湧きました。(製造業) ● 地元の方の味を感じられる、地域食を一緒につくらせていただいたことで、とても美味しく、楽しい時間を過ごしました。(製造業) ● コンテンツの大切な質の部分を数多く体験できるようにするため、事前の準備や当日の運営を丁寧に行なっていただいた(製造業) ● 体験には全て自然学校の方によるサポートがありスムーズな体験ができた(製造業)
『改善が必要だと感じたこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕方がないが道が分かりにくかった(製造業) ● 全体の工程説明があるとより良いかな?と思いました!(製造業) ● 特になし。もっと沢山人に知ってもらいたいと思った。(製造業) ● どうやって人を集めていくかは、継続的にやるうえで、考えいかなしいけなと思いました(製造業) ● 案内書の連絡(メール)が直前に来たので、もう少し早めにしていただけるとありがたいです。初めて行く人がなかなかハードルが高い気がする。行くとどんないいことがあるのか、普通の観光と何が違うのかなどをわかりやすく伝えた方がいいかもしれません。(製造業)

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 島根県海士町

- 海士町のプログラム参加目的は「代理診療」となっている。
- 業務としての滞在がメインになったため、プライベートで楽しむ時間がないことが改善ポイントとして挙げられている。

島根県海士町 - 参加目的

① 社会貢献・地域連携・防災・復興関連	
② 研修・スキルアップ・リーダー育成	
③ ワークーション・福利厚生・リフレッシュ	
④ 新規事業開拓・事業検証／企業戦略	
⑤ 紹介・誘い・個人動機	
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代診として参加(医療) ・ 代理診療、地域貢献(医療) ・ 代診、知り合いの紹介(医療)

島根県海士町 - 評価

『良かったこと・期待以上だったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし(これまでも来島しており、島のことをわかっているため)(医療) ・ 初めての参加であったが、業務としての流れは理解できた。(医療) ・ 今後も機会が合えば、参加したい。(医療)
『改善が必要だと感じたこと』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間の余裕ができたら、ワークーションについても検討していきたい。(医療) ・ ワークーションの時間の確保が必要。業務の拘束時間が多すぎる。(医療)

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 香川県琴平町(1/3)

- 琴平町の参加目的は「新規事業創出」が目立っている。

香川県琴平町 - 参加目的

① 社会貢献・地域連携・防災・復興関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会課題解決、価値創出(無回答)
② 研修・スキルアップ・リーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームビルディング(無回答) ・ 地域創生モデルの視察(インフラ)
③ ワークেশョン・福利厚生・リフレッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福利厚生(インフラ)
④ 新規事業開拓・事業検証／企業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンとして「旅する人を増やしたい」と考えている。琴平を旅する人が増えたら、ビジョン体現に向かっていると定義できる。・地域を旅することで受け取れるインセンティブを用意することで、コミュニティの価値向上につながる。(旅行業) ・ ビジョンとして「旅する人を増やしたい」と考えています。そのため、琴平を旅する人が増えたら、ビジョン体現に向かっていると定義できます。地域を旅することで受け取れるインセンティブを用意することで、コミュニティの価値向上につながると考えたことから、本プログラムに参加を決めました。(旅行業) ・ ビジョンとして「旅する人を増やしたい」と考えている。琴平を旅する人が増えたら、ビジョン体現に向かっていると定義できる。・地域を旅することで受け取れるインセンティブを用意することで、コミュニティの価値向上につながる。(旅行業) ・ 新規事業開拓として参加させていただきました。仮説立てしていたテーマをコンテンツを通してフィールド実験するため(コンテンツ) ・ 新規事業創出検討のため(無回答) ・ 地域と連携した事業創出の検討(無回答) ・ 新規事業開発と地域共創の検討をテーマに様々な体験や地域事業者との関係構築のきっかけづくりを行った(無回答) ・ 地域創生にデータ活用できないかの検討のため(無回答)
⑤ 紹介・誘い・個人動機	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流(無回答)
⑥ その他	

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 香川県琴平町(2/3)

- 旅行業に携わる企業は事業として、今後の来訪者増加につながる仕組みづくりができた、と評価している。
- 琴平学を学ぶことで地域への理解や愛着が強くなったとの声もあった。

香川県琴平町 - 評価

『良かったこと・期待以上だったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● 良かったこと:地域の人との関わりができた。期待以上だったこと:各クライアントに自然と受け入れられた(旅行業) ● コミュニティ価値向上には繋がったと思っていて、エコシステムがくれたと感じた。(旅行業) ● 琴平の地方創生会社が架け橋になっていただいたため、地域の方々と密にコミュニケーションをとることができ、特典の仕組み作りがスムーズにいった面もありました。内容として、コミュニティメンバーが多いことから今後多くの来訪者が見込める仕組みを作れたのではないかと。来訪回数は月に1回程度であったため、負担もなく企画に参加できた。自分自身が琴平に通う回数が増えたことで、周囲で琴平町に興味を持ってくれる人が増えて何人か知り合いを呼び込み、繋がりの輪を広げることができた。また、地域の方々との関係構築もうまくいったため、企画期間中居心地良く過ごすことができ、さらに新しい人を紹介してもらって企画に引き込めるという循環サイクルができた。(旅行業) ● 琴平学、朝参拝、金丸座見学など、地域の歴史に触れながら体験でき深い理解、感動につながった。(無回答) ● 企画全般を通じて、地域活性化に真剣に取り組んでいる方々が非常に多いことが印象に残りました。行政関係者や地域事業者の方々が、それぞれの立場から琴平の将来を考え、主体的に行動されている姿に触れ、期待以上に地域の熱量や一体感を感じることができました。こうした人の存在こそが琴平町の大きな地域資源であり、企業として地域共創や新規事業を検討する上でも大きな価値があると感じました。(無回答) ● 琴平学を受講してから、町のいたるところまで歴史を感じるようになり、こんぴらさんの石段や参道にも意味があるということを知ることができた。(インフラ) ● 全てにおいて期待以上に良かった(インフラ) ● プログラムを詰め込みすぎず、自由時間も多く余裕を持ったスケジュールで楽しむことができた(無回答) ● 琴平合宿には体調不良により、やむを得ず参加することができなかつたのですが、学生支部内での沢山の発信を通じて、琴平でのプログラムの魅力が十分に伝わってきました。参加したメンバーが特典を積極的に活用し、その様子を発信していたことで、現地に行けなかった人にとっても、琴平がどのような場所で、すごく楽しそうな雰囲気だったのかがとても伝わってきました。また、実際に参加したメンバーから、また琴平に行きたいという声が多く聞かれ、企画全体が期待以上に参加者の満足度や再訪意欲を高める内容だったと感じました。(旅行業) ● 現地のコーディネートをしていただいた企業様が丁寧にアサイン調整などご協力いただけたため。(コンテンツ) ● 地域の事業者の方や、その取り組みがとても素晴らしくて期待以上でした。(無回答) ● 前からある文化を守りながら、現代のトレンドなどに合わせて柔軟にまちづくりをされている点。琴平を含む日本の長きにわたる歴史や、それを継承するための地域創生の取り組みを学べたことが、歴史を学び活かすことの重要性に気付けた。(無回答) ● 琴平学は本当に興味深い内容でした。できれば動画で配信していただき、また次回、復習してから行きたいです！(無回答) ● 地元の街ぐるみで活性化できること(無回答)
--------------------	--

プログラムに参加した動機・目的・評価 - 香川県琴平町(3/3)

- 旅行業に携わる企業では、事業創出についての課題やアイデアについての意見の他は、日帰り温泉や自由時間についての要望が挙がっている。

香川県琴平町 - 評価

『改善が必要だと感じたこと』	<ul style="list-style-type: none"> ● 渡航頻度の間隔が1ヶ月以上開くことがあったため、長くても間が1ヶ月以内に収まるようにプログラムを組んでいただけると事業者さんとも円滑なコミュニケーションが取りやすいと感じた。(旅行業) ● まだまだエコシステムというには、特典の数や種類が不十分だと感じるので、増加していきたいと感じた。(旅行業) ● 改善が必要だと感じたこと:特典を使用するとなった際にそれに付随するアクションとフォームの申請をセットで仕組み化したことで、コミュニティメンバーの中では「どこから申請するのかわからない」「めんどくさい」といった声も上がったため、ある程度の簡略化やわかりやすい仕組みの体制を整えなければいけない。琴平町にはまだまだおもしろい人がいらっしやるので、多くの人を巻き込みたい。(旅行業) ● 事業者の方々からいただいた、より深く琴平と関わる企画案を、今後活かしたいと感じました。例えば、建物の空いているエリアをお借りして、学生による物販や展示、イベントを行うなど、地域の方や観光客と継続的に関われる仕組みがあると、関係性がより深まると思います。また、短期的な滞在にとどまらず、長期的に関わることができる企画として発展させていくことで、参加者にとっても琴平への愛着や再訪意欲がさらに高まるのではないかと感じました。(旅行業) ● 現地コーディネートいただいた団体さまが、現地とのよい関係構築のための機会をいただけて、大きな改善要望はありません。同プログラムに参加されている他の団体さんの取り組みについても、知ってみたい。(コンテンツ) ● 内容が濃すぎて時間が足りないと感じました。訪問客に事前にINPUTしておく方法があればいいなと思いました。(無回答) ● 日帰り温泉の入浴施設があればさらに良いと思います(無回答) ● 自由時間のプランについて、観光、体験、グルメそれぞれについて選択肢の提案があるとさらに良いと感じた。(無回答) ● タイムスケジュールにもう少し余裕があっても良いかと感じた(インフラ)
----------------	---

地域に愛着を感じた理由(1/6)

- プライベートで地域愛着を持ったり、応援したい気持ちにつながった要因は、下記の4つのパターンに整理することができる。
 - ①現地の人との交流によって生まれた“応援したい気持ち”の高まり
 - ②地域文化・歴史・産業を知ることによって深まる理解と愛着
 - ③リアルな課題に触れたことで生まれた当事者意識
 - ④異なる季節や体験内容を目当てに訪れたいというニーズ

Q. 参加した個人の意見として、感想をお聞かせください。
プログラムに参加したことによって、プライベートでこの地域に愛着を持ったり、応援したいという気持ちを持ちましたか？
また、こういった要因でそのように感じましたか？

①現地の人との交流によって生まれた“応援したい気持ち”の高まり

- ・ 応援したい気持ちは強く持つようになった。実際に見聞きし体験をしたこと、さらに言うと、直接会って話をした人の顔がはっきりと浮かぶようになったこと。(浦幌町)
- ・ 地場の方々との交流を通じて、愛着を持つに至りました。(浦幌町)
- ・ 若者の流入率が高い事に非常に可能性を感じ、自分も携わりたい気持ちになりました(浦幌町)
- ・ 言葉だけではなく、その土地に住む人と直接交流を持つことで、課題や取り組みの肌感覚が生まれ愛着が高まったと感じる。(浦幌町)
- ・ 3日間という短い時間でしたが、ご対応いただいた皆様が、それぞれ本気で取り組んでいる姿を目の当たりにし、うらほろ町への愛着や応援したい気持ちを持ちました。(浦幌町)
- ・ 地域で挑戦しているの方々との対話を通じて愛着を持ち応援したいという気持ちになった。(浦幌町)
- ・ 様々な人に触れる事でこれまで知りえなかった土地の特性や産業者の声に触れ、土地そのものではなく人に還元されるのであれば積極的に機会として参加したいと感じました(浦幌町)
- ・ 1次産業に従事される皆さんの日常を学びの場とさせていただく機会を通じ、皆さんの地域への愛情と、感情的なつながりの深さ、豊かな精神性を育む場として、これからも続いてほしいと感じました。終了後、ふるさと納税をしました。(浦幌町)
- ・ 地域活動をしている方の人柄を知った後に現地視察とその背景にある思いを知ったことで、友人のもとを訪ねたいような気持ちになった。(南魚沼市ほか)
- ・ もともと地元であり愛着はあるが、地域で前向きに取り組む方々の話を聞き、現場を見て、さらに愛着が深まり自慢に思えた。(南魚沼市ほか)
- ・ 感じた。地域のために熱量をもって働いている姿に感銘を受けた。(南魚沼市ほか)
- ・ その地域を愛するの方々との交流を通じて応援したいという気持ちになりました(南魚沼市ほか)

地域に愛着を感じた理由(2/6)

Q. 参加した個人の意見として、感想をお聞かせください。
プログラムに参加したことによって、プライベートでこの地域に愛着を持ったり、応援したいという気持ちを持ちましたか？
また、こういった要因でそのように感じましたか？

①現地の人との交流によって生まれた“応援したい気持ち”の高まり

- 以前より応援したいという気持ちは持っていたが現地の人に触れ改めて思いが強くなった(七尾市・輪島市)
- 地元愛に溢れた素敵な方たちばかりでとても素敵だと感じました。豊富な知識と七尾市の現状を知ってほしいという気持ちが伝わり良い街であることを知れました。(七尾市・輪島市)
- 現地の方との交流や、復興状況等を実際に目にしたことで、応援したいという気持ちが強くなりました。(七尾市・輪島市)
- 千曲市にはプライベートでも訪れるようになりました。私が本来理想としていたゲマインシャフト的な人間関係を構築できて大変愛着を抱いております。(千曲市ほか)
- 土地の方々と会話ができて楽しかったです。(大台町)
- 思いを持った人が集まり、変えようと活動されていることに、応援したいという気持ちを持った。(大台町)
- すっかり琴平の関係人口になり、プライベートでも訪れるようになった。また、現在は琴平町での就職も視野に入れている。琴平の事業者さん方が互いを競争相手ではなく、一緒に琴平をより良くする仲間と思って協働されている姿が印象的だった。お金では買えない人との繋がりやぬくもりを感じ、これからの人生でもこの町の人に関わり続けたいと感じている。(琴平町)
- 気持ちとしては持った。要因は、地域の方の顔がわかる関係性になれたからで、何度も人に会いに行くために、再訪したいという気持ちになったから。(琴平町)
- 自分たちが地域にgiveをする気持ちで訪れたが、琴平で暮らす人の温かさや今まで自分が会うことがなかった生き方をしている方々の話など、こちら側も受け取るものが多かったように感じました。そのため、何か新しい取り組みやイベントを開催している情報を見つけたら参加をしたいと自分ごとのように捉えるようになり、琴平の魅力を知ってもらいたいと何人か知り合いと繋げたこともあります。(琴平町)
- 琴平に訪れる前は、もう一度来たいと強く思う地域は特にありませんでした。しかし、今回プログラムに参加し、琴平の方々と関わる中で、琴平はわたしの第二の故郷になっていきました。琴平の方たちは、初めて訪れた私たちに対しても非常にフレンドリーで、道端でも気軽に声をかけてくださるなど、自然に受け入れてくださりました。そうした温かい交流を重ねる中で、またこの人たちに会いに行きたいと思うようになり、単なる訪問先ではなく、個人的に大切にしたい場所へ変化しました。(琴平町)
- 皆さんのお話や取り組みが面白く、さまざまな体験をご準備頂いたことで、すっかり琴平の魅力せられてしまいました。琴平の皆さんほんとにありがとうございました。勢戸さん企画、お声がけありがとうございました。帰宅後、琴平ロスから、すぐにうどん打ちの続きしてしまいました笑(琴平町)

地域に愛着を感じた理由(3/6)

Q. 参加した個人の意見として、感想をお聞かせください。
プログラムに参加したことによって、プライベートでこの地域に愛着を持ったり、応援したいという気持ちを持ちましたか？
また、こういった要因でそのように感じましたか？

②地域文化・歴史・産業を知ることによって深まる理解と愛着

- 長い時間の滞在と、飲食店のおいしさ、景色の美しさ(洞爺湖町)
- 洞爺湖町がとても好きだったのでより親しみを感じた。(洞爺湖町)
- 持ちました。洞爺湖町の食も体験でき、美味しかったです。景色が綺麗でした。(洞爺湖町)
- 実際に現地を訪れることで愛着や応援したい気持ちは持てたと思います(あまり具体的な応援はできていませんが)。私自身は、今回のプログラムがなければ帯広地域を訪問する機会はなかったように思います。(浦幌町)
- 衰退しているばかりと思っていた地方が、地元だけでなく県外出身者により保存、進化しようとしている事を知り応援したくなった(南魚沼市ほか)
- 微妙にこの地域を知ることとなり、より知りたいとの欲求が起こり、愛着が芽生え、応援したいという気持ちになった。(南魚沼市ほか)
- 今回機会をいただくことで、より七尾市のことを深く知ることができました。素晴らしいお祭り文化や、復興に向けた取り組みなど、具体的な内容を知ることができて、今後も応援したいと感じました。(七尾市・輪島市)
- 地元の方のあたたかさや七尾市の強みであるお祭り文化や水産物の魅力を知ることが出来たので、プライベートも含め何かしらの形で再び訪問したいと思いました。(七尾市・輪島市)
- 普段は都会にいますので、あまり自然に囲まれた環境にいたことがなく、とても新鮮な思いが持てたこと、さらに地域ならではの素晴らしい資源にふれられたことで、千曲市や立科町など愛着があります。なんで、自分ができることは写真や映像ですが、自分の力で応援できることがあれば応援したいです。(千曲市ほか)

地域に愛着を感じた理由(4/6)

Q. 参加した個人の意見として、感想をお聞かせください。
プログラムに参加したことによって、プライベートでこの地域に愛着を持ったり、応援したいという気持ちを持ちましたか？
また、こういった要因でそのように感じましたか？

②地域文化・歴史・産業を知ることで深まる理解と愛着

- 何度か通ったことで、自分にとって訪れる選択肢になりました(大台町)
- 非常に魅力を感じた、つたわった(大台町)
- 発眼卵で地元と繋がりが分かることが分かり、より身近に感じ応援したいと思った。(大台町)
- トチの実など、この地域の文化を知れて、地域の方と交流を出来てとても良かった。応援したいと感じた。(大台町)
- 勉強になったのと自然豊かなエリアのため愛着が湧きました(大台町)

- 地域の歴史や文化、人の想いに触れられて、琴平の魅力をもっと知りたくなりました。(琴平町)
- 楽しい時間をありがとうございました。琴平の素晴らしい歴史や文化、取組みを体感出来ましたこれからも琴平の小さな観光大使として、周りに発信していきます。周れなかったところもありますし、リピートもしたいので、また行きます！(琴平町)
- ただ旅行に行くだけでなく歴史や背景、物語を知ることが人生をより深く楽しめることに気づけた。(琴平町)
- 滞在中の体験はどれも印象深いものでしたが、特に**金刀比羅宮**の早朝参拝が強く印象に残っています。観光客の少ない時間帯に参拝することで、信仰が地域の暮らしや歴史と深く結びついてきたことを静かに体感でき、琴平という地域が持つ精神文化や価値の源泉に触れる機会となりました。単なる観光資源としてではなく、地域住民の生活や営みの中に根付いた文化である点が、琴平町の大きな魅力だと感じました。(琴平町)

地域に愛着を感じた理由(5/6)

Q. 参加した個人の意見として、感想をお聞かせください。
プログラムに参加したことによって、プライベートでこの地域に愛着を持ったり、応援したいという気持ちを持ちましたか？
また、どういった要因でそのように感じましたか？

③リアルな課題に触れたことで生まれた当事者意識

- 応援したいというより、何かしら貢献ができる関わりができたと思います。リアルに触れることによる愛着はもちろん、そのリアルな課題に触れたがゆえに当事者意識を持ったことが大きかった。(浦幌町)
- 応援したいという気持ちを持ちました。復興するために様々な活動をしているというお話を聞き、グッズ販売等、見かけたら購入したいと思います。(七尾市・輪島市)
- 自分の地元だったこともあり、更に地震の被害について理解を深めることが出来た。首都直下型地震のように今後起こりうることであったため今後の復興にも注視したいと思った。(七尾市・輪島市)
- 自分のできる範囲で能登を意識し、応援し続けていきたい(七尾市・輪島市)
- これまでと同様に依頼があれば、代診を続けていきたい(海士町)
- ここの地域医療についてもっと触れる機会を作っていきたい。(海士町)
- 今後も機会が合えば、参加したい。(海士町)

地域に愛着を感じた理由(6/6)

Q. 参加した個人の意見として、感想をお聞かせください。
プログラムに参加したことによって、プライベートでこの地域に愛着を持ったり、応援したいという気持ちを持ちましたか？
また、どういった要因でそのように感じましたか？

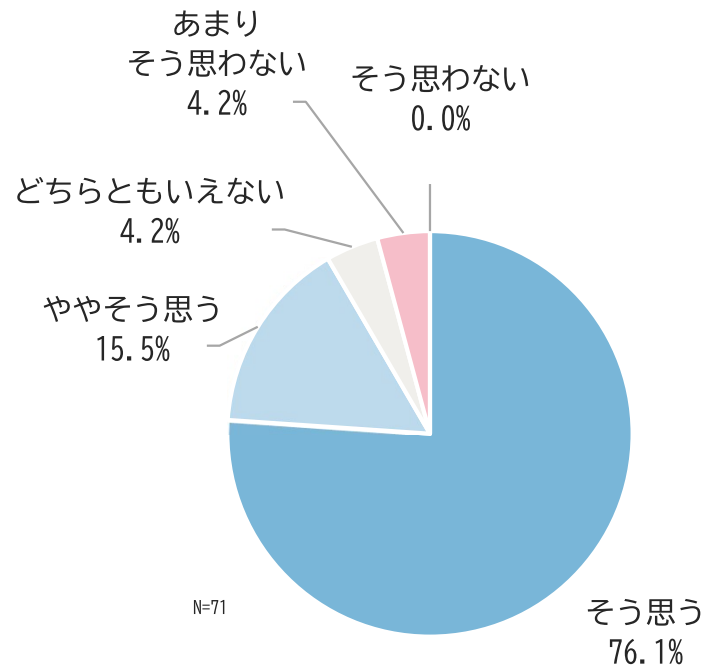
④異なる季節や体験内容を目当てに訪れたいというニーズ

- 今まで新潟県内にいながらあまり触れることのない地域であったため、今回のプログラムを通してまた訪ねてみたいという気持ちになりました。この地域の魅力や歴史的な部分を知ることができたからだと思います。(南魚沼市ほか)
- 再びプライベートで行く予定2027年頃(七尾市・輪島市)
- 応援したい気持ちを持ちました。また来週きます。(大台町)
- 2週連続で伺いましたが、また来たいと感じていますし、違う季節にも伺いたいです。(大台町)
- 冬に参加したが、同じ場所でも季節によって感じるものが違うと思ったので、夏にも来てみたいと思っているそれがすでに愛着になっていると思います。単純にもっといろんなことを知りたいと思ったのが起因です。(大台町)
- 自分の仕事仲間や知り合いにも大台町の良さを体感してもらいたいと強く思えた(大台町)
- 琴平に訪問させていただきました。過去に訪問したことがあり、ぜひまた来たかったが、プライベートだと家族との調整が難しく、訪問の実現が難しかった。仕事として訪問できることで行くきっかけが生まれた。また、今回の訪問で、更に関係が深くなり、プライベートでも地域でやっているクラファンなどに参加した。(琴平町)

プライベートでの再訪意向

- プライベートでの地域への再訪意向は9割を超えており、多くの参加者が個人的にも再訪したいと回答している。

Q. 仕事や業務とは別に、“個人的に”この地域へ継続的に訪れたいと思うようになりましたか？



	n	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない
合計	71	54	11	3	3	
北海道洞爺湖町	4	3		1		
北海道浦幌町	11	8	2		1	
新潟県南魚沼市ほか	12	7	3	1	1	
石川県七尾市・輪島市	9	7	1		1	
長野県千曲市ほか	2	2				
三重県大台町	16	10	5	1		
島根県海士町	3	3				
香川県琴平町	14	14				

プライベートでの再訪意向理由(1/5)

- プライベートでの再訪意向につながった要因は、下記の5つのパターンに整理することができる。
 - ①地域に貢献したい、関わり続けたい
 - ②自分や家族の成長等につながる
 - ③人とのつながり・コミュニティ・貢献(復興・地域医療・ボランティア含む)
 - ④文化・祭り・歴史への関心
 - ⑤自然・景観・温泉・食・特産・グルメ体験

Q. 前問で回答された理由や、どのようなことを目的に再来訪したいと思ったのか、具体的にお聞かせください。(自由記述)

①地域に貢献したい、関わり続けたい

■貢献したい

- ・ 地域振興に貢献する目的(浦幌町)
- ・ 自身の取り組みを通じて貢献できそうなことを繋げたい。(浦幌町)
- ・ 琴平という素晴らしい町にまた訪れたい、自分の力を活かしてその素晴らしい町に貢献したいという思いが湧いたため(琴平町)
- ・ 微力ながら貢献したいと思った。ワーケーションという仕組みも初めての体験で、大台町という町や地域の皆さんに触れる、知ることができて本当によい経験でした。(大台町)
- ・ これまでと同様に依頼があれば、代診を続けていきたい(海士町)
- ・ ここの地域医療についてもっと触れる機会を作っていきたい。将来、医療従事者になる人たちとの学びの創出を検討。(海士町)
- ・ お仕事とプライベートを絡めて訪問をしたいと思います。継続したお仕事としての関係性も生まれそうなので、お仕事をきっかけに訪問をして、プライベートも絡めていきたいと思います。(琴平町)

■地域の変化を見届けたい

- ・ 進捗が知りたかったり、家族や友人にも状況を知ってもらいたいと感じるため。(浦幌町)
- ・ 地域のその後の姿を数年の時間軸を経過したうえで見ていきたいと感じた(浦幌町)
- ・ 特にフィールドワークで視察した場所が、今後どのように発展していくのか気になるため。(南魚沼市ほか)

プライベートでの再訪意向理由(2/5)

Q. 前問で回答された理由や、どのようなことを目的に再来訪したいと思ったのか、具体的にお聞かせください。(自由記述)

②自分や家族の成長等につながる

■自分を見直すきっかけにしたい

- 今の自分にとっての非日常であり、当地に滞在することが、勤労観や価値観を定期的に再考する機会になると考えます。(浦幌町)
- やっぱり、普段都会にいたので自然にふれることがないので、継続的に訪問できたらなと思っています。目的は、自分を見つめ直す時間として自然に触れながら、とことん自分を追求したいためです。(千曲市ほか)

■移住の準備をしたい

- 今回琴平町のプログラムに参加して、元々5年ほど関係構築をしていた影響もありましたが、地域の方々が快く受け入れてくださり人の温かみを感じる瞬間が数多くありました。琴平町には魅力的なお店があるのももちろんですが、「琴平町で働いて暮らす人」に会うことを目的にぜひまた再来訪したいと考えています。また、移住も検討しているため長期滞在をして町のリアルな暮らしも知りたいと考えております。(琴平町)

■貴重な体験ができるから

- 鹿の解体やアロマ、ボランティアなど日常の生活では体験できない体験をすることができるため(大台町)
- 毎回新しい体験をさせていただいており、楽しく感じているからです。(大台町)

■家族や知り合いにも体験させたい

- 子どもに体験させたい(浦幌町)
- 思考の整理や頭のリフレッシュ、子どもの教育(浦幌町)
- 家族にもこの地域を紹介してぜひ農体験をしてほしいという点と友達にも紹介することで非日常体験によるデトックス的な効果をもたらしてあげたいと考えたからです。(南魚沼市ほか)
- 会社や観光関係者を連れて意見交換をしたい(琴平町)
- もう一度純粹に観光、アクティビティを楽しみたい気持ち、知人や家族に琴平の魅力を知ってほしい気持ち、また、地元の方、事業者さんに会いに行きたい気持ちからです。(琴平町)

プライベートでの再訪意向理由(3/5)

Q. 前問で回答された理由や、どのようなことを目的に再来訪したいと思ったのか、具体的にお聞かせください。(自由記述)

③人とのつながり・コミュニティ・貢献(復興・地域医療・ボランティア含む)

- 研修で受けた刺激の呼び覚まし、人との交流(浦幌町)
- 知り合いの家に遊びに行くような気持ち(南魚沼市ほか)
- 頑張る姿を見て、応援したい気持ち、一緒に頑張りたい気持ちになったから。(南魚沼市ほか)
- 進化の様子を確認したい為(南魚沼市ほか)
- 少し詳しく知ることができたこととこの地域に知り合いができたので、観光、ワーケーション、知り合った人に会いに来たいと思った。(南魚沼市ほか)
- 旅行のような一度の訪問では味わえない、濃い人間関係を築けた。よって、プライベートでも訪れた上で、今度は自分が現地の人のように来訪者を迎えるぐらいまで千曲人間になりたい。(千曲市ほか)
- 地域の取り組みに人間的魅力を感じた(大台町)
- 地域の方々とのコミュニケーション、自然との触れ合い(大台町)
- すでにこの町の魅力を友人に伝えるために、私的な時間を利用して琴平を訪問している。場所だけでなく、琴平の人に会うために再訪している。(琴平町)
- 地域の方の顔がわかる関係性になれたからで、何度も人に会いに行くために、再訪したいと思った。(琴平町)

プライベートでの再訪意向理由(4/5)

Q. 前問で回答された理由や、どのようなことを目的に再来訪したいと思ったのか、具体的にお聞かせください。(自由記述)

④文化・祭り・歴史への関心

- 子供が乗り物酔いしてしまうので距離が遠いと継続的には難しい。ただ、お祭りのタイミングで一度ぐらいは連れてきたいと思う。(七尾市・輪島市)
- 素晴らしいお祭り文化があり、GWや夏にかけて大規模なお祭りが開催されることを知り、是非見てみたいと感じた。また、和倉温泉周辺の復興の現状を視察することで、今後、どのように復興が進むか、興味があるので再来訪したい。(七尾市・輪島市)
- お祭り会館でお話を伺い、是非参加してみたいと感じました。また、復興状況等も気になるため、また来訪したいと思いました。(七尾市・輪島市)
- 今回奥能登の方には行くことができなかったため、そちらに行ってみたいと感じたから。また、能登ミルクなどの特産品を食べに行きたいと感じたから。(七尾市・輪島市)

- 何かイベントがあれば訪れたいと思うため(大台町)
- 土着文化の体験(大台町)

- 琴平の歴史をもっと知りたい。(琴平町)
- 今回の滞在を通じて、琴平町には歴史や文化、地域の人々の営みなど、まだ十分に理解しきれていない魅力が数多くあると感じました。より深く地域を知ること、将来的な地域共創や新たな取り組みの可能性についても検討していきたいと考えています。(琴平町)

プライベートでの再訪意向理由(5/5)

Q. 前問で回答された理由や、どのようなことを目的に再来訪したいと思ったのか、具体的にお聞かせください。(自由記述)

⑤自然・景観・温泉・食・特産・グルメ体験

- 洞爺湖町の飲食店が、都会とは違う個人店が多くてとても美味しかった事で山に遊びに行きがてら、食事を楽しみたいと思った。(洞爺湖町)
- 景色が綺麗で、食も美味しいから。プログラム会場であった”トーヤの森”の雰囲気もとてもよかったので季節を変えて再訪したい。(洞爺湖町)
- 旅行やボランティア活動など、さまざまな目的で関わりを続けられたらと思う。(浦幌町)
- 山がキレイでした。(南魚沼市ほか)
- 自然が綺麗で空気が美味しく、マインドをリセットできる環境だと感じた(南魚沼市ほか)
- 地域全体を見る時間はそこまで多くなかったため。(南魚沼市ほか)
- 自然、雪、人、色が深い。後は職か？(南魚沼市ほか)
- 和倉温泉には何回か訪れており思い入れがある(七尾市・輪島市)
- 料理が美味しく行きたいお店に行けなかったため。また、復興支援の一環としてまた七尾市に行きたいと思いました。(七尾市・輪島市)
- 土地の美味しいものを探求したいです。(大台町)
- 違う季節の景色でも見て、体験してみたいためです。(大台町)
- 夏は夏で学べることが多いと感じたため(大台町)
- 美味しいものや土地ならではの文化を感じることができるため。(大台町)
- 自然が多く、学びが多いと感じたため。(大台町)
- 単純にリフレッシュ目的で来訪したいと思いました(大台町)
- 綺麗な景色を見るのが好きなので、リフレッシュや気分転換など。(大台町)
- まだ探索しきれないところがあるので、ぜひ時間とってもう一度来てみたいです。(琴平町)
- 繰り返しになりますが、琴平は本当に見どころが多く、うまく情報を整理して訪問者に渡すことでさらに魅力が高まるのだらうと思います。訪問者の認知向上に少しでも役に立ちたいと思いました。(琴平町)

結果のポイント整理(1/2)

1. プログラム満足度は非常に高い(約8割が期待以上)

- 全体で 約78%が「事前期待以上の成果を得た」と回答。
- 「一部に改善は必要」も含めると、約98%が肯定的評価。
- 体験価値の高さと学びの充実が共通して評価されている。

2. 参加目的は地域ごとに特色が異なるが、研修が多い

- 各地域で参加理由が大きく異なるが、研修目的が多い。
 - 研修・リーダー育成(洞爺湖町・浦幌町・南魚沼市・千曲市)
 - 被災地視察(七尾市・輪島市)
 - ラーケーション(大台町)
 - 新規事業創出(琴平町)
- 研修により学び等が得られたとのポジティブ評価の半面、研修内容と業務との接続性の課題を指摘する声もあった。

3. プライベートでの地域への愛着や再訪意向につながっている

- プライベートでの再訪意向は9割超と非常に高い。
- その理由としては、個人版の第2のふるさとづくりプロジェクトと共通点が多い。
 - ・ 地域に貢献したい／変化を見届けたい
 - ・ 地域の人に会いに行きたい
 - ・ 自分自身の成長の場として
 - ・ 家族・知人にも体験させたい
 - ・ 自然・食・文化への魅力

結果のポイント整理(2/2)

4. 越境・体験型研修は、関係人口創出につながる

- 多くの地域で、参加者の学習効果(リーダーシップ・視座の拡大等)と地域への愛着形成や再訪意向の高まりが同時に起きている。
- 研修等の形で地域を訪問し、地域の魅力を知ることによって、再訪→関係人口化と繋がる可能性がある。

5. 企業としての継続的な関係構築の事例はまだ少ない

- 一方で、地域と企業の結びつきや関係強化に関しては、琴平町と旅行業の取り組み以外は具体的な事業や関係にまで至っていない。
- プログラム参加者個人としての関係人口化から、さらに地域と企業の関係強化に発展させるための仕掛けの発見などが今後の課題であると思われる。

3 企業版第2のふるさとづくりモデル

② 企業意思決定者アンケート

調査概要

企業版第2のふるさとづくりモデル

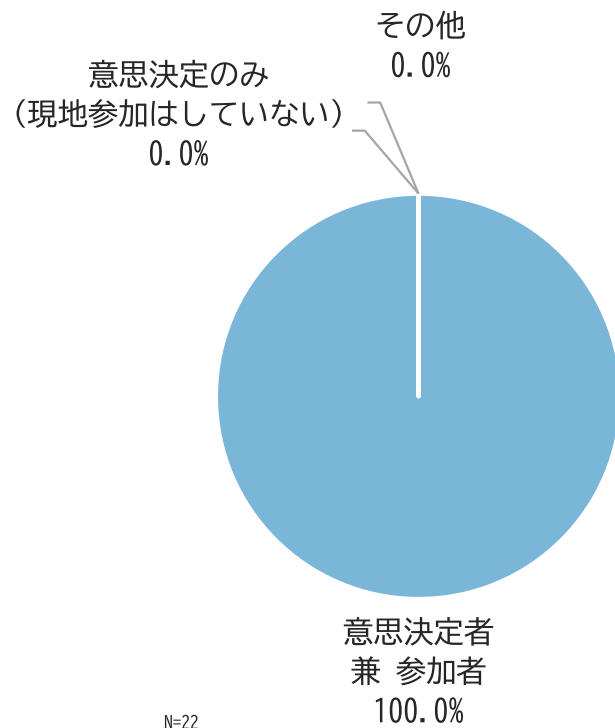
- 件名 : 企業版第2のふるさとづくりモデル 企業参加者／企業意思決定者アンケート
- 調査方法 : インターネット調査
- 実施時期 : 2025年9月22日(月)～2026年1月31日(土)
- 調査対象 : ①現地に来訪し、プログラムに参加した社員等の参加者個人
有効回収数 計71名
- ②企業側の意思決定者(経営者、関係部署の責任者、人事・労務担当など、今回のプログラムへの参加の意思決定や決裁をした人)を対象
有効回収数 計22名

NO.	事業名	対象地域	参加者	意思決定者
1	支笏洞爺国立公園「トーヤの森」を核とした地域と企業の創発促進プログラム造成・実証事業	北海道洞爺湖町	4	4
2	うらほろアカデミア2.0	北海道浦幌町	11	4
3	地域との関係性を育み活かす、自律型・地域イノベーション人材を創出「雪国発越境学習プログラム 帰る旅 ビジネス人材クリエイターズCAMP」	新潟県南魚沼市ほか	12	
4	能登半島地震復興ワーケーション(関係人口から行動人口へ)	石川県七尾市・輪島市	9	2
5	ワーケーションまちづくりラボ	長野県千曲市ほか	2	5
6	「ラーケーションの日」とワーケーション連携による第2のふるさとづくり	三重県大台町	16	1
7	離島医療の魅力化による関係人口拡大PJ	島根県海士町	3	3
8	「観光まちづくり」で企業のミライをコトひらく町・琴平～地域課題に向き合い、共に創る第2のふるさと実証事業～	香川県琴平町	14	3

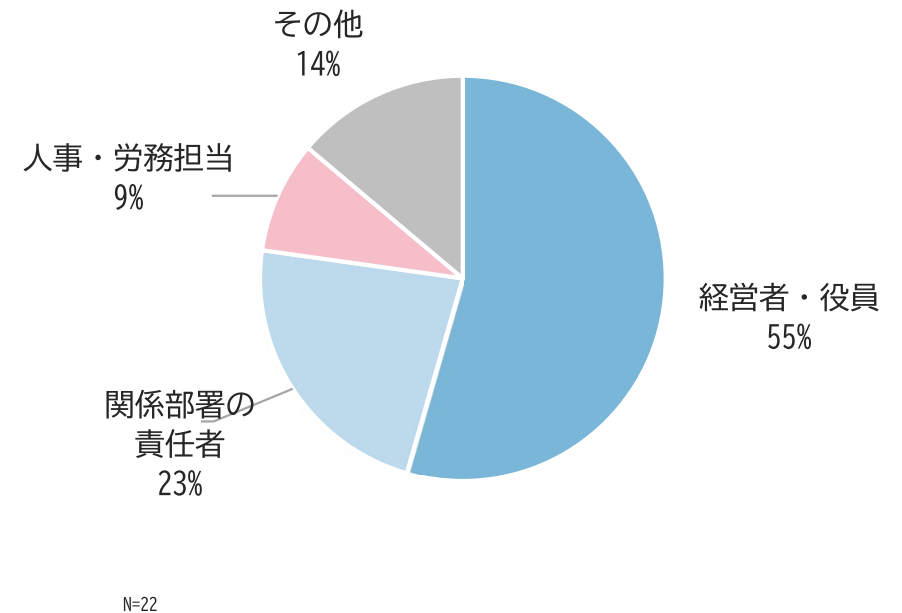
回答者属性(2/2)

- 回答者の全員が「意思決定者 兼 参加者」で、企業版の参加者アンケートの回答者と重複が多い。

Q. 回答者ご自身のプログラム参加状況をお聞かせください。



Q. 回答者ご自身のお立場をお聞かせください。



(その他内訳)

- ・ チーム内の番頭者・社内コミュニティの発起人の一人
- ・ ワークेशन事業担当者
- ・ 研究者

プログラムに参加した動機・目的(1/2)

- 参加した理由は、大きく「ビジネス目的」、「研修・福利厚生目的」、「社会貢献目的」に整理できる。
- 新規事業開拓を目的とした参加もあり、地域と企業の関係深化にポテンシャルがあることも確認できた。

Q. プログラムに参加した動機・目的
御社が本プログラムに従業員を参加させた理由/稟議を通した理由(参加目的や事前に期待したこと)をお聞かせください。

ビジネス

①新規事業開拓

- 新規事業開拓(洞爺湖町/森林管理)
- 当社は広告・コミュニケーション領域を主軸として事業を行っていますが、今後はそれにとどまらず、異なる領域での事業創出や新規事業立ち上げにも取り組む必要性を感じています。本プログラムは、地域というリアルなフィールドを舞台に、構想から実装までを見据えた事業づくりに向き合える点に魅力を感じ、参加を決定しました。広告的な発想やアウトプットにこだわらない形で事業を構想する経験を通じて、新たな事業領域への展開につながる視点やスキルの獲得を期待しました。(千曲市/コンサルティング)
- 新規事業開拓として、地域の事業者の方たちの生の声を聴いてみたかった。(琴平町/コンテンツ)
- 新規事業におけるアクセラレーションプログラム参加者のピッチを通じて、地域課題や地域創出に関する事業者との連携を図ることを目的として参加しました。(琴平町/インフラ)

②ネットワーク構築

- 地域課題の理解と地域関係者との関係性構築のため(千曲市/コンサルティング)

③営業活動の一環

- そもそもは営業や情報収集目的も兼ねていたが、プログラム自体の内容に深い関心を抱いた。(千曲市/コンサルティング)
- ビジョンとして「旅する人を増やしたい」と考えている。琴平を旅する人が増えたら、ビジョン体現に向かっていくと定義できる。地域を旅することで受け取れるインセンティブを用意することで、コミュニティの価値向上につながる。このようなプログラムで成果をだせたら、他地域でも導入に関する営業ができる。(琴平町/旅行業)

プログラムに参加した動機・目的(2/2)

②研修・福利厚生

④福利厚生・働き方改革

- 素材や空間利用、ワーケーション(洞爺湖町/個人サービス)
- 従業員の働き方改革として、休み方が充実することが働き方に影響を及ぼすのではないか？の仮説に基づき、ラーケーションとして学ぶことができる観光というものを設定しました。そのラーケーションの効果観測のため、こちらのプログラムに参加させていただきました。(大台町/製造業)

⑤研修

- 研修として(洞爺湖町/コンサルティング)
- 研修(洞爺湖町/サービス業)
- 越境体験、他企業の皆さまとの交流による幹部人材育成研修のため(浦幌町/通信)
- 新規事業開発を担う社員に対して、正解のないなかで、どう物事を捉えるのか、非日常の環境で刺激を受けてほしかったため(浦幌町/人材)
- リーダー育成の文脈から、思考を広げ、視座を高めるきっかけになることを期待しました。(浦幌町/デジタルサービス)
- 会社として能登震災へのボランティア支援を行っており、若手向け研修として学びを得る機会があると考えたもの。(七尾市/商社)

③地域貢献・その他

⑥地域社会貢献

- 地域の課題解決を含めた取組だったため(浦幌町/食品)
- 海士町のこれまでの取組のつながりから社会貢献(医療体制の維持)につながることを目指して(海士町/医療)
- 海士町のこれまでの取組のつながり、社会貢献(医療体制の維持)につながることに共感(海士町/医療)

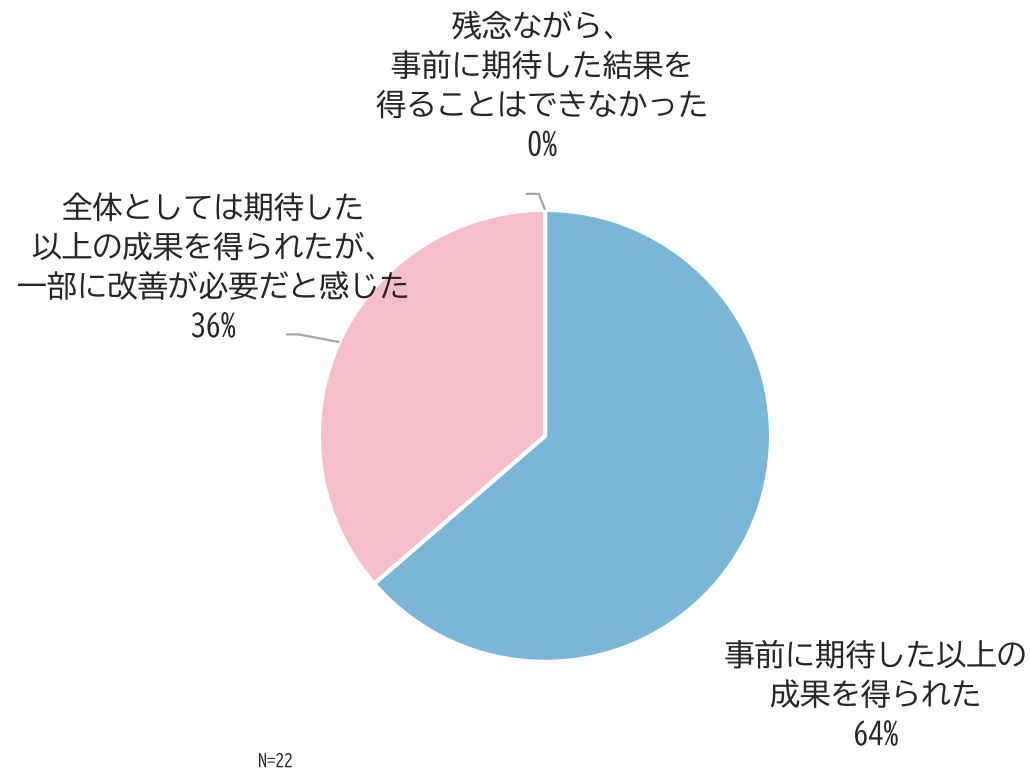
⑦その他

- 調査研究(千曲市/教育関係)
- テレワーク・ワーケーション官民推進協議会の交流会の一環として(七尾市/旅行業)
- もともと地域に興味があったが、仕事の関係でこのプログラムへのアクセスを紹介された。(千曲市/コンサルティング)

目的達成度の評価

- 「一部に改善が必要だと感じた」との回答は、企業参加者のアンケート結果では19.7%だったが、意思決定層では36%とやや高い数字となっている。
- 経営層・役員・部門責任者といったポジションの目線では、ややシビアに評価されている様子もうかがえる。

Q. プログラムに参加した結果、事前の目的達成度をどのように評価しますか？
全体的な感想として、最も近いものをお選びください。



得られた成果と改善が必要と思う課題(1/3)

- 千曲市のプログラムに参加したコンサルティング会社では、新会社設立を現実的な選択肢として検討できるところまで進むことができたと回答されており、本事業が事業化につながったケースだと評価できる。
- なお、その他の企業では「参考になる意見が得られた」といったレベルにとどまっている。

Q. 具体的に、どのような成果があった(もしくは得られなかった)とお考えですか？
定量的・定性的、どのようなことでも構いませんので、実施結果の評価をお聞かせください。

①新規事業開拓を目的に参加

■事前に期待した以上の成果を得られた

- 本プログラムを通じて、**地域との関わりを「企画・構想」レベルから「事業として成立させる段階」まで具体化できた**ことが大きな成果です。定性的には、地域資源を編集・発信する立場から、地域の中に主体を置き、継続的に事業を運営する視点へと意識が大きく変化しました。その結果、地域に根ざした**事業体として「株式会社おぼすて(構想中)」の立ち上げを現実的な選択肢として検討できる段階に進みました**。定量面では、想定事業領域の整理、関係者ヒアリング、複数の事業モデル案の検討まで進み、次フェーズ(検証・準備)へ移行できる状態を整えることができました。(千曲市/コンサルティング)
- アクセラレーションプログラムにおいてピッチの場が提供され、地域のキーマンや他企業が参加したことで、**社内だけでは得られない多様な視点や考え方を得ることができました**。(琴平町/インフラ)
- 新規事業に向けての事業者ヒアリングは、**サービス設計に生きる声をたくさんいただけた**。(琴平町/コンテンツ)

■全体としては期待した以上の成果を得られたが、一部に改善が必要だと感じた

- **多様な事業のアイデアと接続が出来た**。(洞爺湖町/森林管理)

②ネットワーク構築を目的に参加

■事前に期待した以上の成果を得られた

- ちょうど長野県内で事業課題を持つ企業と話す機会があり、このプログラムを使って**新規事業創出のディスカッションをすることができた**。(千曲市/コンサルティング)

③営業活動の一環として参加

■事前に期待した以上の成果を得られた

- 仕事にも役立つ多くの人との出会い、また**情報収集や新たな取組のきっかけ**など得られた**また情報のみならず参加者の姿勢などに感化される**ところが大きかった。(千曲市/コンサルティング)

■全体としては期待した以上の成果を得られたが、一部に改善が必要だと感じた

- 特典制度を醸成することで、どの程度コミュニティメンバーが訪れるかまでは、**長期的にウォッチする必要があるため、今すぐの評価が難しい**。今年度の単年成果は良かったと思う。(琴平町/旅行業)

得られた成果と改善が必要と思う課題(2/3)

- 研修目的のケースでは、概ね成果があったとの評価が出ている。
- ラーケーション目的で参加した製造業企業では、集客の課題を改善ポイントとして挙げており、本事業への参加を社内でもどのように位置づけていくかの整理が必要との懸念が出ている。

Q. 具体的に、どのような成果があった(もしくは得られなかった)とお考えですか？
定量的・定性的、どのようなことでも構いませんので、実施結果の評価をお聞かせください。

④福利厚生・働き方改革を目的に参加

■全体としては期待した以上の成果を得られたが、一部に改善が必要だと感じた

- ・ どうしても**手洗い場が無い**ので衛生的な環境とは言えなかった。(洞爺湖町/個人サービス)
- ・ 参加プログラムを作成いただき、従業員の方に経験いただくことで**プログラムのコンテンツ自身が、非常に学びも多く満足度も多い結果となったため**、ラーケーションという考え方はよい施策だと考えています。その一方やってみないと良さがわからないところもあり、**集客などには課題があったため、どう誘導していくのがいいのか？などを今後は解決する必要がある**と感じています。(大台町/製造業)

⑤研修を目的に参加

■事前に期待した以上の成果を得られた

- ・ さまざまな業界からの参加者だったので、それぞれの視点でプログラムに参加している姿を体感できたこと。(洞爺湖町/サービス業)
- ・ 研修プログラムの満足度の観点では、複数あるプログラムの中で一番高い満足度を得ている。また、**参加した社員一人ひとりが、期待通りの気付きを得て**くれており、業務に活かしてもらえている。(浦幌町/通信)
- ・ ねらいどおり、普段使わない頭と体を使い、浦幌で活躍されるリーダーの凄みを感じ、**普段使わない心を動かす3日間となった**と感じています。(浦幌町/デジタルサービス)
- ・ **メンバーの胆力が向上**し、自身の意思やwill、志が高まった・越境環境で、地域の方々、参加されてる企業の方々と、身一つで振れることにより外向性が向上。積極的にコミュニケーションをとれるようになった(浦幌町/人材)
- ・ 倒壊建物のがれきの処理、といった一見分かりやすい復興ではなく、町づくり、町の収入づくりという深い視点での復興に着眼しており、**難しい課題なるも考えるところが多かった点**。(七尾市/商社)

■全体としては期待した以上の成果を得られたが、一部に改善が必要だと感じた

- ・ 大変勉強になった。しかし、**内容の充実の一部に改善が必要**と思った。(洞爺湖町/コンサルティング)

得られた成果と改善が必要と思う課題(3/3)

- 海士町の離島医療では、移動で1日取られて業務のみになってしまい、ワーケーションとして成立しにくい(バケーション要素が入らない)点や、事業として意思決定するには難しいといった現実的な観点からの指摘も出ている。

Q. 具体的に、どのような成果があった(もしくは得られなかった)とお考えですか？
定量的・定性的、どのようなことでも構いませんので、実施結果の評価をお聞かせください。

⑥地域社会貢献を目的に参加

■事前に期待した以上の成果を得られた

- ・ 突発性からの創発(浦幌町/食品)

■全体としては期待した以上の成果を得られたが、一部に改善が必要だと感じた

- ・ **移動の際に、1日取られてしまう。**その場合、**ワーケーションの要素がほぼなく、業務のみになってしまう。**(海士町/医療)
- ・ 企業を巻き込んだ**事業としての意思決定がなかなか難しい**(海士町/医療)

⑦その他の目的で参加

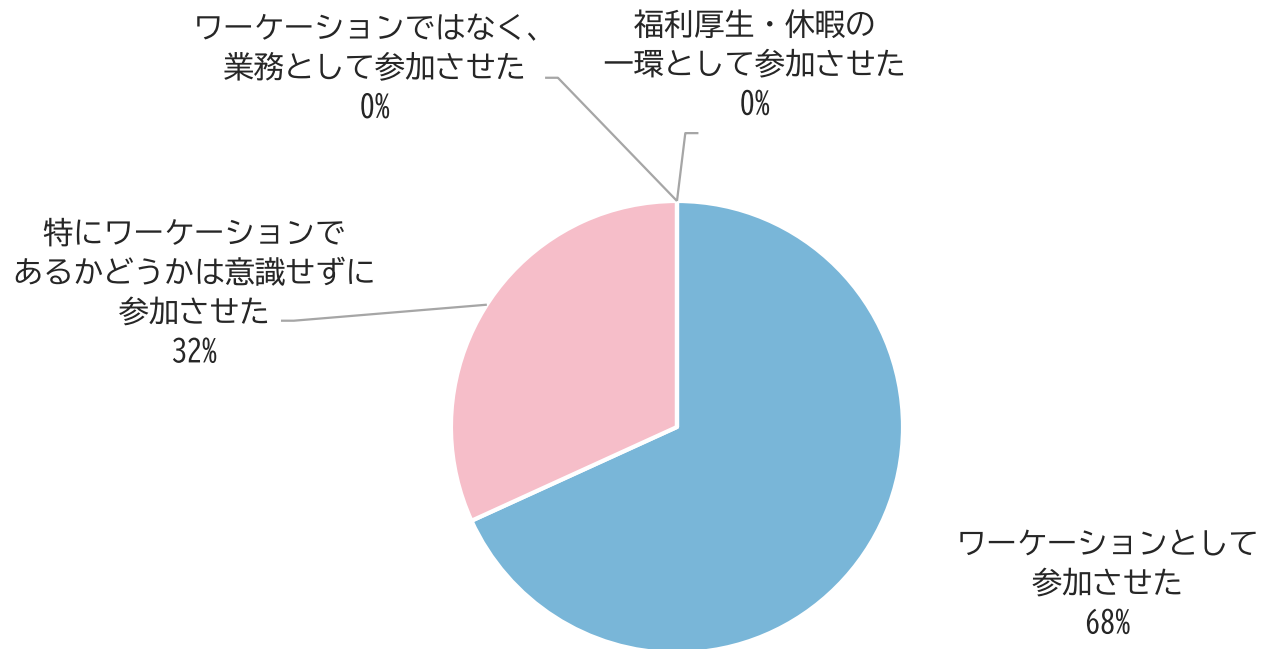
■事前に期待した以上の成果を得られた

- ・ 会員より「復興の取り組みとリアルな現状を知り、現地で活躍する人々の想いと活動に触れるワーケーションは、明日からの仕事への向き合いかた、自分の人生を考えるきっかけになった」等のご意見をいただきました。(七尾市/旅行業)
- ・ 一つプロジェクトを思い立ちました。また社業に寄与するところが大きいと感じました。(千曲市/コンサルティング)
- ・ プログラムがどう企業人の学びや、市民意識の向上、自らのウェルビーイングにつながるのかを調査したいと考え参加した。これらの観点において、参加者同士、また地域の人を交えて、地域の中にライフワークとなる事業を作り上げることを目指す対話機会をもつことの効用を実感した。(千曲市/教育関係)

ワーケーションについて

- ワーケーションとしての参加は7割。
- 3割はワーケーションという意識は特にしていなかった。

Q. 今回のプログラム参加は「ワーケーションの一環」という位置づけでしたか？
企業として、今回のプログラム参加をどのように扱っていたのかをお聞かせください。

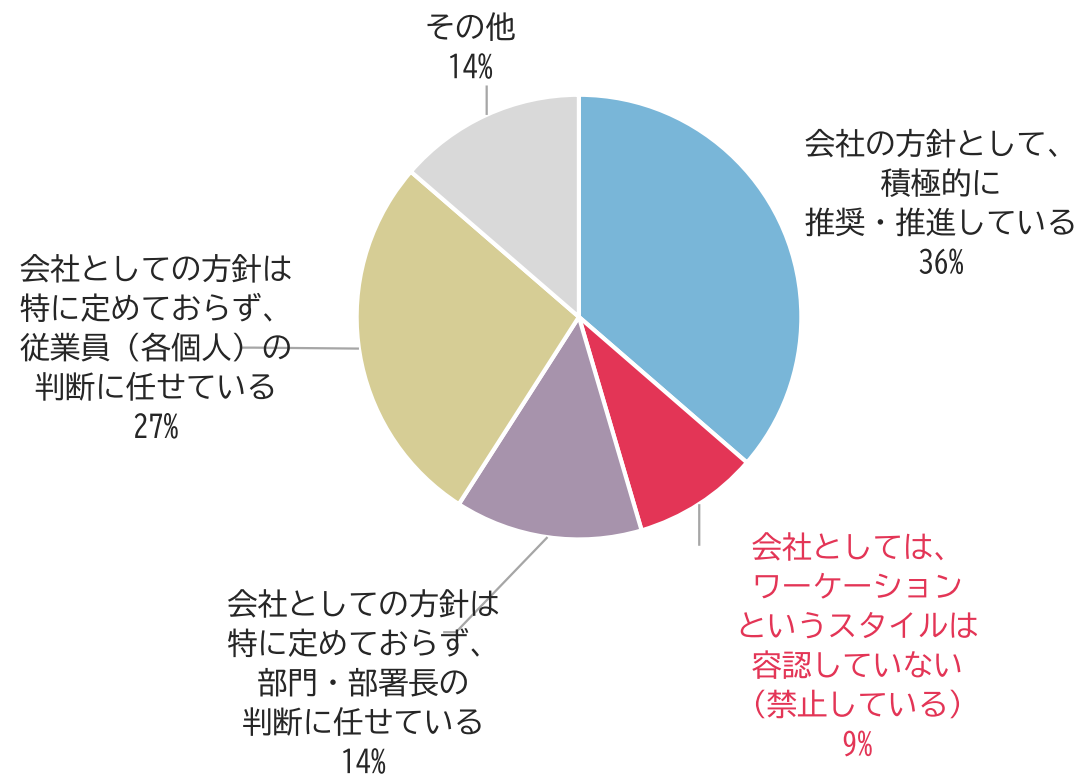


N=22

ワーケーション推進に対するスタンス

- ワーケーションを禁止としているのは22社中2社のみ。
- 積極的に奨励・推進しているケースよりも、現場の判断に任せているケースの方が多い。

Q. 御社では、従業員がワーケーションをすることについて、どのようにお考えですか？



N=22

(その他内訳)

- 「ワーケーション」を積極的に定義しておらず、リモートワークの延長で自宅以外の場所で就業している従業員はいると想像しているが、現状は積極的に禁止するまでには至っていない。(浦幌町/デジタルサービス)
- 今回はワーケーションということを取り組んだため、休み方の話になり、各従業員の判断という形で考えています(大台町/製造業)
- 従業員はいない(洞爺湖町/サービス業)

今後のワーケーション推進意向

- 「検討なし」と回答の中には、前ページのデジタルサービス業のケースのように、あえてワーケーションを定義しておらず、リモートワークの一部のような捉え方をしているケースも含まれる。

Q. 御社の、今後ワーケーションの活用(従業員の実施・参加促進)についての意向をお聞かせください。

■ 推進中

- 会社として特に推進する予定はない(七尾市/商社)

■ 積極姿勢

- 会社として積極的に推進していきたい(洞爺湖町/森林管理)
- 会社として積極的に推進していきたい(洞爺湖町/コンサルティング)
- 会社として積極的に推進していきたい(洞爺湖町/個人サービス)
- 会社として積極的に推進していきたい(浦幌町/通信)
- 会社として積極的に推進していきたい(浦幌町/人材)
- 会社として積極的に推進していきたい(七尾市/旅行業)
- 会社として積極的に推進していきたい(千曲市/コンサルティング)
- 会社として積極的に推進していきたい(千曲市/コンサルティング)
- 会社として積極的に推進していきたい(千曲市/コンサルティング)
- 会社として積極的に推進していきたい(海士町/医療)

- 活用に向けて検討していきたい(浦幌町/食品)

■ 検討なし

- 特に検討していない(浦幌町/デジタルサービス)
- 特に検討していない(海士町/医療)
- 特に検討していない(海士町/医療)
- 特に検討していない(琴平町/コンテンツ)
- 特に検討していない(琴平町/旅行業)

■ その他

- ワーケーションという文脈で、広げていきたい(大台町/製造業)
- 個人の裁量に任せる(千曲市/教育関係)
- 従業員はいない(洞爺湖町/サービス業)

プログラム参加へのハードル

- 費用やスケジュールの負担に加え、参加者が宿を手配・確保するという仕組みへの改善要望が3地域から出ていた。宿もセットにしたパッケージ商品としての改良などが求められる。
- また、成果の見える化が必要との声も出ている。

Q. 御社が本プログラムへの参加を検討した際に、ネックとなった要素や改善を期待することがあればお聞かせください。

■費用

- あえて言うならば**価格面**だが、費用がかかるのは仕方ないことなので、そのへんは理解・納得しています。(千曲市/コンサルティング)
- 費用と移動距離(千曲市/コンサルティング)
- **費用の企業負担**があるため、それを役員まで話を通すことに一定のハードルがある。(琴平町/旅行業)
- 宿泊・移動以外にも、地域コンテンツや体験プログラムに対する補助があると、より多くの従業員へ参加を促しやすくなると感じました。(琴平町/インフラ)
- **費用、宿泊施設**(七尾市/旅行業)

■宿の確保

- 費用面(特に研修費外の交通費や宿泊費)の調整、**すべてインクルーシブで手配いただけると更に利便性が向上して嬉しい**(浦幌町/人材)
- **宿泊施設を独自で確保することが難しかった**。(洞爺湖町/サービス業)
- 業務として参加するならばできれば平日設定の方が良い。費用もだが、**現地での足・宿の確保**はやはり必要。(千曲市/コンサルティング)
- 宿泊施設に関しては、研修プログラムに含めていただけると有難い。(浦幌町/通信)

■交通アクセス・移動時間

- 移動の際に、1日取られてしまい、波の状況によって参加の検討が難しい(海士町/医療)
- 離島であることから移動の際に、1日取られてしまい、波の状況によって参加の検討が難しい(海士町/医療)

■拘束時間の長さ

- 3日間×複数回の**スケジュール調整**。業務としても家庭としても難しい。(千曲市/教育関係)

■事前情報の不足

- 提案書をいただいただけでは具体的な中身や効果を理解することができず、**事前に下見出張をせざるをえなかった**点。(七尾市/商社)

■成果の見える化

- やはり費用面と、**効果についての見える化が必要**と感じました。内面的には非常に効果があるのですがこれをどうわかりやすく計測するかが課題ですね。(千曲市/コンサルティング)

■ハード整備

- ハード面のインフラが整って無く、滞在時間が限られる。(洞爺湖町/森林管理)
- トイレ、手洗い環境(洞爺湖町/個人サービス)

■特になし

- 現地の皆様には大いにサポートいただき、またいろんな人をつなげていただき満足度はとても高かったです。(琴平町/コンテンツ)
- 特に難しさを感じたことはありません。(大台町/製造業)
- ネガティブ要素を減らすという意味ではなく、2度目、3度目と重ねて受講するパッケージや、学びの深化のオプションなどが拡充していくことを期待しています。(浦幌町/デジタルサービス)

継続参画の価値についての評価

- 人材育成や地域との関係構築を目的として参加している企業では、継続的に来訪することへの効果に期待があるが、福利厚生など、リフレッシュやバケーションを含むワーケーション目的で参加した企業からは、効果や効率への疑問も示されている。

Q. 今回参加いただいたプログラムに、今後も”企業として”継続的に実施・参加することに価値を感じますか？
その理由も併せてお聞かせください。

■参加することに価値を感じる、継続参加したい

- 企業として継続的に参加することに大きな価値を感じています。本プログラムは、単発の研修や視察では得られない、地域をフィールドにした実践的な事業構想の場であり、**継続して参加することで構想が「点」ではなく「線」として育っていくと感じています**。当社としても、広告領域にとどまらない事業拡張や新規事業立ち上げを見据える中で、地域と向き合いながら構想を磨ける本プログラムは、継続的に活用すべき価値ある機会だと考えています。(千曲市/コンサルティング)
- 価値を感じます。会社としてまだワーケーションを本格的に推進できていない企業に対して、**休日を活用したピッチや情報交換の場が提供されることは有効だ**と考えます。また、すでにワーケーションを推進している企業から、テレワーク導入時の課題やその解決方法を直接聞ける機会があれば、ワーケーションに取り組む企業は今以上に増えていくのではないかと感じました。(琴平町/インフラ)
- 営業・事業を推進しているメンバーだけでなく、**エンジニア・デザイナーなどのクリエイターが現地を知り、サービスやプロダクトに生かすというのはとても価値があると改めて感じた**。(琴平町/コンテンツ)
- 継続的に参加したい。自己研鑽や事業創出のきっかけとなるため。(千曲市/コンサルティング)
- 従業員も参加させたいと思う。(千曲市/コンサルティング)
- 参加することに価値を感じる。特に企業-地域との関係性やコミュニケーションは、単年でなかなか強められるものではなく、**中長期的に良好な関係性を築くことでよりよくなる**と考えている。(琴平町/旅行業)
- 継続的に実施・参加させていただき予定。(浦幌町/通信)
- 異業種同士の企業間交流になるためメリットが大きい。(洞爺湖町/サービス業)
- たくさんの人との出会い、プロによる講義は知らない情報が多いの2点。(洞爺湖町/コンサルティング)
- 様々なレイヤーに参加させたい(浦幌町/食品)

- 価値はあると考えます。ワーケーションは社員の主体的な働き方を促し、生産性や発想力の向上につながるだけでなく、**企業として多様な働き方を認める姿勢を示すことにもなります**。人材確保や定着、企業イメージ向上の観点からも継続する意義があると思います。(七尾市/旅行業)
- 価値を感じます。仕事の一環として参加しましたが、それ以上に**個人的な内面的影響が非常に大きい。大げさに言うと生き方が変わる**。従業員に参加させたいと真っ先に思いました。(千曲市/コンサルティング)
- はい、感じます。志を同じくする他者との対話は心身ともに活性化されると感じるためです。ただし、参加者の主体性が重要となるので、参加者が積極的に社内外に参加の効用効果を発信したり、モチベーションを維持するためのオンラインコミュニティなどもつくれるとよいように感じます。(千曲市/教育関係)
- 空間利用や事務仕事を自然環境豊かな場所で行えることは**心身ともにリフレッシュにつながる**と思う。(洞爺湖町/個人サービス)
- **非日常に身を置く機会**として継続的に活用させていただければと考えています。(浦幌町/デジタルサービス)
- 異なる価値観、ロジカルではなく感性、**物理的に非日常的な空気感**に触れることで、新たな視点/着想を得られるため。(浦幌町/人材)

■効果を見極めたい

- まずはワーケーションという施作に多くの従業員に触れてもらうことが大切だと感じています。その上で、**働き方に変化があったか？を観測し、このプログラムの価値を見極めたい**と思っています。(大台町/製造業)

■難しい

- 企業としての意思決定は難しい(海士町/医療)
- 今後多くの方の参加を見込んだ場合、**企業・団体としての事業の意思決定がなかなか難しい**(海士町/医療)

今後の継続的な参画意向

- ふるさと納税での関わり以外でも、事業として関わる可能性は高いとの声が多い。
- 一方で、大台町のラーケーションや海士町の離島医療では、企業として関わることに難色が示されている。

Q. 本プログラムとは別の形も含め、この地域と今後も”企業として”継続的に関わっていく可能性はありますか？
ある場合、どのような関わり方に可能性がありますか？

■すでにある関わりを継続させていきたい

- 既にふるさと納税で関わりを持たせていただいております。地域振興、産業支援に継続的に関わらせていただく所存です。(浦幌町/デジタルサービス)
- 実際にサービス連携する企業も出てきており、継続的にかかわっていく可能性は高い。(琴平町/コンテンツ)
- 継続してフィールドスタディの場として参加、協力していきたいと考えます。(千曲市/教育関係)

■可能性が高い

- はい、企業として継続的に関わっていく**可能性は高い**と考えています。本プログラムを通じて、地域との関係性を一過性のものでなく、事業として継続させる視点が明確になりました。具体的には、地域に根ざした事業体として「株式会社おぼすて(構想中)」の立ち上げを視野に入れ、地域資源を活かした事業運営や、外部企業・人材との接点づくりを担う形での関与を検討しています。プログラム外においても、地域に拠点をもちながら継続的に関わる可能性を模索していきたいと考えています。(千曲市/コンサルティング)
- **可能性は大いにある**。当社は地域の交通課題解決に取り組んでおり、今回も地域の課題解決につながる地域側の事業者との関係性構築の機会となったため。(千曲市/コンサルティング)
- 可能性はあります。会社としてワーケーションをまだ本格的に推進できていない企業であっても、部門単位での参加や、社内コミュニティ、労働組合などを通じて働きかけることで、企業として継続的に関わる可能性は高まると考えます。(琴平町/インフラ)
- 可能性あり。弊社の**営業対象としても非常に魅力的な地域**であるので継続的に関わりたい(千曲市/コンサルティング)
- 可能性あり。コミュニティのメンバーに何かしらのメリットが生まれるような、関わり方を模索できている。(琴平町/旅行業)
- 地域特性を生かした商品の開発(浦幌町/食品)
- 復興を支援する事業として今後も関わっていくと考えます。(七尾市/旅行業)

■関係を築きたい意向はある

- 継続的に**関わっていききたい**と思います。また弊社のプロジェクトについても関わっていただけたらなと思っております。(千曲市/コンサルティング)
- 関係性を築いて行きたい。(洞爺湖町/森林管理)
- 地域創生や、自治体や1次産業のDX化など、**関わっていければ**と考えている。(浦幌町/通信)
- ある。積極的に興味のある企業に参加を声かけしていきたい。(洞爺湖町/サービス業)
- あります。市町村とのコンサルタントでのつきあい。(洞爺湖町/コンサルティング)
- あります。飲食店や人柄が良いので、理美容の技術を生かして着付けやワークショップなど出来たら良いなと思います。(洞爺湖町/個人サービス)

■未定・検討が必要

- ラーケーションを通して、第2のふるさととして気軽にその地域の方と触れ合う機会が増える可能性は、感じていますが、それが**企業としてなのかでいうと、ちょっと違うかもしれないと思っています**。どちらかという、参加した個々の従業員がそれぞれどう関わっていくか？が継続していくと感じています。(大台町/製造業)
- **企業としては難しい**(海士町/医療)
- **未定**です。(七尾市/商社)

興味のあるテーマ

- 興味のあるテーマでは、地域おこしや観光振興などのテーマを挙げる企業が多い。

Q. 今回参加いただいた地域やプログラムに関わらず、地域との関係づくりやワーケーションとして関心がある地域や活動内容、取り組みテーマ等があればお聞かせください。

■まちおこし・地域おこし

- 北海道179市町村すべてに関心があり、**地域のまちおこし**に協力したい(浦幌町/食品)
- 弊社は交通システムを作る会社ですが、そもそもの動機は**地域づくり**です。これに関わる取り組みなどには積極的に関わっていきたくて考えております。(千曲市/コンサルティング)
- **古民家再生やコミュニティづくり**に興味があり、多くの外来者へ向けたプログラムがあると良い。(千曲市/コンサルティング)
- 自治体がワーケーションや**関係人口の創出**に積極的に取り組んでいる地域に関心があります。地域事業者や住民との意見交換、現地視察などを通じて、実際の課題や可能性を知る機会がある取り組みに参加したいです。(七尾市/旅行業)

■観光

- 観光をテーマに事業を行っているため、その文脈で日本全国の地域へ還元できると考えている。そのため、**観光文脈**で盛り上げたい地域などがあれば、積極的に携わりたい。(琴平町/旅行業)
- 過去には、社内コミュニティの取り組みとして、篠島(愛知県)での離島ワーケーションや、京丹後市(京都府)における弊社労働組合と連携した企業研修などを継続的に実施してきました。今後の関心分野としては、飯能市(埼玉県)にある酒造が取り組んでいる、**地域資源を活かしたサステナブルツーリズムの取り組みに関心**があります。(琴平町/インフラ)
- 行政施策(本省本庁)の推進と**地域創生をリンクさせた観光推進**。(ただの地域の儲けのためにたくさんの費用を投じるのではなく、同時に国策の推進を図るもの)(洞爺湖町/コンサルティング)

■交通・移動

- 関東周辺で、**交通課題**を公民問わず地域側で解決しようと意欲を持った地域には積極的に参加したい(千曲市/コンサルティング)

■事業継承

- **事業承継**(琴平町/コンテンツ)

■働き方

- 地域の中小企業とのダブルワーク(研修)や越境研修のプログラムを推進している。(浦幌町/通信)

■医療課題

- 医療体制の維持(海士町/医療)
- 医療体制の維持、学生向けの医療の課題解決(海士町/医療)

■学び・教育

- ワーケーションという文脈であれば、観光資源がなくて困っている地域でも「学ぶ」という文脈で人にきてもらったり、様々なものを提供できるのでは?と考えています。日本全国で「**学ぶ**」という**コンテンツ**をベースに様々な企業に広がれば、大きな流れができて、面白いことにつながればと考えています。(大台町/製造業)
- 越境留学としての、長期滞在プログラム等による非連続な**個の成長支援策**を考えてみたいと思っています。(浦幌町/デジタルサービス)
- 企業(社員)が**地域の学校教育**に協力する。(千曲市/教育関係)

■その他

- 理美容業の特性としては撮影スポットやイベントの理美容として関係を持たたら良いと思いました。(洞爺湖町/個人サービス)
- 二地域居住や長期滞在を前提とした働き方の実証などには関心がありますが、企業としてのリソースには限りがあるため、**当面は拠点や関係性がすでに築かれつつある長野県千曲市を中心に**取り組んでいきたいと考えています。特定の地域に腰を据えて関わることで、より実践的で継続性のある関係づくりや事業化につなげていくことを重視しています。(千曲市/コンサルティング)

結果のポイント整理(1/2)

1. 意思決定者と参加者が重なっている

- 今回、全ての回答者が「意思決定者＝参加者」だった。
「意思決定者＝参加者」が部下や同僚など、社内の他のメンバーと一緒に参加するスタイルがメインである。
- 参加者としての満足度とは別に、意思決定者の視点ではシビアな判断も出てくる。

2. 企業意思決定者の参加動機

- 企業の参加動機は大きく「ビジネス(新規事業・営業・ネットワーキング)」、「人材・組織(研修・働き方)」、「福利厚生・社会貢献」の3軸に整理される。
- 新規事業開拓や営業活動の一環として参加している企業、研修として参加している企業では、意思決定者の満足度や継続来訪意向も高い傾向が見られる。

3. 参加動機別の評価と課題

<ビジネス目的での参加>

- 新規事業開拓を目的に参加した企業からは「ヒントを得られた」、「具体化に向けて進んだ」といった、事業化の兆しも見えている。
- 中長期的には、地域での事業化や雇用に繋がる可能性もある。
- なお、琴平町での旅行業の集客事業のように地域でビジネスとして動き出したケースにおいても、成果を判断するためには時間軸が必要とのコメントがあった。
- ある程度の時間軸で判断する必要があるため、継続的な関係が特に重要となる。

結果のポイント整理(2/2)

<研修目的での参加>

- 研修目的で参加した企業では、自分(意思決定者)が満足したので、他のメンバーにも体験させたい、といった動機が大きく、企業単位で継続来訪につながっている様子もうかがえる。
- ただし、研修目的で参加している場合、それ以外のビジネスや関係性への広がりに関してはまだ未知数な面もある。
- 越境研修での来訪を機に、地域と企業で何らかの事業化を進めるなど、発展のさせ方が課題である。
- なお、研修&ワーケーションの観点からは、宿の手配や自由時間に関する課題が見えてくる。企業として参加しやすいパッケージ商品の提供、研修と休暇の時間配分など、細かな改善が満足度向上につながる。

<福利厚生・休暇での参加>

- 福利厚生や休暇を期待しての参加企業では、個人としての満足度は高いものの、企業・事業としての視点では、必ずしも満足できていない、継続意向を示しにくいといったケースも発生しており、企業として地域と関わる場合の位置づけが課題として挙げられる。
- ワーケーションとして展開していく場合、企業としてのメリットを整理・提示することも重要となる。

4. まとめ

- 企業版第2のふるさとづくりに参加した企業の満足度は概ね高く、地域での事業化につながりそうな兆しも生まれている。
- 地域との継続的な関わりを希望する意向も高く、地域との関係構築に効果を発揮している。
- ただ、意思決定者は成果を重視する傾向が強く、研修効果や費用、時間に対する評価は参加者視点よりもシビアになる。